Qua tab PZ

User Guide 取扱説明書 詳細版

Android 7.0対応版

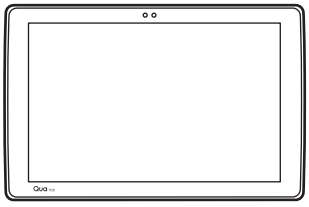
ごあいさつ

このたびは、Qua tab PZ（以下、「本製品」または「本体」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
『取扱説明書（詳細版）Android 7.0 対応版』（本書）および『設定ガイド Android 7.0対応版』はAndroid 7.0へのOSアップデート後の内容について記載しています。
OSアップデートをしていない場合、本製品に付属する『取扱説明書（Android7.0非対応版）』、『設定ガイド』およびauホームページからダウンロードできる『取扱説明書（詳細版）』をご参照ください。
（https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/）

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

● 本体



● LG TVアンテナケーブル01

● 取扱説明書（Android7.0非対応版）
● 設定ガイド（Android7.0非対応版）
● ご利用にあたっての注意事項

以下のものは同梱されていません。

● microUSBケーブル
● ACアダプタ
● microSDメモリカード
● イヤホン

memo

- 指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。
- 電池は本製品に内蔵されています。
- 本文中で使用しているイラストはイメージです。実際の製品とは違う場合があります。

取扱説明書について

『取扱説明書』（付属品）／『設定ガイド』（付属品）

『取扱説明書』（付属品）／『設定ガイド』（付属品）では、OSバージョンアップ前の主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』やauホームページより『取扱説明書（詳細版）Android 7.0対応版』（本書）および『設定ガイド Android 7.0対応版』をご参照ください。
https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/

『取扱説明書アプリケーション』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』を利用できます。
また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

1 ホーム画面 ▶ [au サポート] ▶ [取扱説明書]

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードして、インストールする必要があります。

『取扱説明書　詳細版』（本書）

さまざまな機能のより詳しい説明を記載した『取扱説明書（詳細版）Android 7.0対応版』（本書）は、auホームページでご確認できます。
https://www.au.com/support/service/mobile/guide/manual/

For Those Requiring an English Instruction Manual
英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

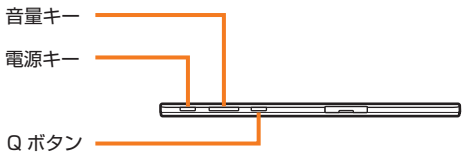
You can download the English version of the Basic Manual from the au website.

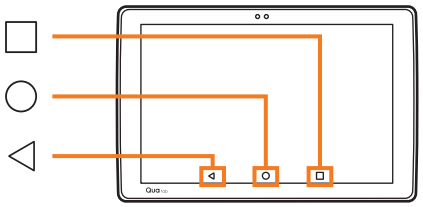
『取扱説明書・抜粋（英語版）』をauホームページに掲載しています。
Download URL: https://www.au.com/english/support/manual/
* You can use the English version of the manual from the Basic Manual application.

本書の表記方法について

■掲載されているキー／ボタン表示について

本書では、キー／ボタンの図を次のように簡略化しています。





■項目／アイコン／ボタンなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているボタンやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です。

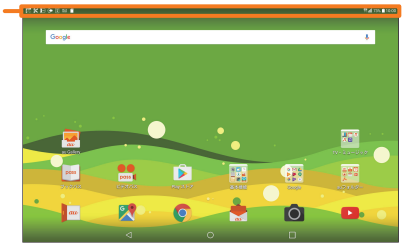
表記例	意味
ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [⋮]	ホーム画面下部の（Chrome）をタップします。続けて ⋮ をタップします。
ホーム画面 ▶ [□]	ホーム画面下部の □ をタップします。

■掲載されているイラスト・画面表示について

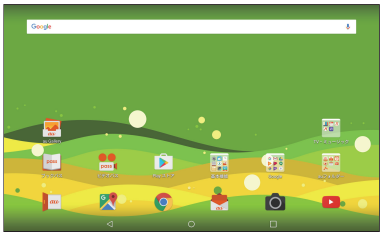
本書はau Nano IC Card 04 LEを取り付けた状態の画面表示・操作方法となります。

実際の画面

本書の表記では、画面の一部のアイコン類などは、省略されています。



本書の記載例



memo

- 本書に記載されているイラストや画面は、実際のイラストや画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書では本体カラー「ホワイト」の表示を例に説明しています。
- 本書で明記していない場合は、操作手順はキー／ボタンを使用した操作を説明しています。
- 本書では横表示の操作を基準に説明しています。縦表示では、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。
- 本書ではauベーシックホームでの操作を基準に記載しています。「ホーム選択」などでホームアプリを切り替えた場合は、操作が異なるときがあります。
- 本書に記載されているメニューの項目や階層、アイコンはご利用になる機能や条件などにより異なる場合があります。
- 本書では「microSD™メモリカード（市販品）」、「microSDHC™メモリカード（市販品）」および「microSDXC™メモリカード（市販品）」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。
- 本書表記の金額は特に記載のある場合を除き全て税抜です。
- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。なお、本文中では、TM、®マークを省略している場合があります。

本製品のご利用について

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、「トラブル診断」を行ってください。
　ホーム画面▶［au サポート］▶［故障受付］▶［トラブル診断］
または、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。
https://www.au.com/trouble-check/

- サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル･地下など）では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください（ただし、LTE ／ WiMAX 2+方式は通信上の高い秘話･秘匿機能を備えております）。
- 本製品は国内でのご利用を前提としています。国外に持ち出しての使用はできません。（This Product is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.）
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「本製品の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている本製品のIMEI情報を自動的にKDDI（株）に送信いたします。
- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる附随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書（詳細版）Android 7.0対応版』（本書）の記載内容を守らないことにより、生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ（有料・無料を問わない）などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品はディスプレイに液晶を使用しております。低温時は表示応答速度が遅くなることもありますが、液晶の性質によるもので故障ではありません。常温になれば正常に戻ります。
- 本製品で使用しているディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット（点）や常時点灯するドット（点）が存在する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった本製品（オプション品含む）の回収にご協力ください。auショップなどで本製品の回収を行っております。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
　発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
　輸入元：LG Electronics Japan株式会社
　製造元：LG Electronics Inc.

memo

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。

目次

ごあいさつ……ii
同梱品一覧……ii
取扱説明書について……ii
本書の表記方法について……ii
本製品のご利用について……1
注意事項……5
安全上のご注意（必ずお守りください）……6
取り扱い上のご注意……9
防水／防塵性能に関するご注意……11
Bluetooth® ／無線LAN（Wi-Fi®）機能について……13
2.4GHz帯ご使用上の注意……13
5GHz帯ご使用上の注意……13
各種暗証番号 / PINコードについて……14
プライバシーを守るための機能について……14
PINコードについて……14
データ通信料についてのご注意……14
アプリケーションについて……14
マナーも携帯する……14
ご利用の準備……15
各部の名称と機能……16
au Nano IC Card 04 LEについて……17
au Nano IC Card 04 LEを取り付ける／取り外す……17
au Nano IC Card 04 LEを取り付ける……17
au Nano IC Card 04 LEを取り外す……18
充電する……18
指定のACアダプタ（別売）を使って充電する……18
パソコンを使って充電する……19
Info Clock画面について……19
電源を入れる／切る……19
電源を入れる……19
電源を切る……19
再起動する……19
強制的に電源を切り再起動する……19
セーフモードで起動する……19
スリープモードについて……19
ロック画面について……20
初期設定を行う……20
Googleアカウントをセットアップする……20
au IDを設定する……20
基本操作……21
タッチパネルの使いかた……22
ホーム画面とアプリケーション……22
ホーム画面の見かた……22
ホーム画面を利用する……22
アプリケーションを利用する……23
起動中のアプリケーションを一覧表示する……25
マルチウィンドウを利用する……25
スクリーンショットを撮る……25
クイック検索ボックスを利用する……25
本製品の状態を知る……26
アイコンの見かた……26
通知パネルについて……26
共通の操作を覚える……27
縦横表示を切り替える……27
利用できるメニューを表示する……27
ロックを解除する……27
チェックボックスを利用する……27
ラジオボタンを利用する……27
スイッチを利用する……27
アプリの権限を設定する……28
文字入力……28
文字入力について……28
文字入力画面の見かた……29
文字を入力する……29
文字入力の便利な機能を利用する……30
入力に関する設定を行う……30
メール……31
Eメールを利用する……32
Eメールの表示モードを切り替える……32
Eメールを送信する……34
Eメールを受信する……36
新着メールを問い合わせて受信する……37
Eメールを検索する……37
Eメールをフォルダモードで確認する……37
Eメールを会話モードで確認する……39
Eメールを設定する……40
バックアップしたEメールを復元する……42
アカウントの追加……42
迷惑メールフィルターを設定する……43
SMSを利用する……44
SMSを送信する……44
SMSを受信する……44
SMSを検索する……45
SMSを削除する……45
SMSを設定する……45
Gmailを利用する……46
Gmailを起動する……46
インターネット……47
インターネットに接続する……48
データ通信を利用する……48
Chromeを利用する……48
ウェブページを表示する……48
ウェブページのリンクを利用する……48
ブックマーク／履歴を利用する……49
ツール・アプリケーション……51
連絡先を利用する……52
連絡先を登録する……52
グループを設定する……52
連絡先の登録内容を利用する……53
連絡先のメニューを利用する……54
テレビ……54
テレビをご利用になる前に……54
テレビの初期設定をする……55
テレビを見る……55
テレビの設定をする……55
視聴中の番組を録画する……56
録画した番組を再生する……56
番組表を利用する……56
カメラを利用する……56
このカメラでできること……56
カメラをご利用になる前に……56
撮影画面の見かた……57
静止画を撮影する……57
動画を録画する……57
設定を利用する……57
動画や静止画を再生する……58
ミュージックプレイヤーを利用する……59
ミュージックライブラリ画面を表示する……59
ミュージックライブラリ画面のメニューを利用する……59
曲を再生する……59
音楽再生画面のメニューを利用する……60
プレイリストを利用する……60
Androidアプリ……60
Google Playを利用する……60
無料のアプリケーションをインストールする……60
有料のアプリケーションをインストールする……60
返金を請求する……61
アプリケーションを管理する……61
ダウンロードを利用する……61
Facebookを利用する……61
auサービスTOPを利用する……61
auスマートパスを利用する……61
auお客さまサポートアプリを利用する……62
auスマートサポートを利用する……62
Lookout for auを利用する……62
位置検索をご利用いただくにあたって……62
リモートサポートを利用する……62
リモートサポートを利用する……62
故障受付を利用する……62
安心アクセス for Android™を利用する……63
au Wi-Fi接続ツールを利用する……63
QR・バーコードリーダーを利用する……63
ボイスレコーダーを利用する……64
録音する……64
再生する……64
カレンダーを利用する……65
カレンダーのメニューを利用する……65
予定を新規登録する……65
カレンダーを設定する……65
予定を確認／編集する……66
アラーム／世界時計／タイマー／ストップウォッチを利用する……66
アラームで指定した時刻をお知らせする……66
世界各地の都市の時刻を確認する……66
タイマーで時間を計る……66
ストップウォッチで時間を計る……66
電卓で計算する……66
Qメモ+を利用する……67
メモを閲覧／編集する……67
Qメモ+のメニューを利用する……67
ファイル管理……69
本製品の保存領域について……70
microSDメモリカードを利用する……70
microSDメモリカードを取り付ける……70
microSDメモリカードを取り外す……70
microUSBケーブル（別売）でパソコンと接続する……70
外部機器を利用する……71
SmartShareを利用する……71
メモリの使用量を確認する……71
データ通信……73
無線LAN（Wi-Fi®）機能……74
無線LAN（Wi-Fi®）機能を有効にする……74
Wi-Fi®ネットワークに接続する……74
アクセスポイントを登録する……74
アクセスポイントとの接続を切る……74
ネットワーク通知を設定する……74
接続を一時停止するタイミングを設定する……74
テザリング機能……75
テザリングについて……75
USBテザリング機能を利用する……75
Wi-Fi®テザリング機能を利用する……75
Bluetooth®テザリング機能の設定をする……75

Bluetooth®機能 …… 76
Bluetooth®機能でできること …… 76
Bluetooth®機能を有効にする …… 76
Bluetooth®機器を登録する …… 77
Bluetooth®でデータを送受信する …… 77
Bluetooth®機能の設定をする …… 77
機能設定 …… 79
本製品について設定する …… 80
auの設定をする …… 80
その他の設定をする …… 80
共有と接続の設定をする …… 80
テザリングの設定をする …… 80
機内モードを設定する …… 81
VPNを設定する …… 81
ディスプレイの設定をする …… 81
サウンドに関する設定をする …… 81
サウンドプロフィールを設定する …… 81
通知に関する設定をする …… 81
ストレージとUSB …… 82
メモリ使用量の確認やストレージの初期化をする …… 82
電池と省電力の設定をする …… 82
アプリの設定をする …… 82
クラウドの設定をする …… 82
アカウントの設定をする …… 82
自動同期を設定する …… 82
手動で同期する …… 82
アカウントを追加する …… 82
アカウントを削除する …… 82
位置情報アクセスの設定をする …… 82
ロック画面の設定をする …… 83
セキュリティの設定をする …… 83
使用する言語やソフトウェアキーボードの設定をする …… 83
バックアップとリセットの設定をする …… 84
本製品を初期化する …… 84
日付と時刻を設定する …… 84
ユーザー補助の設定をする …… 84
Qボタンを設定する …… 85
印刷に関する設定をする …… 85
端末情報に関する設定をする …… 85
付録・索引 …… 87
ソフトウェアを更新する …… 88
ソフトウェアをダウンロードして更新する …… 88
最新のソフトウェア更新を自動確認する …… 88
ダウンロードしたソフトウェアを自動インストールする …… 88
故障とお考えになる前に …… 89
アフターサービスについて …… 89
SIMロック解除 …… 90
周辺機器 …… 90
利用できるデータの種類 …… 91
主な仕様 …… 91
データ通信端末の比吸収率（SAR）について …… 92
Important Safety Information …… 92
輸出管理規制 …… 93
知的財産権について …… 93
索引 …… 94

注意事項

安全上のご注意（必ずお守りください）…… 6
取り扱い上のご注意…… 9
防水／防塵性能に関するご注意…… 11
Bluetooth® ／無線LAN（Wi-Fi®）機能について …… 13
2.4GHz帯ご使用上の注意…… 13
5GHz帯ご使用上の注意…… 13
各種暗証番号 / PINコードについて …… 14
プライバシーを守るための機能について…… 14
PINコードについて …… 14
データ通信料についてのご注意…… 14
アプリケーションについて…… 14
マナーも携帯する…… 14

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠ 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠ 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3の発生が想定される」内容です。

※1　重傷：失明・けが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
※2　軽傷：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど（高温・低温）・感電などを指します。
※3　物的損害：家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指します。

■禁止・強制の絵表示の説明

禁止	禁止（してはいけないこと）を示す記号です。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示す記号です。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card 04 LE、周辺機器共通

⚠ 危険

禁止　**高温になる場所や熱のこもりやすい場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止　**電子レンジ、IH調理器などの加熱調理器、圧力釜などの高圧容器に入れたり、近くに置いたりしないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止　**砂や土、泥を掛けたり、直に置いたりしないでください。また、砂などが付着した手で触れないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P11「防水／防塵性能に関するご注意」

禁止　**水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡れた状態では、充電しないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P11「防水／防塵性能に関するご注意」

分解禁止　**分解、改造をしないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

水濡れ禁止　**水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P11「防水／防塵性能に関するご注意」

水濡れ禁止　**外部接続端子に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）を入れないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
防水性能については以下をご参照ください。
→P11「防水／防塵性能に関するご注意」

指示　**オプション品は、auが指定したものを使用してください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 警告

禁止　**落下させる、踏みつける、投げつけるなど強い力や衝撃、振動を与えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止　**外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させたり、ほこりが内部に入ったりしないようにしてください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止　**使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。**
火災、やけどなどの原因となります。

指示　**所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。**
過充電などにより、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示　**ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する可能性のある場所や粉塵が発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本製品の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。**
引火性ガスなどが発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。

指示　**使用中、充電中、保管中に、異臭、異音、発煙、発熱、変色、変形などの異常がみられた場合は次の作業を行ってください。**
・電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。
・本製品の電源を切る。
上記の作業を行わないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意

禁止　**破損したまま使用しないでください。**
火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止　**ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。バイブレータ設定中は特にご注意ください。**
落下して、けがなどの原因となります。

禁止　**湿気やほこりの多い場所や高温になる場所での使用、保管はしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。
防水・防塵性能については以下をご参照ください。
→P11「防水／防塵性能に関するご注意」

禁止　**子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教え、誤った使いかたをさせないでください。**
けがなどの原因となります。

禁止　**乳幼児の手の届く場所に置かないでください。**
誤って飲み込んだり、けが、感電などの原因となります。

指示　**本製品を長時間連続使用される場合や充電中は温度が高くなることがありますのでご注意ください。また、眠ってしまうなどして、意図せず長時間触れることがないようご注意ください。**
アプリ、データ通信、動画視聴など、長時間の使用や充電中は、本製品や内蔵電池・アダプタの温度が高くなることがあります。温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌の赤みやかゆみ、かぶれ、低温やけどなどの原因となります。

■本体について

⚠ 危険

禁止 **火の中に投入したり、熱を加えたりしないでください。**
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

禁止 **釘（鋭利なもの）を刺したり、ハンマー（硬いもの）で叩いたり、踏みつけたりするなど過度な力を加えないでください。**
電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**
内蔵電池内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

指示 **ディスプレイ内部の物質などが目や口の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**
ディスプレイ内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

⚠ 警告

禁止 **点滅を繰り返す画面を長時間見ないでください。**
けいれんや意識喪失などの原因となります。

禁止 **本製品内のau Nano IC Card 04 LEやmicroSDメモリカード挿入口に水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。 また、au Nano IC Card 04 LEやmicroSDメモリカードの挿入場所や向きを間違えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

禁止 **カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないでください。**
レンズの集光作用により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

指示 **航空機へのご搭乗にあたり、本製品の電源を切るか、機内モードに設定してください。**
航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
航空機の電子機器に悪影響を及ぼす原因となります。
なお、航空機内での使用において禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示 **病院での使用については、各医療機関の指示に従ってください。**
使用を禁止されている場所では、本製品の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **通知音が鳴っているとき、待ち受け中などは、必ず本製品を耳から離してください。**
また、イヤホンマイクなどを本製品に装着し、ゲームや動画・音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると難聴などの原因となります。 また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示 **心臓の弱い方は、バイブレータ（振動）や通知音量の設定に注意してください。**
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本製品の電源を切ってください。**
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、各医用電気機器メーカーもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示 **ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本製品の内部にご注意ください。**
破損部や露出部に触れると、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示 **内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

指示 **ペットなどが本製品に噛みつかないようご注意ください。**
内蔵電池の発火、破裂、発熱、漏液により、火災、やけど、けがなどの原因となります。

⚠ 注意

禁止 **LG TVアンテナケーブル01などを持って本製品を振り回さないでください。**
本人や他の人、周囲の物に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止 **ディスプレイを破損し、内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。**
失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

禁止 **一般のゴミと一緒に捨てないでください。**
発火による火災、やけど、けがなどの原因となります。また、環境破壊の原因となります。不要となった本製品は、auショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市区町村の指示に従ってください。

禁止 **内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。**
失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。 内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。 また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

指示 **自動車内で使用する場合、自動車メーカーもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。**
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示 **本製品の使用により、皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。**
各箇所の材質について→P9

指示 **本製品のスピーカー部に磁気を発生する部品を使用しているため、金属片（カッターの刃やホチキスの針など）が付着していないことを確認してください。**
付着物により、けがなどの原因となります。

指示 **ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、ある程度の距離をとってください。**
暗い場所や近くで見ると視力低下などの原因となります。

■内蔵電池について

⚠ 危険

指示 **内蔵電池内部の物質などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。**
内蔵電池内部の物質などの影響により、失明や体調不良などの原因となります。

指示 **内蔵電池が漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。**
漏液した液体に引火し、発火、破裂などの原因となります。

⚠ 注意

禁止 **内蔵電池内部の物質などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚や衣類などにつけないでください。**
失明や皮膚への傷害などを起こす原因となります。
内部の物質などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診療を受けてください。

■充電用機器について

⚠ 警告

禁止 **指定の充電用機器（別売）のコードが傷んだら使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **指定の充電用機器（別売）は、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **雷が鳴り出したら、指定の充電用機器（別売）には触れないでください。**
感電などの原因となります。

禁止 **コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で外部接続端子をショートさせないでください。また、外部接続端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **指定の充電用機器（別売）のコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **コンセントに指定の充電用機器（別売）を抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

禁止 **本製品に指定の充電用機器（別売）を接続した状態で、接続部に無理な力を加えないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

濡れ手禁止 **濡れた手で指定の充電用機器（別売）のコードやUSB接続ケーブル、外部接続端子、電源プラグに触れないでください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **指定の電源、電圧で使用してください。**
誤った電源、電圧で使用すると火災、やけど、感電などの原因となります。
ACアダプタ：AC100V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
DCアダプタ：DC12 V・24 V（マイナスアース車専用）

指示 **DCアダプタのヒューズを交換する場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。**
指定以外のヒューズを使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。指定のヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示 **電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。**
ほこりが付着した状態で使用すると、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **指定の充電用機器（別売）をコンセントやシガーライターソケットに差し込むときは、確実に差し込んでください。**
確実に差し込まないと、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、指定の充電用機器（別売）のコードを引っ張るなど無理な力を加えず、指定の充電用機器（別売）を持って抜いてください。**
指定の充電用機器（別売）のコードを引っ張るとコードが傷つき、火災、やけど、感電などの原因となります。

指示 **本製品に指定の充電用機器（別売）を抜き差しする場合は、コードを引っ張るなど無理な力を加えず、接続する端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。**
正しく抜き差ししないと、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

指示 **外部接続端子が曲がるなど変形した場合は、直ちに使用をやめてください。また、変形を元に戻しての使用もやめてください。**
外部接続端子のショートにより、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く **使用しない場合は、指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。**
電源プラグを差したまま放置すると、火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く **水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。**
火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く **お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。**
抜かずに行うと、火災、やけど、感電などの原因となります。

電源プラグを抜く **コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で指定の充電用機器（別売）に長時間触れないでください。**
やけどなどの原因となります。

■au Nano IC Card 04 LEについて

⚠ 注意

指示 **au Nano IC Card 04 LEを取り扱う際は指などの体の一部を傷つけないよう、切断面にご注意ください。**
けがなどの原因となります。

■LG TVアンテナケーブル01について

⚠ 危険

水濡れ禁止 **水などの液体（飲料水、汗、海水、ペットの尿など）で濡らさないでください。**
火災、やけど、けが、感電などの原因となります。

⚠ 注意

指示 **LG TVアンテナケーブル01の接続プラグにゴミが付着しないようにご注意ください。**
故障の原因となります。

指示 **LG TVアンテナケーブル01の接続プラグは本体のイヤホン端子に対してまっすぐに抜き差ししてください。**

指示 **皮膚に異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。**
お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。
各箇所の材質について→P9

■医療機器近くおよび医療機関内でのご使用について

⚠ 警告

指示 **植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本製品を15cm以上離して携行および使用してください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。**
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **身動きが自由に取れないなど、周囲の方と15cm未満に近づくおそれがある場合には、事前に本製品を電波の出ない状態に切り替えてください（機内モードまたは電源OFFなど）。**
付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着している方がいる可能性があります。電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示 **医療機関内における本製品の使用については、各医療機関の指示に従ってください。**
医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

■材質一覧

＜本体＞

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイ	ガラス	—
外装ケース（前面部）	PC + GF5%	UVコーティング
外装ケース（リア部）	PC + GF10%	UVコーティング
電源キー、音量キー、Qボタン	PC樹脂	UVコーティング
トレイ	PC樹脂	UVコーティング
スピーカーグリル	ISPM0.1T+ TESA685320.05T	—
カメラレンズ飾り	AL	—
カメラレンズ	ガラス	—
カメラレンズカバー	透明アクリル樹脂	—
Quaロゴ（リア部）	PET樹脂	—

＜LG TVアンテナケーブル01＞

使用箇所	使用材質	表面処理
イヤホン端子（ボディ）	TPE樹脂	−
ケーブル	TPE樹脂	−
接続プラグ（ボディ）	TPE樹脂	−
接続プラグ（金属部分）	黄銅	金メッキ

取り扱い上のご注意

製品の故障を防ぎ、性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■本体、内蔵電池、充電用機器、au Nano IC Card 04 LE、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。ディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続器を外部接続端子やイヤホン端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 本製品の防水性能（IPX5、IPX7相当）を発揮するために、トレイをしっかりと閉じた状態でご使用ください。
  ただし、すべてのご使用状況について保証するものではありません。本製品内部に水を浸入させたり、充電用機器、オプション品に水をかけたりしないでください。雨の中や水滴がついたままでのトレイの開閉は行わないでください。水が浸入して内部が腐食する原因となります。
  調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。
  （周囲温度5℃ ～ 35℃、湿度45% ～ 85%の範囲内でご使用ください。）
  - 本製品本体
  - au Nano IC Card 04 LE（本製品本体装着状態）
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。故障の原因となります。
- 外部接続端子やイヤホン端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて外部接続端子やイヤホン端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤、ガラスクリーナーなどで拭くと、外装の印刷が消えたり、故障の原因となります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。
- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- 腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障の原因となります。
- 屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。
- 必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、故障の原因となります。
- 電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。故障の原因となります。
- お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障の原因となります。また、本製品の改造は電波法および電気通信事業法違反になります。
- 接続端子やイヤホンマイク端子をショートさせないため、指などの身体の一部や導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、それらの異物が内部に入らないようにしてください。故障の原因となります。
- 充電中に濡れた場合には直ちに指定の充電用機器（別売）の電源プラグを抜いてください。
- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中や歩きながらの使用はしないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- かばんの中や布団などで覆われた状態での使用や充電は故障の原因となります。
- 充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。正しい方向で抜き差ししないと、故障の原因となります。
- カメラのレンズに直射日光などを長時間あてないようにしてください。故障の原因となります。
- 直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所で使用、保管、放置しないでください。故障の原因となる場合があります。
- ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。充電中やバイブレータ設定中は特にご注意ください。落下して、故障などの原因となります。
- 本製品を充電する際は、たこ足配線などでコンセントや配線器具の定格を超えて使用しないでください。

■本体について

- 本製品の電池は内蔵されており、お客様自身では交換できません。電池の交換については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 強く押す、たたくなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
- 本製品の表面には保護フィルムが貼られています。市販の保護フィルムをご利用の場合は、本製品の保護フィルムをはがしてください。
- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法および電気通信事業法に抵触します。本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術基準適合認定等を受けており、その証として、「技適マーク㊣」が本製品本体内で確認できるようになっております。
  ≪確認方法≫
  ホーム画面▶[基本機能]▶[設定]▶[端末情報]▶[規制と安全に関する情報]
  本製品内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- キャッシュカード・クレジットカード・プリペイドカードなどの磁気カードを近づけたりしないでください。記録内容が消失する場合があります。
- かばんなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電源を切ったりしないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 通常はトレイなどを閉めた状態で使用してください。トレイを閉めずに使用すると、ほこり・水などが入り故障の原因となります。
- 本製品内のmicroSDメモリカードやau Nano IC Card 04 LE挿入口に液体、金属体などの異物を入れないでください。故障の原因となります。
- 落下させる、投げつける、踏みつけるなどの強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。
- 砂浜などの上に直に置かないでください。マイク部、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本製品本体内に砂などが混入すると故障の原因となります。

■タッチパネルについて

- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼ると、タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- かばんなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。
- タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作

■内蔵電池について

Li-ion00

（本製品の内蔵電池は、リチウムイオン電池です。）
内蔵電池はお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。また、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。

- 夏期、閉めきった（自動車）車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では内蔵電池の容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、内蔵電池の寿命も短くなります。できるだけ、常温でお使いください。
- 内蔵電池は充電後、本製品を使わなくても少しずつ放電します。長い間使わないでいると、内蔵電池が放電してしまっている場合があるため、使う前に充電することをおすすめします。
- 内蔵電池は消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめください。電池は内蔵型のため、auショップなどでお預かりの後、有償修理となります。また、ご利用いただけない期間が発生する場合があります。あらかじめ、ご了承ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 内蔵電池は、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■充電用機器について

- 指定の充電用機器（別売）の電源コードをアダプタ本体に巻きつけないでください。また、充電用機器のプラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。アダプタやUSB接続ケーブルのコードの上に重いものをのせたり、引っ張るなど無理な力を加えたりしないでください。故障の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）の電源プラグをコンセントまたはシガーライターソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。ケーブルを引っ張るとケーブルが損傷するおそれがあります。

■au Nano IC Card 04 LEについて

- au Nano IC Card 04 LEの取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるauの端末への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどに、au Nano IC Card 04 LEを挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Nano IC Card 04 LEにシールなどを貼らないでください。
- 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card 04 LEを挿入しないでください。故障の原因になります。
- カードに損傷を与えるようなこと（高温の場所での使用、火中投下、金属部への異物の接触、衝撃を与える、曲げたり荷重をかける、濡らすなど）はしないでください。データの消失や故障の原因となります。

■カメラ機能について

- 大切な撮影などをするときは、事前に試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。

■LG TVアンテナケーブル01について

- LG TVアンテナケーブル01は無償修理保証の対象外となっております。

■著作権・肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影した静止画などをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控えをお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化する場合があります。

防水／防塵性能に関するご注意

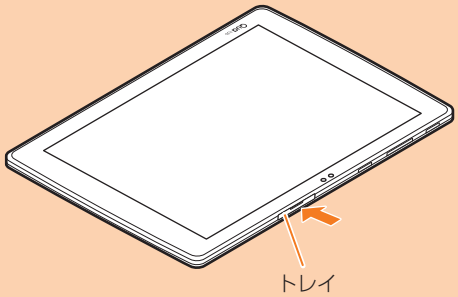
本製品はトレイが完全に装着された状態で保護等級（JIS C 0920）のIPX5※1相当、IPX7※2相当の防水性能およびIP6X※3相当の防塵性能を有しております（当社試験方法による）。
正しくお使いいただくために、「ご使用にあたっての注意事項」の内容をよくお読みになってからご使用ください。記載されている内容を守らずにご使用になると、浸水や砂・異物などの混入の原因となり、発熱・発火・感電・傷害・故障のおそれがあります。

※1　IPX5相当とは、内径6.3mmのノズルを用いて、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からのノズルによる噴流水によっても、通信端末としての性能を保つことです。
※2　IPX7相当とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mの水槽に静かに本製品を沈めた状態で約30分間、水底に放置しても本体内部に浸水せず、通信端末としての性能を保つことです。
※3　IP6X相当とは、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置内に本製品を入れて8時間塵埃をかくはんさせた後、本製品の内部に塵埃が侵入しない機能を有することを意味します（塵埃（じんあい）の侵入を完全に防止するわけではありません）。

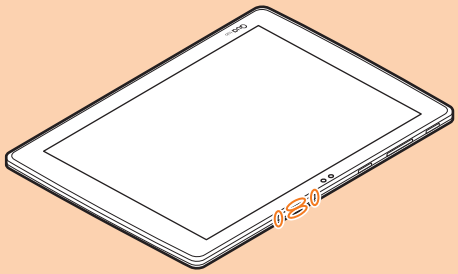
すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められた場合は、保証の対象外となります。

■ ご使用にあたっての注意事項

- トレイをしっかり閉じた状態にしてください。完全に閉まっていることで防水性能が発揮されます。
- 手や本体が濡れている状態でのトレイの開閉は絶対にしないでください。
- トレイの閉じかた
  トレイを収納してからトレイ全体を指の腹で押し込んでください。



その後にトレイの○部分をしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認してください。



- 水道水以外の液体（海水、プールの水、温泉の湯、石けん、洗剤、入浴剤の入った水、アルコール、ジュース、調味料など）に浸けたり、かけたりしないでください。
  また、ペットの尿がかかる場所での使用はしないでください。
  かかった場合には、速やかに水道水で洗い流してください。

石けん／洗剤／入浴剤

海水

温泉

- 砂浜などの上に直に置かないでください。マイク部、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、隙間などから本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

砂／泥

- 水中で使用しないでください。
- お風呂、台所など、湿気の多い場所には長時間放置しないでください。
- 水抜き後も、水分が残っている場合があります。ご使用にはさしつかえありませんが、濡れては困るもののそばには置かないでください。また、服やかばんの中などを濡らすおそれがありますのでご注意ください。
- マイク部、スピーカー部に水がたまり、一時的に音が聞こえにくくなった場合は水抜きを行ってください。
- 耐水圧設計ではないので高い水圧を直接かけたり、長時間水中に沈めたりしないでください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- 湯船には浸けないでください。耐熱設計ではありません。
- 急激な温度変化は、結露が発生し、故障の原因となります。寒い場所から暖かいお風呂場などに本製品を持ち込むときは、本体が常温になってから持ち込んでください。
- 本製品は水に浮きません。
- トレイについて
  トレイはしっかりと閉じた状態にしてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。
  トレイを開閉する際は手袋などをしたまま操作しないでください。接触面は微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。トレイを閉じる際、わずかでも水滴・汚れなどが付着している場合は、乾いた清潔な布で拭き取ってください。
  トレイに劣化・破損があるときは、防水性能を維持できません。
- 水以外が付着した場合
  万一、水以外（海水・洗剤・アルコールなど）が付着してしまった場合、すぐに水で洗い流してください。
  やや弱めの水流（6リットル／分以下）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
  汚れた場合、ブラシなどは使用せず、トレイが開かないように押さえながら手で洗ってください。
- 水に濡れた後は
  水濡れ後は水抜きをし、トレイを外さないで、本体を乾いた清潔な布で水を拭き取ってください。
  寒冷地では本体に水滴が付着していると、凍結することがあります。凍結したままで使用すると故障の原因となります。水滴が付着したまま放置しないでください。
- ゴムパッキンについて
  トレイのゴムパッキンは、防水／防塵性能を維持するため大切な役割をしています。傷付けたり、はがしたりしないでください。トレイを閉める際はゴムパッキンを噛み込まないようご注意ください。噛み込んだまま無理に閉めようとすると、ゴムパッキンが傷付き、防水／防塵性能が維持できなくなる場合があります。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。水以外の液体（アルコールなど）が付着した場合は耐久性能を維持できなくなる場合があります。
  トレイの隙間に、先のとがったものを差し込まないでください。本体が破損・変形したり、ゴムパッキンが傷付くおそれがあり、浸水の原因となります。
  防水／防塵性能を維持するための部品は、異常の有無にかかわらず2年ごとに交換することをおすすめします。部品の交換については、お近くのauショップまでご連絡ください。
- 耐熱性について
  熱湯に浸けたり、熱湯をかけたりしないでください。また、サウナでの使用やドライヤーなどで熱風を当てないでください。本製品は耐熱設計ではありません。
- 衝撃について
  本製品は耐衝撃性能を有しておりません。落下させたり、衝撃を与えないでください。また、スピーカーなどをとがったものでつつかないでください。本体が破損・変形するおそれがあり、浸水の原因となります。

■ 充電のときは

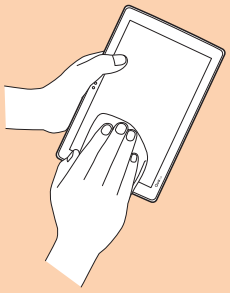
付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。充電時、および充電後には次の点をご確認ください。

- 本体が濡れている状態では絶対に充電しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- 本体が濡れていないかご確認ください。水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで拭き取ってから、行ってください。
- 濡れた手で指定の充電用機器（別売）に触れないでください。感電の原因となります。
- 指定の充電用機器（別売）は、水のかからない状態で使用し、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水回りでは使用しないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。また、充電しないときでも、お風呂場などに持ち込まないでください。火災、やけど、感電・故障などの原因となります。

水に濡れたときの水抜きについて

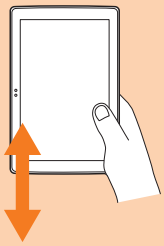
本製品を水に濡らした場合、必ず電源キーや音量キー、Qボタン、イヤホン端子、外部接続端子の水抜きをしてください。そのまま使用すると衣服やかばんなどを濡らす場合や音が聞こえにくくなる場合があります。
下記手順で水抜きを行ってください。

1 本体に付着した水分を乾いたタオルや布などでよく拭き取ってください。



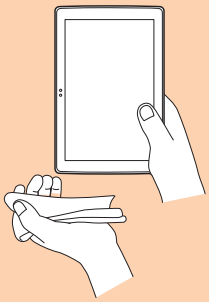
2 本製品をしっかり持ち、図のように矢印の方向に20回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。

本製品を振るときは、周囲の安全を確認し、落とさないようにしっかり握ってください。



3 電源キー、音量キー、Qボタンをタオルや布などでおおい、各キーを2 ～ 3回押します。

4 内部より出てきた水分を乾いたタオルや布などで拭き取ってください。



5 乾いたタオルや布などを下に敷き、常温で放置して乾燥させてください（30分程度）。

乾燥が不十分の場合、音が聞こえにくくなります。十分に放置して乾燥させてからご使用ください。

Bluetooth® ／無線LAN（Wi-Fi®）機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、日本国内規格に準拠し、認定を取得しています。
- 無線LAN（Wi-Fi®）やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN（Wi-Fi®）アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

2.4GHz帯ご使用上の注意

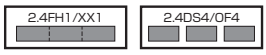
本製品のBluetooth®機能／無線LAN（Wi-Fi®）機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

- 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。
- Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。



- Bluetooth®機能：2.4FH1/XX1
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式およびその他の方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。
- 無線LAN（Wi-Fi®）機能：2.4DS4/OF4
  本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。
- 使用帯域：全帯域
  全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されています。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。

■ HT20［a/n］, VHT20［ac］
W52 (5.2GHz帯 / 36, 40, 44, 48ch)
W53 (5.3GHz帯 / 52, 56, 60, 64ch)
W56 (5.6GHz帯 / 100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch)

■ HT40［n］, VHT40［ac］
W52 (5.2GHz帯 / 38, 46ch)
W53 (5.3GHz帯 / 54, 62ch)
W56 (5.6GHz帯 / 102, 110, 118, 126, 134ch)

■ VHT80［ac］
W52 (5.2GHz帯 / 42ch)
W53 (5.3GHz帯 / 58ch)
W56 (5.6GHz帯 / 106, 122ch)

IEEE802.11 b/g/n
IEEE802.11 a/n/ac
W52	W53	W56

各種暗証番号 / PINコードについて

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。
なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

● 暗証番号

使用例	auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● PINコード

使用例	第三者によるau Nano IC Card 04 LEの無断使用を防ぐ場合
初期値	1234 なお、初期値は必ずお客様の独自の番号に変更のうえお使いください。

プライバシーを守るための機能について

保存されているデータのプライバシーを守るために、本製品には次のような機能が用意されています。

機能	説明
画面ロック	起動時や画面ロックの解除方法にノックコード、パターン、PIN、パスワードを設定することにより、データを安全に保護できます。

PINコードについて

■ PINコード

第三者によるau Nano IC Card 04 LEの無断使用を防ぐために、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。
PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。
  「入力必要」で使用する場合、必ずお客様独自の番号に変更のうえご使用ください。

■ PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Nano IC Card 04 LEが取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、「UIM PINの変更」（▶P.83）で新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- PINコードがロックされた場合、セキュリティ確保のため本製品が再起動することがあります。
- 「PINコード」は「データの初期化」を行ってもリセットされません。

データ通信料についてのご注意

- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にデータ通信が行われる場合があります。
  このため、ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、データ通信は有料となります。
  ※ 無線LAN（Wi-Fi®）接続の場合はデータ通信料はかかりません。

アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、本製品内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

マナーも携帯する

こんな場所では、使用禁止！

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 航空機内での使用については制限があるため、各航空会社の指示に従ってください。

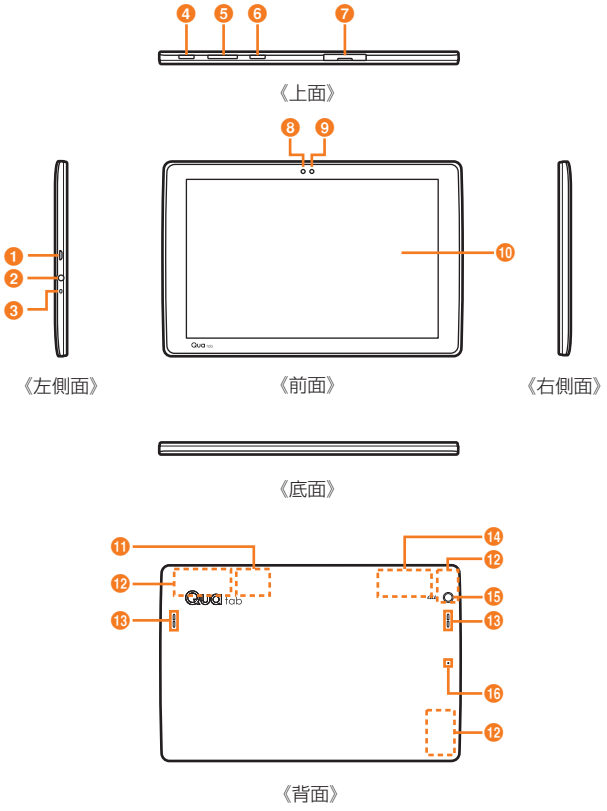
周りの人への配慮も大切

- 映画館や劇場、美術館、図書館などでは、通知音などで周囲の迷惑にならないように電源を切るか、マナーモードを利用しましょう。
- 街中では、通行の邪魔にならない場所で使いましょう。
- 画面を見ながらの歩行は大変危険です。歩行中または急に立ち止まっての操作は控えましょう。
- 新幹線の車中やホテルのロビーなどでは、迷惑のかからない場所へ移動しましょう。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れに注意しましょう。
- カメラを使って撮影などする際は、相手の方の許可を得てからにしましょう。
- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルを守りましょう。
- 満員電車の中など混雑した場所では、付近に心臓ペースメーカを装着している方がいる可能性があります。事前に本製品の「機内モード」へ切り替える、もしくは電源を切っておきましょう。
- 病院などの医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止と定めている場所では、その指示に従いましょう。

ご利用の準備

各部の名称と機能 …… 16
au Nano IC Card 04 LEについて …… 17
au Nano IC Card 04 LEを取り付ける／取り外す …… 17
au Nano IC Card 04 LEを取り付ける …… 17
au Nano IC Card 04 LEを取り外す …… 18
充電する …… 18
指定のACアダプタ（別売）を使って充電する …… 18
パソコンを使って充電する …… 19
Info Clock画面について …… 19
電源を入れる／切る …… 19
電源を入れる …… 19
電源を切る …… 19
再起動する …… 19
強制的に電源を切り再起動する …… 19
セーフモードで起動する …… 19
スリープモードについて …… 19
ロック画面について …… 20
初期設定を行う …… 20
Googleアカウントをセットアップする …… 20
au IDを設定する …… 20

各部の名称と機能



本製品には、充電式の電池が内蔵されています。
本製品の外装ケース（背面部）や内蔵電池は取り外せません。無理に取り外そうとすると破損や故障、けがなどの原因となります。

❶ **外部接続端子**
指定のACアダプタ（別売）などの接続時に使用します。

❷ **イヤホン端子**

❸ **マイク**

❹ **電源キー**
スリープモードの移行／解除に使用します。
電源キーを長押しすると、電源ON／OFF、再起動、機内モードの有効／無効を行えます。

❺ **音量キー（UP ／ DOWN）**
音量を調節します。

❻ **Qボタン**
設定したアプリを起動できます（▶P.85）。

❼ **トレイ**
au Nano IC Card 04 LE ／ microSDメモリカードを格納します。

❽ **照度センサー**
周囲の明るさを検知して、ディスプレイの明るさを自動調整します。

❾ **インカメラ（レンズ部）**

❿ **ディスプレイ（タッチパネル）**

⓫ **内蔵アンテナ部（Wi-Fi®、Bluetooth®）**
Wi-Fi®機能、Bluetooth®機能利用時は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。
また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通信品質が悪くなります。

⓬ **内蔵アンテナ部（インターネット）**
インターネット利用時は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。
また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通信品質が悪くなります。

⓭ **スピーカー**
通知音やアラーム音などが聞こえます。

⓮ **内蔵アンテナ部（GPS）**
GPS利用時は、内蔵アンテナ部を手でおおわないでください。
また、内蔵アンテナ部にシールなどを貼らないでください。通信品質が悪くなります。

⓯ **アウトカメラ（レンズ部）**

⓰ **通気口**
本製品の内部圧力と外部の圧力を合わせます。

au Nano IC Card 04 LEについて

au Nano IC Card 04 LEにはお客様の電話番号などが記録されています。

- 本製品はau Nano IC Card 04 LEに対応しております。

《au Nano IC Card 04 LE》

memo

- au Nano IC Card 04 LEを取り扱うときは、故障や破損の原因となりますので、次のことにご注意ください。
  - au Nano IC Card 04 LEのIC（金属）部分には触れないでください。
  - 正しい挿入方向をご確認ください。
  - 無理な取り付け、取り外しはしないでください。
- au Nano IC Card 04 LEを正しく取り付けていない場合やau Nano IC Card 04 LEに異常がある場合は、エラーメッセージが表示されます。
- 取り外したau Nano IC Card 04 LEはなくさないようにご注意ください。
- 変換アダプタを取り付けたau Nano IC Card 04 LEを挿入しないでください。故障の原因となります。

■au Nano IC Card 04 LEが挿入されていない場合

au Nano IC Card 04 LEが挿入されていない場合は、次の操作を行うことができません。また、 が表示されます。

- SMSの送受信
- Eメール（@ezweb.ne.jp）の初期設定および送受信
- UIMカードのロック設定
- 本製品の電話番号およびメールアドレスの確認

また、上記以外でも、お客様の電話番号などが必要な機能をご利用できない場合があります。

■PINコードによる制限設定

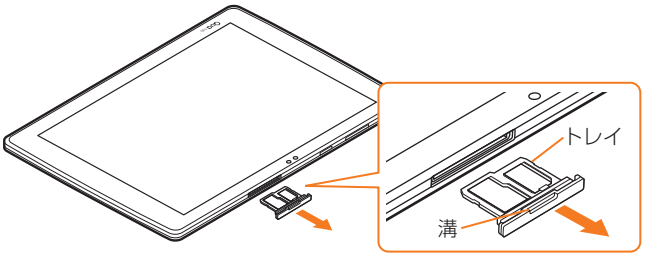
au Nano IC Card 04 LEをお使いになるうえで、お客様の貴重な個人情報を守るために、PINコードの変更やUIMカードのロックにより他人の使用を制限できます（▶P.83）。

au Nano IC Card 04 LEを取り付ける／取り外す

au Nano IC Card 04 LEを取り付ける

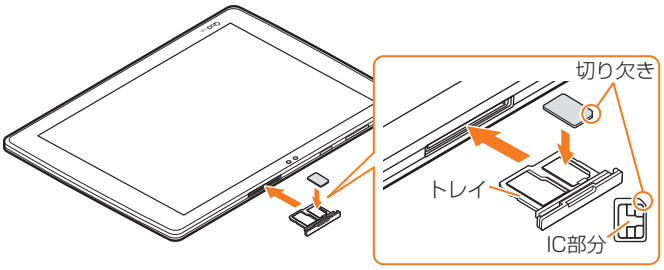
au Nano IC Card 04 LEの取り付けは、本製品の電源を切ってから行ってください。

1 トレイの溝に指先（爪）をかけてまっすぐに引き出し、本体からトレイを取り外す

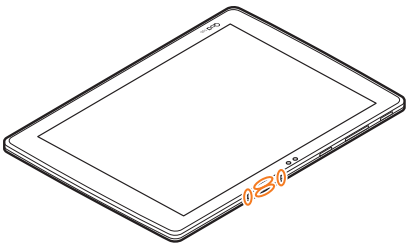


2 au Nano IC Card 04 LEのIC（金属）部分を下にしてトレイにはめ込み、トレイごと本体に差し込んで奥までまっすぐ押し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。
- au Nano IC Card 04 LEがトレイから浮かないように、はめ込んでください。



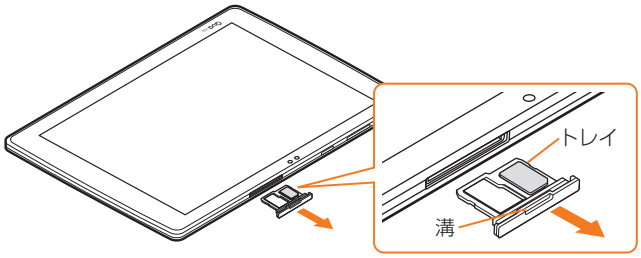
3 トレイの○部分をしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認



au Nano IC Card 04 LEを取り外す

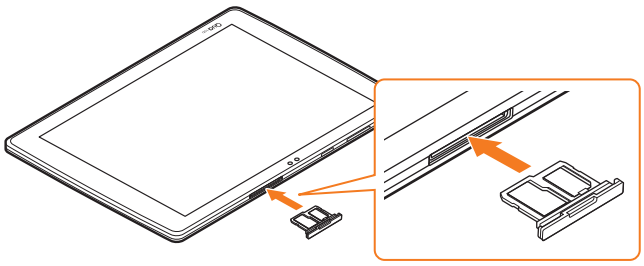
au Nano IC Card 04 LEの取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

1 トレイの溝に指先（爪）をかけてまっすぐに引き出し、本体からトレイを取り外す



2 au Nano IC Card 04 LEを取り出し、トレイを本体に差し込んで奥までまっすぐしっかりと押し込む

- 本体とすき間がないことを確認してください。



充電する

お買い上げ時には、内蔵電池は十分に充電されていません。初めてお使いになるときや電池残量が少なくなったときは、充電してからお使いください。

※ ご利用可能時間については、「主な仕様」（▶P.91）をご参照ください。

memo

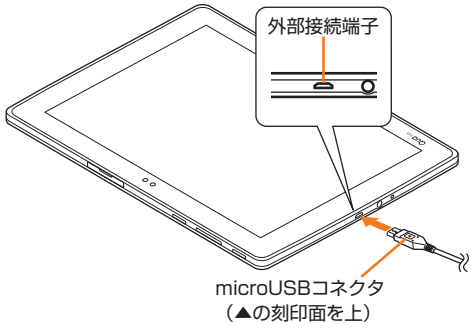
- 充電中、本製品が温かくなることがありますが異常ではありません（充電しながら、カメラの起動や通信を行うと、内蔵電池の温度が高くなります）。
- パソコンを使って充電したり、カメラ機能などを使用しながら充電した場合、充電時間が長くなる場合があります。
- 指定の充電用機器（別売）を接続した状態で各種の操作を行うと、短時間の充電／放電を繰り返す場合があります。頻繁に充電を繰り返すと、内蔵電池の寿命が短くなります。
- 連続待受時間は、電波を正常に受信できる移動状態と静止状態の組み合わせによるそれぞれの平均的な利用可能時間です。充電状態、気温などの使用環境、使用場所の電波状態、機能の設定などにより、次のような場合には、ご利用可能時間は半分以下になることもあります。
  - （圏外）が表示される場所での使用が多い場合
  - 無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能、メール機能、カメラ機能、テレビ機能、位置情報などの使用
  - アプリケーションなどでスリープモードに移行しないように設定されている場合
  - バックグラウンドで動作するアプリケーションを使用した場合

指定のACアダプタ（別売）を使って充電する

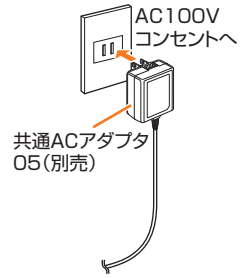
ここでは共通ACアダプタ05（別売）を接続して充電する方法を説明します。
指定のACアダプタ（別売）については、「周辺機器」（▶P.90）をご参照ください。
充電時間は、約230分です。

1 共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBコネクタを本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む

- microUSBコネクタは、「▲」の刻印がある面を上にしてまっすぐに差し込んでください。



2 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む



Info Clock画面が表示されます。

3 充電が終わったら本製品の外部接続端子から共通ACアダプタ05（別売）のmicroUSBコネクタをまっすぐに引き抜く

4 共通ACアダプタ05（別売）の電源プラグをコンセントから抜く

memo

充電状況を確認する

- Info Clock画面で ⌂ をタップすると、Info Clock画面が終了します。画面上部のステータスバー（▶ P.26）の 🔌 が確認できます。充電が完了するとステータスバーに 🔋 が表示されます。

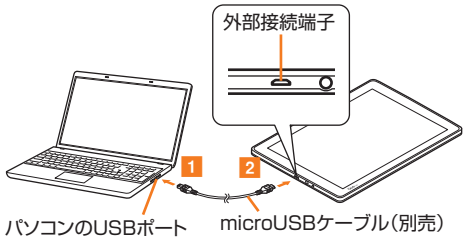
🔌 が表示されない場合

- 画面上部のステータスバーに 🔌 が表示されるまでしばらくお待ちください。しばらく待っても表示されないときは接触不良が考えられます。共通ACアダプタ05（別売）が確実に接続されているかご確認ください。それでも表示されない場合は充電を中止して、auショップもしくは故障紛失サポートセンターまでご連絡ください。

パソコンを使って充電する

1 **microUSBケーブル（別売）のmicroUSBコネクタを本製品の外部接続端子にまっすぐに差し込む**
- microUSBコネクタは、「B」の刻印がある面を上にしてまっすぐに差し込んでください。

2 **microUSBケーブル（別売）のUSBコネクタをパソコンのUSBポートにまっすぐに差し込む**



memo
- 本製品の電源を入れたままでも充電できますが、充電時間は長くなります。
- USB充電を行った場合、指定のACアダプタ（別売）での充電と比べて、時間が長くかかる場合があります。
- パソコン上に「新しいハードウェアの検出ウィザード」画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

Info Clock画面について

充電時に本製品の画面をオンにすると、Info Clock画面が表示されます。
時計、カレンダー、天気、ニュースなどの情報を確認できます。

❶ 日付と時刻
タップすると、「時計」アプリが起動されます。

❷ インジケータ

❸ 解除ボタン
タップすると、Info Clock画面が終了します。

❹ 日付

❺ 天気

❻ ヘルプボタン
一度タップしてヘルプを表示すると、以降はヘルプボタンが表示されなくなります。

❼ ニュース

memo
- Info Clock画面は複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックするとカレンダー画面やニュース画面などを切り替えることができます。
- Info Clock画面の設定を変更するには、ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［ディスプレイ］▶［Info Clock］と操作します。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **電源キー（2秒以上長押し）**
ロック画面が表示されます。
画面をスワイプすると、ロックが解除されます。

電源を切る

1 **電源キー（2秒以上長押し）**

2 **［電源を切る］▶［電源を切る］**

再起動する

1 **電源キー（2秒以上長押し）**

2 **［再起動］▶［再起動］**

強制的に電源を切り再起動する

画面が動かなくなったり、電源が切れなくなったりした場合に、強制的に本製品の電源を切り再起動することができます。

1 **電源キーと音量キー（DOWN）を同時に長押し（9秒以上）**
- 強制的に電源を切り再起動すると、保存されていないデータは消失します。本製品が操作できなくなったとき以外は行わないでください。

セーフモードで起動する

動作不安定などの問題が生じたときは、診断用の起動モード「セーフモード」で起動します。

1 **電源キー（2秒以上長押し）**

2 **ロゴが表示されたら音量キー（DOWN）を押し続ける**
セーフモードで起動します。

memo
- 本製品が起動中に、電源キー（2秒以上長押し）▶「電源を切る」をロングタッチ▶「ONにする」をタップすると、本製品をセーフモードで再起動することができます。
- 必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。
- お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。
- アプリによってはセーフモードでの起動時に表示されないものがあります。また、通常の再起動後に表示場所が変更されるものがあります。
- セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常はセーフモードを終了してご利用ください。

スリープモードについて

電源キーを押すか、一定時間操作しないと画面が一時的に消え、スリープモードに移行します。次の操作を行うと、スリープモードを解除できます。

1 **スリープモード中に電源キー**
スリープモードが解除され、ロック画面（充電中はInfo Clock画面）が表示されます。

■ノックオン
スリープモード中に画面をダブルタップすると、スリープモードが解除されます。また、ホーム画面やロック画面でアイコンがない領域やステータスバーをダブルタップすると、スリープモードに移行します。

memo
- スリープモード中に電源キーを押して画面を表示する際は、画面に触れないでください。タッチパネルが正常に動作しなくなる場合があります。

ロック画面について

電源を入れたときやスリープモード解除後に表示されます。
ロック画面では、日付と時刻、通知情報を確認したり、アプリのショートカットを利用できます。

1 **ステータスバー**

2 **日付と時刻**

3 **通知情報**
受信メールやauシェアリンクの通知などの新着情報が表示されます。
- 起動したい項目をタップしてから画面をスワイプすると、画面ロックを解除した後タップした項目が起動します。

4 **アプリのショートカット**
スワイプするとアプリが起動します。
※ ショートカットに表示するアプリは変更できます（▶P.83）。

初期設定を行う

初期状態で本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行います。
初期設定について詳しくは、auホームページからダウンロードできる『設定ガイド Android 7.0対応版』をご参照ください。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては操作が異なります。
- 「スキップ」などをタップすると該当の設定を省略できます。

1 **電源キー（2秒以上長押し）**
電源が入ります。

2 **「日本語（日本）」が表示されていることを確認して、[ ]**

3 **インターネット接続設定を行い、[次へ]**

4 **別の端末からデータや設定をコピーするかどうかを必要に応じて設定する**

5 **Googleアカウントの設定を行う**
- Googleアカウントの設定画面が表示されます。
- 文字入力方法について詳しくは、「文字入力について」（▶P.28）をご参照ください。

6 **画面ロックを必要に応じて設定する**

7 **法的文書を確認して、「同意します」と「同意します（オプション）」にチェックを付けて［完了］**

8 **「auかんたん設定」を必要に応じて設定する**

Googleアカウントをセットアップする

Googleアカウントをセットアップすると、Googleが提供するオンラインサービスを利用できます。
Googleアカウントのセットアップ画面は、Googleアカウントが必要なアプリケーションを初めて起動したときなどに表示されます。

1 **Googleアカウントを設定する画面**

2 **メールアドレスまたは電話番号を入力／［または新しいアカウントを作成］**
Googleアカウントをすでにお持ちの場合はメールアドレスを入力し、「次へ」をタップして画面の指示に従って操作してください。
Googleアカウントをお持ちではない場合は「または新しいアカウントを作成」をタップし、画面の指示に従って登録を行ってください。

memo
- Googleアカウントを設定しない場合でも本製品をお使いになれますが、Google ハングアウト、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- サインインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。
- Googleアカウントのセットアップは、ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［アカウント］▶［アカウントを追加］▶［Google］でも操作できます。

■ ログインできない場合

1 **ホーム画面▶[ ]▶URL表示欄を選択▶「http://www.google.com/accounts/recovery/」を入力▶[ ]**

2 **画面の指示に従って操作する**

au IDを設定する

au IDを設定すると、auスマートパスやGoogle Playに掲載されているアプリケーションの購入ができる「auかんたん決済」の利用をはじめとする、au提供のさまざまなサービスがご利用になれます。

1 **ホーム画面▶［au サポート］▶［au ID 設定］**

2 **［au IDの設定・保存］**
認証を開始します。

3 **画面の指示に従って操作し、au IDを設定**
au IDをすでに取得されている場合は、お持ちのau IDを設定します。
au IDをお持ちでない場合は、新規登録を行います。

基本操作

タッチパネルの使いかた…… 22
ホーム画面とアプリケーション…… 22
ホーム画面の見かた……22
ホーム画面を利用する……22
アプリケーションを利用する……23
起動中のアプリケーションを一覧表示する……25
マルチウィンドウを利用する……25
スクリーンショットを撮る……25
クイック検索ボックスを利用する……25
本製品の状態を知る…… 26
アイコンの見かた……26
通知パネルについて……26
共通の操作を覚える…… 27
縦横表示を切り替える……27
利用できるメニューを表示する……27
ロックを解除する……27
チェックボックスを利用する……27
ラジオボタンを利用する……27
スイッチを利用する……27
アプリの権限を設定する…… 28
文字入力…… 28
文字入力について……28
文字入力画面の見かた……29
文字を入力する……29
文字入力の便利な機能を利用する……30
入力に関する設定を行う……30

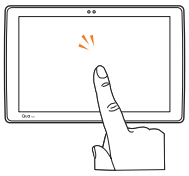
タッチパネルの使いかた

本製品のディスプレイはタッチパネルになっており、指で直接触れて操作します。

- 以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作

■タップ／ダブルタップ

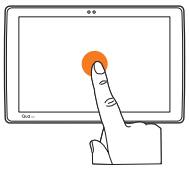
画面に軽く触れて、すぐに指を離します。また、2回連続で同じ位置をタップする操作をダブルタップと呼びます。



■主な操作目的
画面に表示された項目やアイコンを選択します。ダブルタップすると画面が拡大／縮小されます（一部のアプリのみ）。また、スリープモードの移行と解除もできます。（▶P.19）

■ロングタッチ

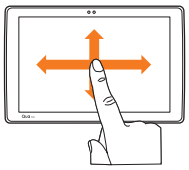
項目やボタンなどに指を触れた状態を保ちます。



■主な操作目的
コンテキストメニューの表示などを行います。

■スライド

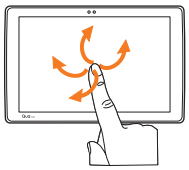
画面内で表示しきれないときなど、画面に軽く触れたまま、目的の方向へなぞります。



■主な操作目的
画面のスクロールやページの切り替えを行います。また、音量や明るさの調整時に調節バーなどを操作します。

■フリック（スワイプ）

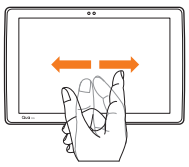
画面を指ですばやく上下左右にはらうように操作します。



■主な操作目的
ページの切り替えや文字のフリック入力、画面のロック解除などを行います。

■ピンチ

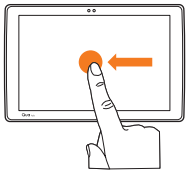
2本の指で画面に触れたまま指を開いたり（ピンチアウト）、閉じたり（ピンチイン）します。



■主な操作目的
画像を拡大／縮小します。

■ドラッグ

画面に軽く触れたまま目的の位置までなぞります。

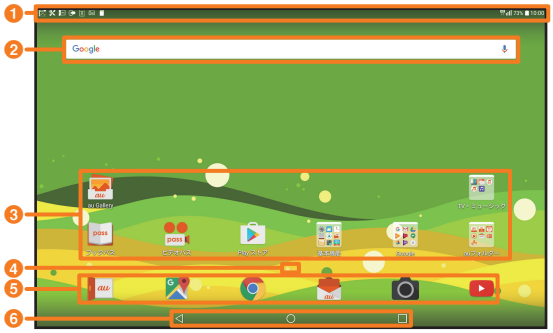


■主な操作目的
画面上のアイコンを目的の位置まで移動します。

ホーム画面とアプリケーション

ホーム画面の見かた

ホーム画面には、タブレットでよく使うアプリがワンタッチで利用できる「auベーシックホーム」が設定されています。ホームアプリは切り替えることもできます（▶P.22）。



1. **ステータスバー**
2. **クイック検索ボックス（ウィジェット）**
3. **アプリ／フォルダ**
4. **インジケータ**
5. **クイック起動エリア**
6. **ホームタッチボタン**
   - **◁ 戻るボタン**
     1つ前の画面に戻ります。
   - **○ ホームボタン**
     ホーム画面を表示します。
   - **□ タスクボタン**
     起動中のアプリケーション一覧を表示します。また、マルチウィンドウ対応アプリ起動中にロングタッチするとマルチウィンドウが起動し、表示が ▯▯ に変わります。

※ ホーム画面 ▶［基本機能］▶［設定］▶［ディスプレイ］▶［ホームタッチボタン］と操作すると、ボタンの種類や配置、色を変更できます。

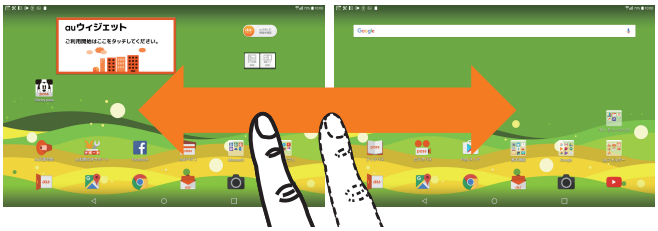
memo

- ○をロングタッチするとGoogle検索（▶P.25）を起動できます。

ホーム画面を利用する

ホーム画面を切り替える

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にスライド／フリックすると画面を切り替えることができます。



- 画面下部には、現在の表示位置を示すインジケータが表示されます。

ホームアプリを切り替える

1 ホーム画面 ▶［基本機能］▶［設定］▶［ホーム画面］▶［ホーム選択］

2 以下の項目をタップ

auベーシックホーム	お買い上げ時のホーム画面です。スマート操作で共通化したau提供のホームアプリです。
ホーム	一般的なタブレットと同様の操作方法で利用できます。

ホーム画面の壁紙を変更する

1 ホーム画面でアイコンなどがない領域をロングタッチ ▶ [壁紙]

2 [画像を選択] ／ [壁紙ギャラリー] ▶ 壁紙を選択 ▶ [壁紙を設定] ／ [壁紙に設定]

- 「画像を選択」をタップすると、「ギャラリー」や「フォト」などのアプリを利用して画像を選択できます。

ウィジェットを追加する

1 ホーム画面でアイコンなどがない領域をロングタッチ ▶ [ウィジェット]

2 ウィジェットをロングタッチ ▶ 追加する位置にドラッグして、指を離す

memo

auウィジェットについて

- より便利にauタブレットをご利用いただけるように、ホーム画面上で最新ニュースと天気をお届けします。あわせてクーポン、音楽、動画、本、人気アプリなどの情報もご一緒にお楽しみください。

フォルダを追加する

1 ホーム画面 ▶ フォルダに格納するアプリをロングタッチ

2 別のアプリの上へドラッグして、指を離す

アプリがフォルダに格納されます。

memo

フォルダについて

- フォルダを選択 ▶ フォルダ上部のフォルダ名や［ ］をタップすると、フォルダ名の変更、アプリの追加や色の変更ができます。

アプリをフォルダから取り出すには

- フォルダを選択 ▶ フォルダ内のアプリをロングタッチ ▶ フォルダの外へドラッグして指を離すことで、フォルダから取り出すことができます。

アプリ／ウィジェット／フォルダを移動／削除する

1 ホーム画面 ▶ 移動または削除するアプリ／ウィジェット／フォルダをロングタッチ

■移動する場合

移動する位置へドラッグして、指を離す

- 左／右端にドラッグすると、隣の画面に表示が切り替わります。

■削除する場合

画面上部の「削除」にドラッグして、指を離す

- 削除できないアプリの場合は、画面上部に「非表示」と表示されます。「非表示」にドラッグして指を離す ▶「OK」をタップすると、アプリが非表示になります。
- フォルダは、削除できません。

ホーム画面を設定する

1 ホーム画面でアイコンなどがない領域をロングタッチ ▶ [設定]

2 以下の項目をタップ／確認

ホーム画面のグリッド数	ホーム画面に配置するアイコンの数を変更します。
ホーム画面のループスクロール	ホーム画面を左右にスライド／フリックしたときに、ループスクロールできるようにするかどうかを設定します。
ドックのループスクロール	クイック起動エリアを左右にスライド／フリックしたときに、ループスクロールできるようにするかどうかを設定します。 ※ 本製品では利用できません。
バックアップ／復元	ホーム画面のアプリやウィジェットなどのレイアウトをmicroSDメモリカードにバックアップしたり、microSDメモリカードに保存されているバックアップ情報からレイアウトを復元したりします。
非表示リスト	非表示にしたアプリを一覧表示します。
ホーム操作説明の再表示	ホーム操作説明を再表示します。
ご意見・ご要望	ご意見やご要望を送信できます。
ヘルプ	auベーシックホームのヘルプを表示します。
ログ送信	auベーシックホームのログを送信するかどうかを設定します。
バージョン	auベーシックホームのバージョンを表示します。

アプリケーションを利用する

アプリケーションのアイコンをタップすると、アプリケーションが起動します。

memo

- アプリケーションのアイコンをタップしてそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。

アプリケーション一覧

本製品にインストールされているアプリケーション一覧です。アプリケーションによってはフォルダに格納されているものもあります。

クイック起動エリア	サービスTOP（ ）	ニュース、天気、乗換案内などはもちろん、プレゼントやクーポン、auのタブレットを楽しむためのお得で便利な情報をお届け。（▶P.61）
	マップ（ ）	現在地や目的地の地図を表示したり、目的地の検索ができます。
	Chrome（ ）	ウェブページが閲覧できます。（▶P.48）
	Eメール（ ）	@ezweb.ne.jpのEメールの送受信ができます。（▶P.32）
	カメラ（ ）	静止画／動画を撮影できます。（▶P.56）
	YouTube（ ）	YouTubeの動画を再生／アップロードできます。
フォルダに格納されていないアプリケーション	au Gallery	対象のau端末同士を連携させて便利に使うことのできるアプリです。auスマホやauタブレットで撮影した画像や動画をカンタン操作で他のau端末に同期することができ、画像や動画の楽しみがもっと広がります。
	ブックパス	雑誌・コミック・小説など多くの電子書籍を楽しむことができます。
	ビデオパス※1	幅広いジャンルの映画やドラマ、アニメなどの人気作品が見放題でお楽しみいただけるアプリです。
	Playストア	Google Playを利用できます。（▶P.60）
	Disney pass※1※2	ディズニー公式の壁紙、きせかえ、動画などが使い放題の月額サービス。au限定のコンテンツや、映画観賞券、グッズのプレゼントなど、お得な会員特典もあります。 その他にも、au限定デザインのカバーもご用意。カバーに同梱のディズニーパス・カードからご登録いただくと、ディズニーパスが無料で楽しめます。
	au災害対策	災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害・避難情報、津波警報、特別警報、洪水情報）、災害用音声お届けサービス、災害関連情報を利用することができます。
	auお客さまサポート	auのご利用料金、データ通信量、ご契約内容、ポイントなどが簡単に確認できるアプリです。各種お手続き、お問い合わせもスムーズに行えます。（▶P.62）

フォルダに格納されていないアプリケーション	Facebook	友達の近況チェックや写真のアップロード、知り合いとのメッセージのやりとりができる無料のコミュニケーションアプリです。(▶P.61)
	auスマートパス	「auスマートパスプレミアム/auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あんしんなタブレットライフを提供します。(▶P.61)
TV・ミュージック	テレビ	テレビやデータ放送の視聴や録画ができます。(▶P.54)
	auテレビ.Gガイド	テレビ番組表の閲覧や、番組検索ができます。さらにテレビ連携や遠隔録画予約機能がご利用いただけます。
	うたパス	最新J-POPやカラオケ人気曲、アニソン、洋楽など3000以上のプレイリストが聴ける「聴き放題」と、楽曲を購入してダウンロードし再生できる「音楽プレイヤー」を持ったアプリです。
	Player(LISMO)	うたパスアプリをより便利にお楽しみいただくための音楽アプリです。
	音楽	保存している音楽を再生できます。(▶P.59)
基本機能	設定	本製品の各種設定を行います。(▶P.80)
	天気※1	天気を表示します。
	時計	アラームやタイマーの設定、世界時計やストップウォッチが利用できます。(▶P.66)
	カレンダー	カレンダーの表示や予定の登録ができます。(▶P.65)
	連絡先	電話番号やメールアドレスを登録して利用できます。(▶P.52)
	SMS	テキストメッセージの送受信ができます。(▶P.44)
	ファイルマネージャー	本製品内のデータやmicroSDメモリカード内のデータの表示や管理ができます。
	電卓	電卓を利用できます。(▶P.66)
	RealTimes for au	端末内に保存している動画や写真をもとに、イベントごとに自動作成されるダイジェスト映像を楽しめます。家族や友人とのプライベート映像をアドレス帳電話番号で安心して共有(送受信)できます。
	Instagram※1※2	日常の風景から歴史的な出来事まで世界で起こっているあらゆる瞬間をモバイルで撮影・自由に編集し、家族や友達、そして世界中の利用者と簡単に共有することができるサービスです。
	Twitter※1	Twitterは多くの人々とつながったり、自分を表現したり、大好きなものについていろいろ知ることができる無料のアプリです。
	Messenger※1※2	友達や知り合いとスピーディーにメッセージのやりとりやグループチャットができる無料アプリです。
Google	Google	Google検索を利用できます。(▶P.25)
	Gmail	Gmailの送受信ができます。(▶P.46)
	ドライブ	ファイルをGoogleドライブに保存したり、共有したりすることができます。
	Play Music	Google Playで音楽を購入したり、購入した音楽を視聴したりできます。
	Playムービー&TV	Google Playで映画をレンタルして視聴できます。
	ハングアウト	チャットやビデオ通話ができます。
	フォト	撮影した静止画や動画を表示・編集したり、Googleドライブにバックアップすることができます。
	Playニューススタンド	気になるニュースや雑誌を1つのアプリでまとめてチェックできます。
	音声検索	Google音声検索を利用できます。
auフォルダー	au WALLET	au WALLET カードをより便利に使いこなすためのアプリです。 カードへのチャージのほか、カード残高・ポイント残高・特典の確認ができ、利用履歴は家計簿のようにグラフ化された画面で確認できます。
	au WALLET Market	日々の生活に役立つ"ちょっといいもの"を、誰でも気軽に買える新感覚のショッピングサービスです。auショップ店頭で購入した商品の確認や注文変更もご利用いただけます。
	Wowma! for au	日用品・タブレットグッズ・グルメ・ファッションなど、お買いものが楽しめるau公式のショッピングアプリです。
	auでんき	auでんきをご利用いただいているお客様は、ご自宅の電気の使用状況を簡単にご確認いただけるアプリです。 また、サンプル機能を利用して、どなたでもauでんきをご体験いただけます。

auフォルダー	au Market	auスマートパスのアプリ取り放題に対応したAndroidアプリをインストールできます。
	auシェアリンク	スマホとタブレットを便利に使えるようにするアプリです。スマホへの電話着信やEメール(@ezweb.ne.jp)などの通知をタブレットに表示したり、スマホをタブレット画面から操作するといった使い方が可能です。
	ナビウォーク※1※2	乗物・徒歩を組み合わせた最適なルートをナビゲーションするアプリです。
au サポート	取扱説明書※2	本製品の取扱説明書を表示します。(▶P.ii)
	故障受付	タブレットの調子が悪いときのトラブル診断、故障紛失サポートセンターの電話番号のご案内、インターネットでの交換申込、データ移行をトータルにサポートするアプリです。(▶P.62)
	データお預かり	写真などタブレットに保存されている様々なデータをauサーバーに預けたり、SDカードに保存したりするアプリです。 機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。
	リモートサポート	タブレットの操作で困ったとき、お客様のタブレットの画面を共有し、お客様の操作をサポートするアプリです。(▶P.62)
	Lookout for au	端末を紛失したり、盗難にあったときにKDDIオペレーターがリモートで端末の位置検索やロックをかけることができるアプリです。(▶P.62)
	au Wi-Fi接続ツール	auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。(▶P.63)
	安心アクセス	お子様がタブレットを安心してご利用いただけるよう、不適切と思われるウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。(▶P.63)
	デジラアプリ	データ通信の残データ容量を手軽に確認できるアプリです。データチャージ・データギフトを利用したり、ご家族へデータギフトをおねだりすることもできます。
	au ID 設定	au IDの設定を行います。(▶P.20)
Microsoft	Word※1	Microsoft Wordを利用できます。
	Excel※1	Microsoft Excelを利用できます。
	PowerPoint※1	Microsoft PowerPointを利用できます。
	OneNote※1	Microsoft OneNoteを利用できます。
	OneDrive※1	Microsoft OneDriveを利用できます。
	Outlook※1	Microsoft Outlookを利用できます。
その他アプリ	Qメモ+	テキスト入力や画像などを挿入したメモを作成できます。(▶P.67)
	ダウンロード	ブラウザからダウンロードした画像などを閲覧できます。(▶P.61)
	ボイスレコーダー	音声を録音したり、再生したりできます。(▶P.64)
	SATCH	QRコードやバーコードを読み取ることができます。その他、ARを楽しむことができます。ARとは対象物をカメラにかざして、動画やCGなどを表示できる機能です。アプリ内のキャンペーンページの案内に沿ってお楽しみください。(▶P.63)
	ゲームギフト※1※2	大人気ゲームのギフト配信を中心に、攻略情報や新作ゲーム事前登録情報、先行プレイなど、様々なお得を提供するアプリです。
	ギャラリー	内部ストレージやmicroSDメモリカードに保存した静止画や動画を閲覧できます。(▶P.58)

※1 「データの初期化」(▶P.84)を実行すると、削除されます。
※2 利用するにはダウンロード/インストールが必要です。

memo

- 各メニューからそれぞれの機能を使用すると、機能によっては通信料が発生する場合があります。
- アイコンなどのデザインは、予告なく変更する場合があります。
- 「データの初期化」(▶ P.84)を行うと一部のアプリは本製品から削除されますが、Google Play(▶ P.60)や更新センター(▶ P.85)などから再度ダウンロードできます。

クイック起動エリアを利用する

よく使うアプリケーションをクイック起動エリアに追加すると、ホーム画面からアプリケーションを起動できるようになります。
お買い上げ時には、（サービスTOP）、（マップ）、（Chrome）、（Eメール）、（カメラ）、（YouTube）が登録されています。

1 ホーム画面 ▶ クイック起動エリアに追加したいアイコンをロングタッチ

2 アイコンをクイック起動エリアまでドラッグして、指を離す

アイコンがクイック起動エリアに追加されます。すでに登録されているクイック起動エリアのアイコンの上で指を離すと、アイコンがフォルダに格納されます。

- クイック起動エリアの右の にドラッグすると、クイック起動エリアが追加されます。

memo

- クイック起動エリアのアプリを削除／非表示にするには、画面上部の「削除」／「非表示」にドラッグして指を離します。
- クイック起動エリアのアプリを移動するには、アプリをロングタッチ ▶ 移動する位置へドラッグして指を離します。

起動中のアプリケーションを一覧表示する

アプリケーションを起動中に ○ をタップするなどして利用を中断したり、利用するアプリケーションを切り替えたりすると、利用していたアプリケーションはバックグラウンドで処理を継続、または一時停止状態となります。
起動中アプリ一覧画面を表示して、利用するアプリケーションを切り替えたり、アプリケーションを終了したりできます。

1 ホーム画面 ▶ [□]

起動中アプリ一覧画面が表示されます。

■ 利用するアプリケーションを切り替える場合

2 アプリケーションをタップ

■ アプリケーションを終了する場合

2 アプリケーションを左右にフリック

アプリケーションの × をタップしても終了できます。
すべてのアプリケーションを終了する場合は「すべて消去」をタップします。

■ アプリケーションを起動中アプリ一覧画面に固定する場合

2 アプリケーションの [ ]

に変わります。
のアプリケーションは、左右フリックをしたり、× や「すべて消去」をタップしたりしても、終了できません。

memo

- 複数のアプリケーションを起動している場合、実行用メモリを効率的に使用するため、バックグラウンドのアプリケーションを自動的に終了する場合があります。
- 複数のアプリケーションを起動しているときなど、本体の実行用メモリが不足すると、サムネイルが表示されない場合があります。
- バックグラウンドのアプリケーションによっては、連続待受時間が短くなったり、動作が遅くなる場合があります。

マルチウィンドウを利用する

アプリ起動中に [□] をロングタッチすると、複数のアプリを同時に表示できます。

1 アプリ起動中に [□] をロングタッチ

画面が2分割され、複数のアプリが同時に表示されます。
アプリをタップすると、画面の右半分に表示できます。

- ホームタッチボタンの をロングタッチすると、マルチウィンドウを終了します。画面中央の「」を左右にスライドしても終了できます。
- 起動中のアプリが1つの場合は、画面の左半分に表示され、右半分には「ここに最近の画面が表示されます」と表示されます。

memo

- アプリによってはマルチウィンドウに対応していない場合があります。
- 起動中のアプリ一覧画面で表示されるマルチウィンドウ対応のアプリには [ ] が表示されます。

スクリーンショットを撮る

表示している画面を画像として保存できます。

1 電源キーと音量キー（DOWN）を同時に1秒以上押す

撮影したスクリーンショットは、ホーム画面 ▶［その他アプリ］▶［ギャラリー］▶［Screenshots］で確認できます。

クイック検索ボックスを利用する

本製品内やウェブサイトの情報を検索できます。

1 ホーム画面 ▶ クイック検索ボックスをタップ

クイック検索ボックス画面が表示されます。初回起動時はGoogle Nowについての画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。
ホーム画面 ▶［Google］▶［Google］と操作しても、クイック検索ボックス画面を表示できます。

2 入力欄にキーワードを入力

入力した文字を含むアプリケーションや検索候補などが入力欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／キーボードの [ ]

Google検索の検索結果が表示されます。
一覧からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

memo

- 一覧表示された項目の をタップすると、選択した項目が、検索ボックスに入力されます。

Google音声検索を利用する

検索するキーワードを音声で入力できます。

1 クイック検索ボックス画面 ▶ [ ]

Google音声検索画面が表示されます。

2 マイクに向かってキーワードを話す

ブラウザが起動してGoogle検索の検索結果が表示されます。

クイック検索ボックスを設定する

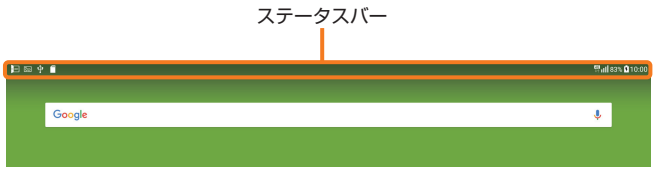
1 クイック検索ボックス画面 ▶ [ ] ▶ [ ] ▶ [設定]

2 以下の項目をタップ

通知	通知に関する設定を行います。
アカウントとプライバシー	Googleアカウントの設定やプライバシーに関する各種設定を行います。
検索言語	検索言語の設定を行います。
音声	音声検索の設定を行います。
タブレットの検索	タブレット内の検索対象を設定します。
フィード	Googleが必要な情報を予測し、的確な答えを表示するかどうかを設定します。
画面の検索	○ をロングタッチするか、音声で検索したときに、画面の内容に関する情報を表示するかどうかを設定します。
オートコンプリート	話題の記事を表示するかどうかなどを設定します。
概要	バージョンと法的事項が表示されます。

本製品の状態を知る

アイコンの見かた



ステータスバーの左側には新着メールや実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、右側には本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。
また、ステータスバーを下方向にスライドすると通知パネルが表示されます。

■ 通知アイコンの例

アイコン	概要
	新着メールあり（Eメール）
	新着メールあり（Gmail）
	新着SMSあり
	アラームの設定中
	アラームのスヌーズ中
	カレンダーの予定通知あり
／	音楽再生中／音楽一時停止中
	本体の空き容量が少ないとき
	USB接続中
	USBテザリング中
	データのアップロード中、アップロード完了、ファイル送信中、ファイル送信完了、ファイル送信失敗 ・ データのアップロード中、ファイル送信中のアイコンはアニメーション表示されます。
	データ、アプリケーションのダウンロード中、ダウンロード完了、インストール中、ファイル受信中、ファイル受信完了、ファイル受信失敗 ・ データのダウンロード中、データのインストール中、ファイル受信中のアイコンはアニメーション表示されます。
	利用可能なアップデートあり
	Google Playでインストール完了、または更新完了
	ソフトウェアのアップデートあり
	まとめられたアイコンあり ・ まとめられたアイコンは通知パネルで確認できます。
	Wi-Fi®テザリング中 ・ アイコンの右下に接続台数が表示されます。
	Bluetooth®テザリング中

■ ステータスアイコンの例

アイコン	概要
10:00	時刻
	アラーム設定あり
	電池レベル状態 十分／ 充電が必要／ 2%以下／ 充電中
	機内モード
	電波の強さ（受信電界） レベル4 ／ 圏外
	4G（LTE ／ WiMAX 2+）※データ通信状態
	VPN接続中
あ AB 12 カナ A 1 カ	文字種 あ ひらがな漢字入力／ AB 半角英字入力／ 12 半角数字入力／ カナ 半角カタカナ入力／ A 全角英字入力／ 1 全角数字入力／ カ 全角カタカナ入力
／	バイブのみ設定中／サイレント設定中
	Wi-Fi®の電波の強さ レベル4 ／ レベル0
	Bluetooth®利用中 待機中／ 接続中
／	GPS利用中／取得中
	マイク付きイヤホン挿入状態
	イヤホン挿入状態

※「LTE」「WiMAX 2+」の2つのネットワークをご利用いただけます。いずれの場合も画面表示は「4G」となります。回線の混雑状況等に応じ、より混雑が少ないと当社が判断したネットワークに接続します。

通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されているときに、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、通知の概要を確認したり、対応するアプリケーションを起動したりできます。

1 ステータスバーを下方向にスライド

・ 再度下方向にスライドすると通知パネル（拡張）が表示されます。

《通知パネル（通常）》

《通知パネル（拡張）》

1 日付と時刻
日付と時刻を表示します。

2 クイック設定※
キャプチャー＋（スクリーンショット編集）やWi-Fi®、サウンドプロフィールなどの起動や設定の変更が行えます。

3 画面の明るさ

4 通知情報
通知情報の詳細を表示します。

5 すべて消去
通知情報と通知アイコンの表示を消去します。
通知内容によっては通知を消去できない場合があります。

6 モニターモード／画面共有／ファイル共有
MiracastやBluetooth Low Energy機能を利用して、画像や音声などを他の機器で再生または他の機器と共有します。

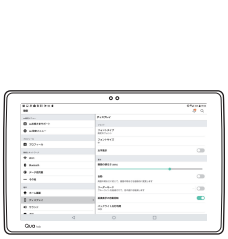
7 設定
設定メニューが表示されます。

※ 左右にスライドすると、表示されていないアイコンを表示できます。

共通の操作を覚える

縦横表示を切り替える

縦横表示の自動回転を有効にして、ご使用時に本製品の向きを変えると、自動的に縦横表示を切り替えることができます。



《横表示の例》

《縦表示の例》

memo

- 本製品を垂直に立てた状態で操作してください。本製品を水平に寝かせると画面表示が切り替わらない場合があります。
- アプリケーションによっては、本製品の向きや設定にかかわらず画面表示が切り替わらない場合があります。

利用できるメニューを表示する

■ オプションメニューについて

オプションメニューは、「 ⋮ 」などをタップすると表示されるメニューです。

例：Wi-Fi設定メニューの場合

■ コンテキストメニューについて

コンテキストメニューは、メニューを表示できる画面や項目をロングタッチすると表示されるメニューです。

例：Chromeの履歴の場合

1 ホーム画面 ▶ [ ]

2 [⋮] ▶ [履歴]

3 履歴をロングタッチ

ロックを解除する

「ロック画面」で制限した機能を利用するときや、データを全件削除するときなど、重要な操作を行うときは、「ノックコード／パターン／PIN／パスワード」の入力を求められます（▶P.14「プライバシーを守るための機能について」）。
「画面ロックを選択」の設定（▶P.83）を変更することで、スワイプの代わりにノックコード、パターン、PINやパスワードを使用することができます。

■ スワイプ

1 スワイプが必要な画面を表示させる

2 画面をスワイプ

■ ノックコードを入力する

1 ノックコードの入力が必要な画面を表示させる

2 ノックコードを順番にタップ

■ パターンを入力する

1 パターンの入力が必要な画面を表示させる

2 パターンを入力

■ PINを入力する

1 PINの入力が必要な画面を表示させる

2 PINを入力 ▶ [OK]

■ パスワードを入力する

1 パスワードの入力が必要な画面を表示させる

2 パスワードを入力 ▶ [ ]

memo

- パターン／ PIN ／パスワードの入力に5回失敗すると、メッセージが表示され30秒間入力できない状態になります。「OK」を選択し、入力可能になったら再入力してください。
- 画面ロックの種類をノックコードに設定している場合、画面OFF時かつ縦向きの状態ではロック画面を解除できない場合があります。横向きにしてからロック画面を解除してください。

チェックボックスを利用する

設定項目の横にチェックボックスが表示されているときは、チェックボックスをタップすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。
また、データの「選択移動」「選択保存」「選択削除」などをする際は、チェックボックスをタップすることで項目の選択／選択解除を切り替えることができます。

アイコン	説明
☑	設定が有効／項目が選択されている状態です。
☐	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

ラジオボタンを利用する

設定項目の横にラジオボタンが表示されているときは、ラジオボタンをタップすることで設定を有効に切り替えることができます。
複数の設定項目のうち1件だけ項目を選択できます。

アイコン	説明
◉	設定が有効／項目が選択されている状態です。
○	設定が無効／項目が選択されていない状態です。

スイッチを利用する

設定項目の横にスイッチが表示されているときは、スイッチをタップすることで設定の有効／無効を切り替えることができます。

アイコン	説明
⬬	設定が有効な状態です。
⬬	設定が無効な状態です。

アプリの権限を設定する

本製品の機能や情報にアクセスするアプリ／機能を初めて起動すると、アクセス権限の許可をリクエストする確認画面が表示されます。
確認画面が表示された場合は、内容をご確認の上、「許可しない」／「許可」をタップしてください。
例：フォトを初めて起動した場合

1 ホーム画面 ▶ [Google] ▶ [フォト] ▶ [許可]
アプリが起動します。

memo

- 許可をしないとアプリ／機能を起動できない場合や、機能の利用が制限される場合があります。
- 権限の設定を変更するには、ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [設定] ▶ [アプリ] ▶ 権限を変更するアプリを選択 ▶ [許可] ▶ 変更する権限の [ ] ／ [ ] と操作します。
- アプリ／機能によっては、許可についての説明画面が表示される場合があります。また、確認画面が複数回表示される場合や、表示が異なる場合があります。表示内容をよくご確認の上、画面の指示に従って操作してください。
- 本書では、確認画面の表示の記載については省略している場合があります。

文字入力

文字入力について

文字入力には、ソフトウェアキーボードを使用します。
ソフトウェアキーボードは、連絡先の登録時やメール作成時などの文字入力画面で入力欄をタップすると表示されます。

ソフトウェアキーボードを切り替える

本製品では、次のソフトウェアキーボードを利用できます。

QWERTY	一般的なパソコンと同じ配列のキーボードです。文字入力キーをタップして、表示されている文字を入力します。日本語はローマ字で文字を入力します。
10キー	一般的な携帯電話と同じ配列のキーボードです。文字入力キーをタップするたびに文字が切り替わります。
50音キー	50音順の配列のキーボードです。文字入力キーをタップして、表示されている文字を入力します。
手書き入力	手書きで文字を入力します。
Google音声入力	音声入力することができます。

1 文字入力画面 ▶ [あA1] をロングタッチ

2 [キーボードタイプ切替] ▶ [10キー] ／ [QWERTY] ／ [50音キー]

memo

- お買い上げ時には、入力ソフトとして「日本語キーボード」がインストールされています。
- キー操作時の効果音やバイブレータなどを設定するには、文字入力画面 ▶ [あA1] をロングタッチ ▶ [キーボード設定] ▶ [キーボード操作] と操作します。

QWERTYで入力する

入力したい文字の文字入力キーをタップします。「ひらがな漢字」の場合は、ローマ字入力になります。

10キーで入力する

キーを上下左右にフリックすることで、各行の入力したい文字を入力できます。

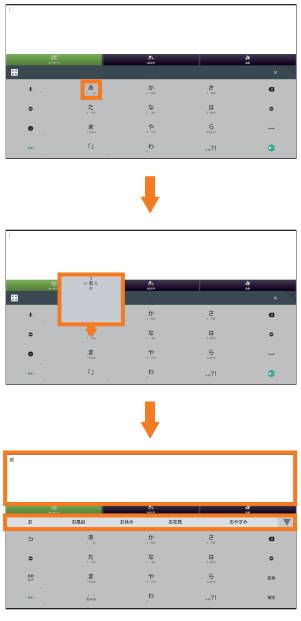
■ フリック入力について
10キーの場合、キーを上下左右にフリックすることで、キーを繰り返してタップすることなく、入力したい文字を表示することができます。
キーをロングタッチすると、フリック入力で入力できる候補が表示されます。入力したい文字が表示されている方向にフリックすると、文字入力エリアに文字が入力されます。

例）「お」を入力する例で説明します。

1 [あ] をロングタッチ
が表示されます。

2 下方向にフリック
「お」が入力されます。

3 必要に応じて変換候補をタップ



文字入力画面の見かた

《文字入力画面（QWERTY）》

《文字入力画面（10キー）》

《文字入力画面（50音キー）》

※ ひらがな漢字入力中のキー表示です。

❶ 文字入力エリア

❷ 通常変換候補リスト／予測変換候補リスト／キーボードスタイル切替

文字を入力して 変換 をタップすると、通常変換候補リストが表示されます。予測変換を有効に設定している場合は、文字を入力すると予測変換候補リストが表示されます。

- ▼ をタップすると候補リストの表示エリアを拡大できます。元の表示に戻すには、▲ をタップします。

文字を入力していないときは、キーボードスタイルの設定バーが表示されます。

：フローティングモードに切り替えます。キーボードの表示位置や透過度、サイズを変更できます。

：通常モードに切り替えます。

❸ ソフトウェアキーボード

各キーに割り当てられた文字を入力できます。

❹ 括弧キー（ひらがな漢字／カタカナ）／シフトキー（英字）／記号切り替えキー（数字）

「」：括弧を入力します。ロングタッチすると括弧の種類を選択できます。

：大文字／小文字入力を切り替えます。
タップするたびに、表示が次のように変更されます。

：小文字入力
：大文字入力
：大文字入力（固定）

1/2 ／ 2/2：入力できる記号を切り替えられます。

❺ 文字種切替キー

入力する文字種を切り替えます。
文字種を切り替えると、表示が次のように変更されます。

あA1：ひらがな漢字入力
カ：半角カタカナ入力※
あA1：半角英字入力
あA1：半角数字入力
カ：全角カタカナ入力※
A：全角英字入力※
1：全角数字入力※

※「 あA1 」をロングタッチ ▶［入力モード］で選択できます。

- ロングタッチすると各種設定の変更、キーボードタイプや入力モードの切り替えができます。
- 分割キーボード（▶P.30）を有効に設定している場合、QWERTYまたは10キーで あA1 をロングタッチ ▶［基本←→分割キーボード］と操作すると、分割キーボードに切り替えることができます。

❻ 絵文字・記号・顔文字キー／英数・カナキー

：絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。

英数 カナ：10キー入力時に、入力したキーに割り当てられているひらがな、カタカナ、英字、数字、予測される日付や時間が変換候補に表示されます。

❼ 音声入力キー／手書き入力キー／バックキー／やり直しキー

：タップすると音声入力に切り替わります。ロングタッチで音声入力／手書き入力／入力拡張プラグイン／クリップボードの選択画面が表示されます。

：タップすると手書き入力に切り替えます。ロングタッチで手書き入力／入力拡張プラグイン／クリップボードの選択画面が表示されます。

- 文字入力欄に音声入力のアイコンが表示されている場合に利用できます。

：10キー入力時に、同じキーに割り当てられた文字を逆順に表示します。フリック入力では、バックキーを利用できません。

Undo：10キー／50音キー入力時に、直前に行った変換操作を取り消します。

❽ 変換キー／スペースキー

変換：10キー／50音キー入力時に、ひらがな入力中は通常変換候補リストを表示します。

：スペースを入力します。

❾ カーソルキー

カーソルを左／右に移動します。文字入力中／変換時は、文字の区切りを変更します。

❿ 確定キー／改行キー

確定：入力中の文字を確定します。

：カーソルの位置で改行します。
アプリケーションや入力中の項目によって、表示が切り替わります。

⓫ DELキー

選択した文字やカーソルの左の文字を削除します。カーソルが文頭にある場合は、文字は削除されません。

⓬ 括弧キー／大文字・小文字・濁点・半濁点切替キー※

「」：括弧を入力します。ロングタッチすると括弧の種類を選択できます。

大⇔小：ひらがな／カタカナ入力時にタップすると、入力した文字を大文字／小文字に切り替えたり、濁点／半濁点をつけたりします。

A/a：英字入力時にタップすると、英字を大文字／小文字に切り替えます。

※ フリック入力はできません。

文字を入力する

ソフトウェアキーボードを使用して文字を入力します。ワイルドカード予測／予測変換の機能を利用して入力することもできます。

例：「東京」と入力する場合

1 文字入力画面で「とうきょう」と入力

2 [変換]

3 [東京]

■ ワイルドカード候補を利用する

読みの文字数から予測変換の候補を表示し、入力できます。ワイルドカード予測を使用するには、あらかじめキーボード設定の「予測候補と変換」の設定で「ワイルドカード候補」を有効にしてください。

例：「テレビ」と入力する場合

1 文字入力画面で「て」と入力

2 [ ] ▶ [ ]

をタップするたびに「○」が入力され、文字数に合わせた予測変換の候補が予測変換候補リストに表示されます。

3 [テレビ]

memo

予測変換について

- 予測変換候補リストで学習した変換候補をロングタッチ ▶［学習削除］と操作すると、学習した変換候補を削除できます。
- ひらがな入力中に 変換 をタップすると通常変換候補リストに切り替えられます。
  をタップすると、再度予測変換候補リストに切り替えられます。

入力モードを切り替える

1 文字入力画面 ▶「 あA1 」をロングタッチ ▶［入力モード］

2 入力モードを選択

memo

- あA1 をタップするたびに、入力モードが「半角英字」▶「半角数字」▶「ひらがな漢字」の順に切り替わります。
- 操作する画面やアプリケーションなどによっては、入力できない文字種があります。

絵文字／記号／顔文字を入力する

1 文字入力画面 ▶ [ ]

絵文字／記号／顔文字の入力画面が表示されます。

2 [絵文字] ／ [記号] ／ [顔文字]

絵文字／記号／顔文字一覧画面が表示されます。

音声で入力する

1 文字入力画面 ▶ [🎤]
メッセージが表示された場合は、「OK」をタップしてください。

2 マイクに向かって話す
処理が完了すると文字が入力されます。

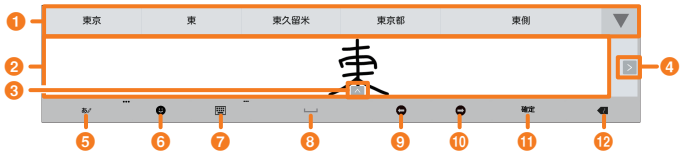
手書きで入力する

例：「東京」と入力する場合

1 文字入力画面 ▶「 🎤 」をロングタッチ ▶ [✎]

2 手書きで「東」と入力

3 予測変換候補リストで「東京」



❶ **予測変換候補リスト**
❷ **文字入力エリア**
❸ **認識文字切り替えキー**
認識された文字の別候補を表示します。
❹ **スクロールキー**
文字入力エリアをスクロールします。
❺ **入力モード／実行モードキー**
手書きで認識する入力モードを選択したり、実行モードを切り替えることができます。
・ ロングタッチすると手書き入力の設定ができます。
❻ **絵文字・記号・顔文字キー**
絵文字／記号／顔文字一覧を表示します。
❼ **キーボードタイプ切り替えキー**
キーボードに変更します。
❽ **スペースキー**
スペースを入力します。
❾ **左カーソルキー**
カーソルを左へ移動します。
❿ **右カーソルキー**
カーソルを右へ移動します。
⓫ **確定／改行キー**
入力中の文字列を確定したり、改行を入力することができます。
⓬ **DELキー**
入力した文字を削除します。ロングタッチすると削除モードを変更できます。
：文字入力エリアの文字を一筆ずつ削除します。
：文字入力エリアの文字を一文字ずつ削除します。
：文字入力エリアの文字をすべて削除します。

文字入力の便利な機能を利用する

文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける

■ 文字を選択して切り取り／コピーする場合

1 文字入力画面で文字入力エリアをロングタッチ
以下のメニューが表示されます。

切り取り		選択した文字列を切り取ります。
コピー		選択した文字列をコピーします。
貼り付け		切り取り／コピーした文字列を貼り付けます。
共有		選択した文字列をBluetooth®、Eメール、Gmailなどを使って共有します。
クリップボード		今までクリップボードに保存したテキストや画像などを表示します。
⋮	←	上の階層に戻ります。
	すべて選択	文字入力エリアのすべての文字を選択します。
	アシスト	Googleアプリが起動します。

※ 状況により表示されない場合もあります。

2「 ※」／「 ※」をスライドして範囲を選択
※ アプリによって表示が異なる場合があります。

3 [切り取り] ／ [コピー]

4 貼り付ける位置をタップ ▶ [貼り付け]

入力拡張プラグインを利用する

入力拡張プラグインを利用すると、いろいろな文字入力に関する機能を拡張できます。

1 文字入力画面 ▶「 あA1 」をロングタッチ ▶ [キーボード設定] ▶ [その他] ▶ [入力拡張プラグイン] ▶ [使用する]
メッセージが表示された場合は、内容を確認して「OK」をタップしてください。

■ 入力拡張プラグインを選択する

1 文字入力画面 ▶「 🎤 」をロングタッチ ▶ [⧉]
文字入力画面で「 あA1 」をロングタッチ ▶ [入力拡張プラグイン] と操作しても入力拡張プラグイン選択画面を表示できます。

2 使用する入力拡張プラグインを選択

memo
・ 入力拡張プラグインは、アプリケーションをインストールして利用します。アプリケーションのインストール方法については、「Androidアプリ」（▶P.60）をご参照ください。
・ 通常変換候補リスト／予測変換候補リストで候補をロングタッチ ▶ [拡張] と操作し、入力拡張プラグインを選択しても起動できます。

入力に関する設定を行う

日本語キーボードでのキー操作時の操作音やバイブレータなどを設定できます。

1 文字入力画面 ▶「 あA1 」をロングタッチ ▶ [キーボード設定]
日本語キーボード設定画面が表示されます。

2 以下の項目をタップ

入力言語		入力言語を設定します。
一般	キーボードレイアウト	音声入力キーや戻すキーの表示、分割キーボードやフルスクリーンモードなどの設定を行います。
	キーボード操作	フリック入力の有効／無効の切り替えやフリック感度、キー操作効果音やキー操作バイブなどの設定を行います。
詳細	予測候補と変換	単語学習や予測変換、ワイルドカード候補、入力ミス補正、大文字自動変換などの設定を行います。
	辞書	ユーザー辞書を編集／リセットできます。
	手書き入力	手書き入力のペンや自動スクロールを設定します。
	その他	入力拡張プラグインの有効／無効の切り替えやキーボード設定のリセット、キーボードバージョンの確認を行います。
ヒント	ヘルプ	キーボードのヘルプを表示します。

ユーザー辞書に登録する

よく利用する単語などの表記と読みを、最大500件まで登録できます。文字の入力時に登録した単語などの読みを入力すると、変換候補リストに表示されます。

1 文字入力画面 ▶「 あA1 」をロングタッチ ▶ [キーボード設定] ▶ [辞書] ▶ [日本語] ／ [英語およびその他]
ユーザー辞書単語一覧画面が表示されます。

2 [⋮] ▶ [登録]

3 読み／単語を入力 ▶ [OK]

memo
・ 登録した単語を編集する場合は、ユーザー辞書単語一覧画面で編集する単語を選択 ▶ [⋮] ▶ [編集] と操作します。
単語をダブルタップしても編集操作ができます。
・ ユーザー辞書単語一覧画面で削除する単語を選択 ▶ [⋮] ▶ [削除] ／ [すべて削除] ▶ [OK] と操作すると、選択した単語／すべての単語を削除できます。

メール

Eメールを利用する …… 32
Eメールの表示モードを切り替える …… 32
Eメールを送信する …… 34
Eメールを受信する …… 36
新着メールを問い合わせて受信する …… 37
Eメールを検索する …… 37
Eメールをフォルダモードで確認する …… 37
Eメールを会話モードで確認する …… 39
Eメールを設定する …… 40
バックアップしたEメールを復元する …… 42
アカウントの追加 …… 42
迷惑メールフィルターを設定する …… 43
SMSを利用する …… 44
SMSを送信する …… 44
SMSを受信する …… 44
SMSを検索する …… 45
SMSを削除する …… 45
SMSを設定する …… 45
Gmailを利用する …… 46
Gmailを起動する …… 46

Eメールを利用する

- Eメールアプリを利用するには、あらかじめ初期設定が必要です。
  詳しくは、auホームページからダウンロードできる『設定ガイド Android 7.0対応版』をご参照ください。
- Eメールを利用するには、LTE NETのお申し込みが必要です。ご購入時にお申し込みにならなかった方は、auショップまたはお客さまセンターまでお問い合わせください。

memo

- Eメールの送受信には、データ量に応じて変わるデータ通信料がかかります。詳しくは、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。
- 添付データが含まれている場合やご使用エリアの電波状態によって、Eメールの送受信に時間がかかることがあります。
- ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［アプリ］▶「Eメール」アプリを選択し、［ストレージ］▶［データの削除］を行った場合、保存されたEメールのデータや設定情報がすべて削除されます。事前にバックアップを行ってください。

Eメールの初期設定について

- 初期設定は、電波状態の良い場所で行ってください。電波状態の悪い場所や、移動中に行うと、正しく設定されない場合があります。
  Wi-Fi®通信では初期設定ができません。
- 時間帯によっては、初期設定の所要時間が30秒～3分程度かかります。「Eメールアドレスの設定中です。しばらくお待ちください。」と表示された画面のまま、お待ちください。
- auケータイ／スマートフォンのEメールをタブレットで送受信することができます。設定方法は、「アカウントの追加」（▶P.42）をご参照ください。
- Eメールアドレスを変更する操作については、「Eメールアドレスの変更やその他の設定をする」（▶P.42）をご参照ください。
- Eメールの文字サイズを変更可能です。
  ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［ディスプレイ］▶「フォントサイズ」でサイズを変更してください。
- アプリが使用する各機能に対し、アクセス権限の許可操作が必要となりました。
  ファイル添付、ファイル保存、バックアップ／復元、着信音設定時などにおいて、確認ダイアログ（Eメールに必要な許可のお願い）が表示される場合には、「許可」をお願いします。

Eメールの表示モードを切り替える

指定した条件ごとにEメールをまとめるフォルダモードと相手先ごとにEメールをスレッドとしてまとめて表示する会話モードの、2つの表示モードを切り替えることができます。

1 ホーム画面▶［ ］

2 ［ ］
表示モードが切り替わります。

《フォルダモード》

《会話モード》

memo

- 本書ではフォルダモードでの操作を基準に説明しています。会話モードでは、メニューの項目／アイコン／画面上のボタンなどが異なる場合があります。

フォルダモードでの画面の見かた

フォルダモード画面には、受信ボックスや送信ボックス、フォルダなどが表示されます。フォルダは、「フォルダ作成」をタップしてフォルダを作成すると表示されます。

《フォルダモード画面》

❶ フォルダー覧
❷ アクションバー
❸ Eメール一覧

■ フォルダー覧の見かた

《フォルダー覧》

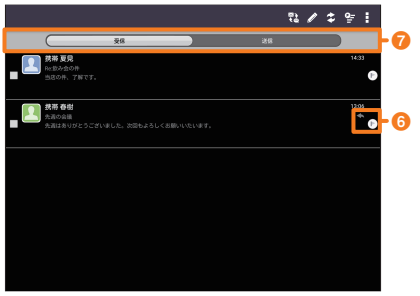
❶ フォルダに未読メールや未送信メールがある場合は、アイコンの右上に合計の件数が表示されます。
❷ 受信ボックス
❸ インフォボックス
❹ 送信ボックス
❺ 未送信ボックス
❻ 作成したフォルダ
❼ フォルダ作成
❽ メニューボタン

■Eメール一覧の見かた

《受信メール一覧画面》

《送信メール一覧画面》

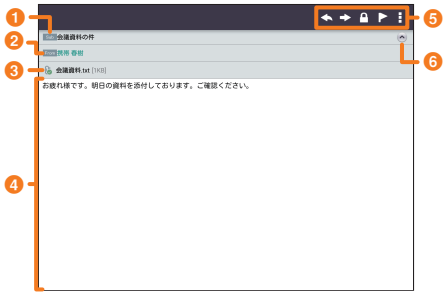
《未送信メール一覧画面》



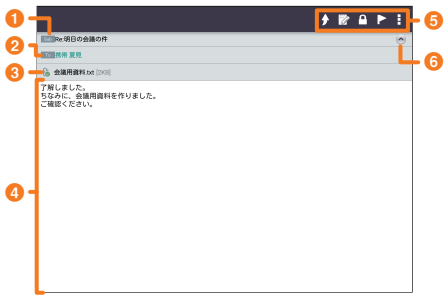
《フォルダメール一覧画面》

❶ ●：未読のEメール
❷ 件名
❸ 宛先／差出人の名前またはメールアドレス
：アドレス帳に登録があるアドレスと送受信した場合
：アドレス帳未登録のアドレスと送受信した場合
※ や の表示有無は「プロフィールアイコンを表示」（▶P.41）で変更することができます。
をタップすると背景色を変更することができます。背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」（▶P.41）で戻すことができます。
メールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前／写真が表示されます。
受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。
連絡先に登録されていない場合で、差出人名称も設定されていない場合は、メールアドレスが表示されます。
※ 連絡先にメールアドレスが登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。
❹ チェックボックス
チェックを付けるとアクションバーで全選択／削除／保護／フラグ等の操作をすることができます。
❺ アクションバー
❻ アイコン
：返信したEメール
：転送したEメール
：返信／転送したEメール
：添付データあり
：保護されたEメール
：フラグ設定Eメール
：フラグ未設定Eメール
：送信に失敗したEメール
：送信予約Eメール
：自動再送信Eメール
❼ 受信／送信切替スライダー
フォルダ内の受信メール一覧と、送信済みメール一覧を切り替えて表示できます。

■Eメール詳細表示画面の見かた



《受信メール詳細表示画面》



《送信メール詳細表示画面》

❶ Sub：件名
❷ 受信メール
From：差出人の名前またはメールアドレス
To ／ CC：宛先の名前またはメールアドレス
送信メール
To ／ CC ／ BCC：宛先の名前またはメールアドレス
❸ ：添付データ
：インライン添付データ
❹ 本文表示エリア
本文表示エリアにて、ピンチイン／ピンチアウト操作することで、本文表示の拡大・縮小が可能です。
❺ アクションバー
❻ 詳細情報の表示／非表示

会話モードでの画面の見かた

Eメールは、相手先ごとにまとめられたスレッドが一覧表示されます。

《会話モード画面》

❶ スレッド一覧
❷ アクションバー
❸ スレッド内容表示

■ スレッド一覧の見かた

《スレッド一覧》

❶ **すべて表示／お気に入り表示切替タブ**
すべてのスレッド一覧と、お気に入りのスレッド一覧を切り替えて表示できます。

❷ **（赤色）：新着Eメールあり**
（青色）：未読Eメールあり

❸ **チェックボックス**
削除するスレッドにチェックを付ける ▶［ ］▶［削除］と操作するとスレッドを削除できます。

❹ **スレッド**
内容を表示しているスレッドは色が変わります。
：アドレス帳に登録があるアドレスと送受信した場合
：アドレス帳未登録のアドレスと送受信した場合
※ や の表示有無は「プロフィールアイコンを表示」（▶P.41）で変更することができます。
をタップすると背景色を変更することができます。背景色は「プロフィールアイコン色のリセット」（▶P.41）で戻すことができます。

❺ **インフォボックス**
インフォボックスメールを表示できます。
※ 新着／未読メールがある場合は、「インフォボックス」タブの右上に合計の件数が表示されます。

❻ **（黄色）：お気に入り**
（灰色）：お気に入り解除

❼ **メニューボタン**

■ スレッド内容表示の見かた

《スレッド内容表示》

❶ **受信したEメール**

❷ **続き表示ボタン**
本文をすべて表示するときに使用します。
閉じるときは をタップします。

❸ **メール作成バー**

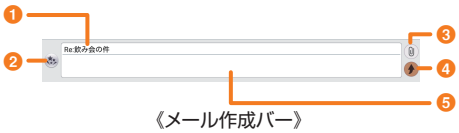
❹ **アイコン**
「Eメール一覧の見かた」（▶P.33）の⑥をご参照ください。

❺ **詳細表示**
Eメール詳細表示画面を表示します。
・ Eメールをロングタッチ ▶［詳細表示］と操作しても詳細表示画面を表示できます。

❻ **：送信予約Eメール**
：自動再送信Eメール

❼ **送信したEメールや送信予約中のEメール**

■ メール作成バーの見かた



《メール作成バー》

❶ **件名入力欄**
「件名を非表示」に設定している場合は表示されません。

❷ **D絵文字ボタン**
デコレーション絵文字やピクチャを入力するときに使用します。

❸ **添付ボタン**
データを添付するときに使用します。

❹ **送信ボタン**
メール送信を実行します。

❺ **本文入力欄**
メールの本文を入力します。

Eメールを送信する

■ フォルダモードでEメールを送信する場合

1 ホーム画面 ▶［ ］

2 ［ ］
送信メール作成画面が表示されます。

3 ［ ］
アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。
・ 入力中のアドレスを含むスレッドの候補が表示されます。

4 以下の項目をタップ

アドレス帳引用	連絡先のメールアドレスを宛先に入力します。
アドレス帳グループ引用	連絡先のグループに登録されたすべてのメールアドレスを宛先に入力します。 ・ グループに登録されているメールアドレスが宛先の上限を超えている場合は、上限まで宛先に入力します。
メール受信履歴引用	送信メール履歴／受信メール履歴の一覧から選択して、メールアドレスを宛先に入力します。
メール送信履歴引用	**メールアドレスにチェックを付ける ▶［選択］** ・［ ］▶［削除］▶ メールアドレスにチェックを付ける ▶［削除］▶［削除］と操作すると、履歴を削除できます。
プロフィール引用	本製品に登録されている自分のEメールアドレスを宛先に入力します。
貼り付け※	クリップボードに記憶されたメールアドレスを貼り付けます。

※ クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

5 件名入力欄をタップ ▶ 件名を入力

6 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力

7 ［完了］▶［送信］▶［送信］

■ 会話モードでEメールを送信する場合

1 会話モード画面 ▶［ ］
宛先入力画面が表示されます。
・ 過去に送受信した相手先にEメールを送信する場合はスレッドをタップしてEメールを送信することができます。その場合は、操作4へ進みます。

2 ［ ］
宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」（▶P.34）の操作4をご参照ください。
アドレス入力欄をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

3 ［作成］
会話モードの送信メール作成画面が表示されます。

4 件名入力欄をタップ ▶ 件名を入力

5 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力

6 ［ ］

memo

・ デコレーションアニメには対応しておりません。
・ 件名や本文には、半角カナおよび半角記号『ー（長音）゛（濁点）゜（半濁点）、。･「」』は入力できません。
・ 1日に送信できるEメールの件数は、宛先数の合計で最大1,000通までです。
・ 一度に送信できるEメールの宛先の件数は、最大30件（To ／ Cc ／ Bccを含む。1件につき半角64文字以内）までです。
・ 絵文字を他社携帯電話やパソコンなどに送信すると、他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、auの端末に送信した場合でも、受信側のauの端末に搭載されている異なるデザインの絵文字に変換されることがあります。
・ 送信時確認表示は非表示に設定することもできます（▶P.41）。
・ フォルダモードではメール作成画面で「保存」をタップすると、作成中のEメールを未送信ボックスに保存できます。
・ あらかじめ「自動再送信」（▶P.41）を有効にしておくと、メール送信に失敗した際に自動で再送信することができます。また、送信予約をすると、日時指定送信か、または本製品が電波の届かない場所でメールを送信したい場合に圏内復帰時に自動送信することができます。

宛先を追加・削除する

■宛先を追加する場合

1 送信メール作成画面 ▶ 未入力のアドレス入力欄の［ ］

宛先の入力方法を選択するサブメニューが表示されます。「Eメールを送信する」（▶P.34）の操作4をご参照ください。
「宛先を追加」をタップしてアドレスを直接入力することもできます。

■宛先を削除する場合

1 送信メール作成画面 ▶ 入力済みのアドレスの［ ］▶［削除］

memo

- フォルダモードではアドレス入力欄の To をタップすると宛先の種類を変更することができます。一番上の宛先の種類を変更することはできません。

送信予約をする

■フォルダモードで送信予約する

1 送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力 ▶［完了］

2 ［送信予約］▶［OK］

- アドレスが未入力の場合は［送信予約］をタップできません。

3 送信する日付を設定 ▶［設定］

4 送信する時間を設定 ▶［設定］

未送信ボックスに が付いた送信予定のEメールが保存されます。

■会話モードで送信予約する

1 会話モード画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力

2 ［ ］▶［OK］

3 送信する日付を設定 ▶［設定］

4 送信する時間を設定 ▶［設定］

スレッド内容表示に が付いた送信予定のEメールが表示されます。

memo

- メールの自動送信は20件まで設定できます。
- 送信予約が設定されているメールを編集しようとしたり、指定した日時を変更しようすると、いったん送信予約が解除されます。
- 電波状況などにより、予約した日時に送信できない場合があります。
- 送信予約（日時指定）された日時に、電波が届かない状態や電源が切れていた場合には、送信失敗になります。
- 電波が届かない状態で送信予約をすると、日時指定送信か圏内復帰時に自動送信するかを選択することができます。

Eメールにデータを添付する

送信メールには、最大5件（合計2MB以下）のデータを添付できます。

1 送信メール作成画面 ▶［添付する］

会話モードではメール作成バーの「 」をタップします。

2 以下の項目をタップ

ギャラリー（静止画）	ギャラリーの静止画データを添付します。
ギャラリー（動画）	ギャラリーの動画データを添付します。
カメラ（静止画）	静止画を撮影して添付します。
カメラ（動画）	動画を撮影して添付します。
ストレージ	本体ストレージやmicroSDメモリカードに保存しているデータを添付します。
その他	他のアプリケーションを利用してデータを添付します。

memo

- 1データあたり2MBまでのデータを添付できます。
1データあたり2MB以上の静止画データ（JPEG、PNG）を添付、または合計で2MB以上のデータを添付する際、静止画データ（JPEG、PNG）のサイズを縮小する場合があります。
静止画データ（JPEG、PNG）のサイズを更に縮小したい場合には、「画像サイズをケータイ用に変更」にチェックを付けてください。
受信側の端末によっては、受信できない、または、正しく表示できない場合があります。
- フォルダモードではデータを添付した後に、添付データ欄をタップすると添付したデータを再生できます。
- 添付データを削除するには、削除する添付データの［ ］▶［削除］と操作します。

D絵文字を利用する

Eメール作成中に、デコレーションメールの素材を簡単に探すことができます。

1 送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶［D絵文字］

会話モードではメール作成バーの「 」をタップします。

2 ［D絵文字を探す］

3 以下の項目をタップ

メニューリストから探す	au Webポータルに接続して、デコレーションメールアプリを検索できます。
お気に入りからコンテンツを探す	他のアプリケーションを利用して、デコレーションメールの素材を検索できます。

■システムメモリ（本体）の絵文字を利用する場合

2 ［ストレージ］

- microSDメモリカードに保存しているデータも利用できます。

■D絵文字パレットのカテゴリを追加する場合

2 ［カテゴリ追加］

3 カテゴリ名称を入力 ▶［作成］

4 作成したカテゴリに表示するデコレーション絵文字を選択 ▶［追加］

■カテゴリ順序の入れ替えや編集を行う場合

2 ［カテゴリ設定］▶［編集］

3 ［ ］を移動したい位置までドラッグ ▶［完了］

- 追加したカテゴリは［削除］で削除できます。カテゴリを削除してもデコレーション素材の元データは削除されません。

本文入力中にできること

■ フォルダモードの場合

1 送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ [MENU]

2 以下の項目をタップ

アドレス帳引用	連絡先から、電話番号やメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
プロフィール引用	プロフィールに登録している自分の電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 ・冒頭文／署名はあらかじめ登録してください（▶P.41）。
装飾全解除	すべての装飾を解除します。

※ 入力中の条件により選択できる項目は異なります。

■ 会話モードの場合

1 送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

削除	Eメールを削除します。
プロフィール引用	プロフィールに登録している自分の電話番号やEメールアドレスを呼び出して挿入します。
挿入	定型文／冒頭文／署名を挿入します。 「定型文」「冒頭文」「署名」 ・冒頭文／署名はあらかじめ登録してください（▶P.41）。

※ 入力中の条件により選択できる項目は異なります。

■ アクションバーを利用する

1 会話モード画面 ▶ 本文入力欄をタップ

2 以下の項目をタップ

（宛先一覧）	宛先一覧画面が表示されます。 ・「宛先編集」をタップすると宛先を編集できます。
（送信予約）	▶P.35「送信予約をする」
（アドレス帳引用）	連絡先から、電話番号やメールアドレスなどを呼び出して挿入します。
（検索）	▶P.37「Eメールを検索する」

フォルダモードで本文を装飾する

フォルダモードでは本文を装飾してメールを作成することができます。

■ 本文を装飾する

本文を装飾したEメール（デコレーションメール）を送付できます。

1 送信メール作成画面 ▶ 本文入力欄をタップ ▶ 本文を入力

2 [装飾]

デコレーションメニューが表示されます。

3 装飾の開始位置を選択 ▶ [選択開始] ▶ [◀] ／ [▶] で終了位置を選択

「全選択」をタップして、すべての文字を選択することもできます。

4 以下の項目をタップ

文字サイズ	文字の大きさを変更します。 「小さい」「標準」「大きい」
文字位置／効果	文字の位置や動きを指定します。 「左寄せ」「センタリング」「右寄せ」「点滅表示」「テロップ」「スウィング」
文字色	24色のカラーパレットから文字の色を選択します。
背景色※	24色のカラーパレットから背景の色を選択します。
挿入	本体ストレージやmicroSDメモリカードに保存しているデータやギャラリーの画像、カメラで撮影した画像を挿入したり、行と行の間にラインを挿入したりします。 「画像挿入」「ライン挿入」

※「冒頭文」「署名」編集時は選択できません。

5 [完了] ▶ [送信] ▶ [送信]

memo

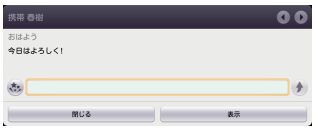
- 本文には、最大20件（合計100KB以下）の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。
  ※ 一度挿入した画像／デコレーション絵文字は、件数に関係なく繰り返し挿入できます。
  ※ 挿入できる画像／デコレーション絵文字は、拡張子が「.jpg」「.gif」のファイルです。
- 「Eメールにデータを添付する」（▶P.35）の操作でデータを添付した場合は、添付データと画像／デコレーション絵文字を合計して2MBまで添付できます。
- 装飾した文字を削除しても、装飾情報のみが残り、入力可能文字数が少なくなる場合があります。
- 手順4で［ MENU ］▶［装飾全解除］▶［解除］と操作すると、装飾を解除できます。
- 異なる機種の携帯電話やパソコンなどの間で送受信したデコレーションメールは、受信側で一部正しく表示されないことがあります。
- デコレーションメール非対応機種やパソコンなどに送信すると、通常のEメールとして受信・表示される場合があります。
- 会話モードでは、本文を装飾できません。

Eメールを受信する

1 Eメールを受信

Eメールの受信が完了すると、以下の方法で新着メールをお知らせします。いずれの通知もEメール設定の「通知に関する設定をする」（▶P.41）または「個別の通知に関する設定をする」（▶P.41）で無効にすることができます。

- 端末がスリープ状態でEメールを受信すると画面が点灯します。
- ロック画面上に通知ポップアップを表示することができます。
  ※ お買い上げ時は無効に設定されています。
- ステータスバーに が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
  ステータスバーにメールアドレス、名前、件名が表示されます。受信したEメールに差出人名称が設定されている場合は、設定されている名前が表示されます。メールアドレスが連絡先に登録されている場合は、連絡先に登録されている名前が優先して表示されます。



《通知ポップアップ》

2 ホーム画面 ▶ [ ]

Eメールのフォルダモード画面が表示されます。

- 新着Eメールがあるフォルダには（赤色）と件数、未読Eメールがあるフォルダには（青色）と件数が表示されます。

3 [受信ボックス] ／フォルダをタップ

受信メール一覧画面が表示されます。

4 Eメールをタップ

Eメール詳細表示画面が表示されます。

memo

- Eメールやその他の機能を操作中でもバックグラウンドでEメールを受信します。ステータスバーに が表示され、Eメール受信音が鳴ります。
- 受信状態および受信データにより、正しく受信されなかった場合でもデータ通信料がかかることがあります。
- 受信できる本文の最大データ量は、1件につき約1MBまでです。それを超える場合は、本文の最後に、以降の内容を受信できなかった旨のメッセージが表示されます。
- 受信したEメールの内容によっては、正しく表示されない場合があります。

添付データを受信・再生する

1 Eメール詳細表示画面 ▶ 添付データをタップ

2 [表示]

未受信の添付データは、添付データのファイル名をタップすると受信が開始されます。

受信完了後、もう一度添付データをタップ ▶ [表示] と操作してください。

memo

- 通常のEメール（テキストメール）では、添付データがインライン再生される場合があります。再生されるデータの種類は、拡張子が「.png」「.jpg」「.gif」「.bmp」のファイルです。
  ※ データによっては、インライン再生されない場合があります。

添付画像を保存する

Eメールに添付された画像を本体ストレージやmicroSDメモリカードに保存できます。

1 Eメール詳細表示画面 ▶ 添付データをタップ

2 [ストレージへ保存]

3 [保存]

選択した画像が本体ストレージ、またはmicroSDメモリカードが取り付けられている場合はmicroSDメモリカードに保存されます。

memo

- 添付画像を保存する保存先選択画面で「Up」をタップすると、1つ上の階層のフォルダを選択できます。
- 未受信の添付画像は保存できません。サーバから画像を受信してから操作してください（▶P.37）。

差出人／宛先／件名／電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 Eメール詳細表示画面／会話モードのスレッド内容表示を表示

■差出人／宛先／本文中のメールアドレスを利用する場合

2 差出人／宛先／本文中のメールアドレスをタップ

3 以下の項目をタップ

Eメール作成	選択したメールアドレス宛のEメールを作成します。
アドレス帳登録	選択したメールアドレスを連絡先に登録します。
アドレスコピー	選択したメールアドレスをコピーします。
振分け条件に追加	選択したメールアドレスをフォルダの振分け条件に登録します。 [新規振分けフォルダ作成] ／ [「×××」（×××はフォルダ名）に追加] ▶ [保存] • ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。 • 「保存」をタップした後、すぐに再振分けを行う場合は「再振分けする」をタップします。 ▶P.38「フォルダを作成／編集する」
拒否リスト登録	選択したメールアドレスを迷惑メールフィルターの指定拒否リストに登録します。 ▶P.43「迷惑メールフィルターを設定する」
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。

※ 機能や条件により選択できる項目は異なります。

■件名をコピーする場合

2 Eメール詳細表示画面で件名をタップ ▶ [コピー]

■本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ

3 以下の項目をタップ

音声発信	あらかじめ通話アプリなどをインストールしておく必要があります。
特番付加184	
特番付加186	
au国際電話サービス	
SMS作成	選択した電話番号を宛先としたSMSを作成します。 ▶P.44「SMSを利用する」
アドレス帳登録	選択した電話番号を連絡先に登録します。
電話番号コピー	選択した電話番号をコピーします。

■本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ

3 以下の項目をタップ

開く	選択したURLのページを表示します。
URLをコピー	選択したURLをコピーします。

memo

- 本文中のメールアドレス、電話番号、URLは、表記のしかたによって正しく認識されない場合があります。

新着メールを問い合わせて受信する

Eメールの受信に失敗した場合は、新着メールを問い合わせて受信することができます。

1 ホーム画面 ▶ [ ]

2 [ ]

新着のEメールがあるかどうかを確認します。

memo

- 会話モードでは、スレッド内容表示で、メール作成バーより上の部分を上方へスクロールさせ、指を離しても新着メールを問い合わせて受信することができます。

Eメールを検索する

1 ホーム画面 ▶ [ ]

2 [ ] ▶ [全検索] ／ [フォルダ内検索]

3 キーワードを入力

半角と全角を区別して入力してください。

4 [ ]

検索結果一覧画面が表示されます。

日時が新しいEメールから順に表示されます。

フォルダモード画面から検索する場合、ロックされたフォルダ内のEメールは検索対象から外されます。

memo

- をタップすると、キーワード検索以外にも検索条件のアイコンをタップしたり、日付を指定して検索することができます。検索条件は複数選択できます。

Eメールをフォルダモードで確認する

受信したEメールは、受信ボックスに保存されます。送信済みのEメールは送信ボックスに保存されます。受信したEメールや送信したEメールが振分け条件に一致した場合は、設定したフォルダに保存されます。

送信せずに保存したEメール、送信に失敗したEメールは未送信ボックスに保存されます。

1 ホーム画面 ▶ [ ]

フォルダモード画面が表示されます。

- 受信ボックスに新着メールがある場合は赤丸と件数が表示され、新着メールを確認すると青丸に変わります。
- 未送信ボックスにEメールがある場合は、青丸と件数が表示されます（送信に失敗したEメールがある場合は、赤丸に変わります）。

■受信メールを確認する場合

2 [受信ボックス] ／フォルダを選択

受信メール一覧画面が表示されます。

3 Eメールをタップ

受信メール詳細表示画面が表示されます。

：返信のEメールを作成
：転送のEメールを作成
／ ：Eメールを保護／保護解除
／ ：Eメールにフラグを付ける／解除

■送信メールを確認する場合

2 [送信ボックス] ／フォルダを選択

送信メール一覧画面が表示されます。

フォルダを選択した場合は「送信」をタップします。

3 Eメールをタップ

送信メール詳細表示画面が表示されます。

：同じEメールをもう一度送信
：コピーして編集
／ ：Eメールを保護／保護解除
／ ：Eメールにフラグを付ける／解除

■未送信ボックスのEメールを確認する場合

2 [未送信ボックス]

未送信メール一覧画面が表示されます。

- 送信に失敗したEメールをタップ▶[ ]▶[送信失敗理由]と操作すると、送信に失敗した理由を確認できます。
- 日時指定した送信予約メールをタップ▶[ ]▶[送信予約情報]と操作すると、送信日時を確認できます。送信日時を編集すると、いったん送信予約は解除されます。
- 送信予約メールをタップ▶[ ]▶[送信予約解除]▶[解除]と操作すると、送信予約が解除されます。

3 Eメールをタップ

未送信メールをタップした場合、未送信メール詳細表示画面が表示されます。送信予約メールをタップした場合、送信予約メール詳細表示画面が表示されます。

: Eメールを送信
: Eメールを編集
／ : Eメールを保護／保護解除
／ : Eメールにフラグを付ける／解除

memo

- 宛先が不明で相手に届かなかったEメールは、送信ボックスに保存されます。
- 受信ボックスの容量を超えると、最も古い既読メールが自動的に削除されます。ただし、未読のEメール、保護されたEメールは削除されません。
- 受信ボックスのすべてのメールが未読の状態で受信ボックスの容量を超えると、新着メールを受信できません。
- 送信ボックス・未送信ボックスの容量を超えると、最も古い送信済みメールが自動的に削除されます。削除できる送信済みメールがない場合は、送信失敗メール、未送信メールの順に削除されます。ただし、保護されたメール、送信予約メールは削除されません。

フォルダモード画面でできること

1 フォルダモード画面▶[ ]

2 以下の項目をタップ

全検索	▶P.37「Eメールを検索する」
フォルダ内検索	▶P.37「Eメールを検索する」
フォルダ編集	▶P.38「フォルダを作成／編集する」
フォルダ削除	選択したフォルダとフォルダ内のメールをすべて削除します。 削除するフォルダにチェックを付ける▶[削除]▶[削除] ・ロックされたフォルダは選択できません。 ・フォルダ内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、フォルダは削除されません。
再振分け	現在設定されているフォルダの振分け条件で、Eメールの再振分けを行います。 ・ロックされたフォルダがある場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
Eメール設定	▶P.40「Eメールを設定する」
ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。

■アクションバーを利用する

1 フォルダモード画面で以下の項目をタップ

(切替)	▶P.32「Eメールの表示モードを切り替える」
(新規作成)	▶P.34「Eメールを送信する」
(新着問合わせ)	▶P.37「新着メールを問い合わせて受信する」
(フラグ設定Eメール一覧表示)	一覧画面内のすべてのEメールとフラグ設定Eメール一覧を切り替えて表示します。

Eメール詳細表示画面でできること

1 受信メール詳細表示画面／送信メール詳細表示画面／未送信メール詳細表示画面▶[ ]

2 以下の項目をタップ

転送	転送するEメールを作成します。 ・送信メール作成画面が表示されます。 ・件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 ・元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
移動	Eメールを移動します。 **移動先のフォルダを選択** ・あらかじめフォルダを作成してください（▶P.38）。
削除	Eメールを削除します。
本文選択	Eメールの本文を選択してコピーします。 **表示される本文選択画面でコピーする文字列の開始位置をタップする、または[ ]／[ ]でカーソルを移動▶[選択開始]▶[ ]／[ ]で選択範囲を指定▶[コピー]** ・Eメール詳細表示画面で本文をロングタッチしても本文選択画面を表示できます。 ・本文選択画面をロングタッチ▶[ ]／[ ]をドラッグして選択範囲を指定▶[コピー]と操作することもできます。 ・「全選択」をタップすると、本文全体を選択できます。 ・絵文字やインライン画像もコピーできます。 ・一部の装飾（文字位置／効果、背景色）はコピーされません。
迷惑メール報告	表示しているメールを迷惑メールとして報告します。
画像保存	添付画像およびインライン画像を保存します。
文字コード	本文を表示する文字コードを一時的に切り替えます。 「ISO-2022-JP」「Shift_JIS」「UTF-8」「EUC-JP」「ASCII」 ・変更した文字コードは、表示中のEメール詳細表示画面でのみ一時的に適用されます。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。
送信失敗理由	送信に失敗したEメールの送信失敗理由を表示します。
送信予約情報	送信予約日時を確認します。
送信予約解除	送信予約を解除します。

※画面により項目の表示順や選択できる項目は異なります。

フォルダを作成／編集する

フォルダを作成して、フォルダごとにEメールの振分け条件や着信通知を設定したり、フォルダにロックをかけたりすることができます。

1 フォルダモード画面▶[フォルダ作成]
フォルダ編集画面が表示されます。

2 フォルダ名称欄をタップ▶フォルダ名を入力
フォルダ名は、全角8／半角16文字まで入力できます。

■フォルダアイコンを変更する場合

3 [ ]

4 アイコンを選択▶カラーを選択▶[OK]

5 各項目を設定▶[保存]

■フォルダ画像を設定する場合

3 [ ]▶[ギャラリーから写真を選択]

4 画像を選択▶切り抜き範囲を指定▶[切り抜き]▶[OK]

5 各項目を設定▶[保存]

memo

- 最大20個のフォルダを作成できます。

■フォルダに振分け条件を設定する

作成したフォルダに「メールアドレス」「ドメイン」「件名」「アドレス帳登録外」「不正なメールアドレス」の振分け条件を設定できます。設定した振分け条件に該当するEメールを受信／送信すると、自動的に設定フォルダにEメールが振り分けられます。

1 フォルダモード画面▶[ ]▶[フォルダ編集]▶フォルダをタップ
ロックされたフォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

■振分け条件を追加する場合

2 [振分け条件追加] ▶ [▾]

3 以下の項目をタップ

メールアドレス	Eメールアドレスを振分け条件に登録します。 **Eメールアドレスを入力 ▶ [OK] ▶ [保存]** • をタップすると、「アドレス帳引用」「アドレス帳グループ引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※」から入力方法を選択して、Eメールアドレスを登録できます。
ドメイン	ドメインを振分け条件に登録します。 **ドメインを入力 ▶ [OK] ▶ [保存]** • をタップすると、「アドレス帳引用」「メール受信履歴引用」「メール送信履歴引用」「プロフィール引用」「貼り付け※」から入力方法を選択して、ドメインを登録できます。
件名	件名を振分け条件に登録します。 **件名を入力 ▶ [OK] ▶ [保存]** • 件名の一部が一致する場合も振り分けられます。

※ クリップボードに文字が記憶されている場合に表示されます。

■アドレス帳登録外／不正なメールアドレスを振分け条件に設定する場合

2 「アドレス帳登録外」／「不正なメールアドレス」にチェックを付ける ▶ [保存]

memo

- 振分け条件を設定／編集して「保存」をタップすると、フォルダの再振分けを行うかどうかの確認画面が表示されます。すぐに再振分けを行う場合は、「再振分けする」をタップします。
- 全フォルダで「メールアドレス」「ドメイン」「件名」を合わせて最大400件登録できます。
- 同一の振分け条件を複数のフォルダに設定することはできません。
- 「振分け条件設定」の一覧で、追加した条件の右横にある をタップして、条件を編集したり削除したりすることができます。
- 振り分けの対象となるEメールアドレスは、受信メールの場合は差出人、送信メールの場合は宛先です。
- 一致する振分け条件が複数あるEメールの場合は、メールアドレス＞ドメイン＞件名＞その他の優先順位で振り分けられます。送信メールのメールアドレスは、To＞Cc＞Bccの優先順位で振り分けられ、先頭のメールアドレス／ドメイン＞2番目のメールアドレス／ドメイン＞・・・＞最後のメールアドレス／ドメインの優先順位で振り分けられます。

■フォルダごとに着信通知を設定する

受信ボックスや作成したフォルダごとにEメール受信時の着信音やバイブレーションなどを設定できます。

1 フォルダモード画面 ▶ [⋮] ▶ [フォルダ編集] ▶ 受信ボックス／フォルダをタップ

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。

2 [フォルダ別設定]

3 以下の項目をタップ

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	端末本体にプリセットされている着信音、通知音を設定します。
	通知音	
	ストレージから探す	本体ストレージやmicroSDメモリカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション		受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときのバイブレーションを設定します。 **[OFF] ／ パターンを選択 ▶ [OK]**
着信音鳴動時間		受信ボックス／選択したフォルダに振り分けられるEメールを受信したときの着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 • 「時間設定」を選択した場合は、1～60秒の範囲で指定します。
通知ポップアップ		Eメール受信時、ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.36「Eメールを受信する」
メール受信時の画面点灯		Eメールを受信したときにスリープ解除し画面を点灯するかを設定します。 ▶P.36「Eメールを受信する」

4 [OK] ▶ [保存]

■フォルダにロックをかける

受信ボックスや作成したフォルダにロックをかけて、フォルダロック解除パスワードを入力しないとフォルダを開いたり編集や削除ができないように設定できます。

あらかじめ「Eメール設定」の「プライバシー設定」（▶P.40）でフォルダロック解除パスワードを設定してください。

1 フォルダモード画面 ▶ [⋮] ▶ [フォルダ編集] ▶ 受信ボックス／フォルダをタップ

フォルダ編集画面が表示されます。

2 [フォルダロック] ▶ フォルダロック解除パスワードを入力 ▶ [OK]

「フォルダロック」にチェックが付きます。フォルダ編集画面で「フォルダロック」のチェックを外すと、フォルダロック設定が解除されます。

3 [保存]

Eメールを会話モードで確認する

受信したEメールは、相手先ごとにEメールをスレッドにまとめて表示できます。新着のEメールが既存のEメールへの返信Eメールであれば、それらは同じスレッドにまとめられます。

1 ホーム画面 ▶ [ ] ▶ [ ]

会話モード画面が表示されます。

• 新着Eメールがあるスレッドには（赤色）、未読Eメールがあるスレッドには（青色）が表示されます。

2 スレッド一覧 ▶ 確認するスレッドをタップ

スレッド内容表示が表示され、Eメールが確認できます。

会話モード画面でできること

1 会話モード画面 ▶ [⋮]

2 以下の項目をタップ

全検索	▶P.37「Eメールを検索する」
件名を表示／件名を非表示	件名の表示／非表示を設定します。
Eメール設定	▶P.40「Eメールを設定する」
ヘルプ	「サービス概要」や「更新情報」を確認できます。

■アクションバーを利用する

1 会話モード画面を表示

2 以下の項目をタップ

（切替）	▶P.32「Eメールの表示モードを切り替える」
（新規作成）	▶P.34「Eメールを送信する」
（新着問合わせ）	▶P.37「新着メールを問い合わせて受信する」

■スレッドを削除する

1 スレッド一覧 ▶ 削除するスレッドにチェックを付ける

アクションバーに［ ］が表示されます。

2 [ ] ▶ [削除]

スレッド内のEメールはすべて削除されます。

スレッド内に保護されたEメールがある場合は、保護されたEメールの削除を確認する画面が表示されます。「削除しない」をタップすると、保護されたEメールが残り、スレッドは削除されません。

Eメールを個別に操作する

1 スレッド内容表示 ▶ 操作するEメールをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

詳細表示	Eメール詳細表示画面を表示します。
転送	転送するEメールを作成します。 • 送信メール作成画面が表示されます。 • 件名には、元のEメールの件名に「Fw:」を付けた件名が入力されます。 • 元のEメールにファイルが添付されている場合は、転送メールにも添付されます。
保護／保護解除	Eメールを保護します。 • 保護されているEメールでは「保護解除」をタップして保護を解除します。 • 受信メールは、「受信ボックス」容量の50%または1750件まで保護できます。 • 送信／未送信メールは、「送信ボックス」容量の50%または750件まで保護できます。
フラグ／フラグ解除	Eメールにフラグを付けます。 • フラグ付きのEメールでは「フラグ解除」をタップしてフラグを外します。
削除	Eメールを削除します。
コピー	テキストをコピーします。
画像保存	添付画像およびインライン画像を保存します。
迷惑メール報告	表示しているEメールを迷惑メールとして報告します。
文字コード	文字コードを変更します。
共有	データをBluetooth®やメール添付などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※ Eメールにより選択できる項目は異なります。

Eメールを設定する

1 ホーム画面 ▶ [ ]

2 [MENU] ▶ [Eメール設定]
Eメール設定画面が表示されます。

3 以下の項目をタップ

表示設定		▶P.41「表示に関する設定をする」
送信・作成設定		▶P.41「送信・作成に関する設定をする」
通知設定	基本通知設定	▶P.41「通知に関する設定をする」
	個別通知設定	▶P.41「個別の通知に関する設定をする」
プライバシー設定	パスワード設定／パスワード変更	フォルダロック、シークレット機能のパスワードを設定／変更します。 **フォルダロック解除パスワード（4～16文字の英数字）を入力 ▶ [OK] ▶ 同じパスワードを再度入力 ▶ [OK] ▶ ひみつの質問にチェックを付ける ▶ [OK] ▶ ひみつの質問の回答を入力 ▶ [OK]** • パスワードを設定すると「パスワード変更」が表示されます。 • フォルダロックを解除時に、パスワードの入力を連続3回間違えるとひみつの質問画面が表示されます。[表示する] ▶ 回答を入力 ▶ [OK] と操作すると、新しいパスワードを設定できます。
	パスワードリセット	パスワードをリセットします。 **フォルダロック解除パスワードを入力 ▶ [OK] ▶ [リセット]** • パスワード未設定の場合は選択できません。 • パスワードをリセットすると、フォルダロック、シークレット機能も解除されます。
	シークレット	シークレット機能の有効、無効を設定します。 **パスワードを入力 ▶ [OK]** • 表示されるシークレット機能の説明をよくお読みになりご利用ください。 • パスワード未設定の場合は設定できません。 • シークレット機能を有効／無効にする場合やシークレット機能を一時解除する場合に誤ったパスワードを入力しても、ポップアップなどは表示されません。
設定更新		Eメールアドレスの再初期設定を行います。
バックアップ・復元		▶P.42「バックアップしたEメールを復元する」
改善情報取得・auアプリサイドメニュー連携設定	改善情報送信設定	Eメールアプリ やEメールサービスの品質の維持・向上のために、Eメール送受信時の品質／電波状況、絵文字などのコンテンツ利用状況の取得・収集に関する設定を行います。 **[改善情報送信設定] ▶ [設定する] ／ [設定しない] ▶ [完了]**
	auアプリサイドメニュー連携設定	サイドメニューから、KDDI提供のauサービス・アプリへのアクセス数集計に必要な情報の取得・収集に関する設定を行います。 また、当設定を実施することで、サイドメニュー内のお知らせ表示の状態を、KDDI提供のauアプリ間で連携することができます。 **[auアプリサイドメニュー連携設定] ▶ [設定する] ／ [設定しない] ▶ [完了]**
プライバシーポリシー		プライバシーポリシー（個人情報保護方針）について表示します。
Eメール情報		自分のEメールアドレスやEメール保存件数／使用容量、ソフトウェアバージョンを表示します。 • Eメールアドレス欄をタップ ▶ [アドレスコピー] と操作して、Eメールアドレスをコピーできます。

表示に関する設定をする

1 Eメール設定画面 ▶［表示設定］

2 以下の項目をタップ

アドレス帳登録名表示		連絡先に登録された名前を表示するかどうかを設定します。
プロフィールアイコンを表示		プロフィールアイコンを表示するかどうかを設定します。
プロフィールアイコン色のリセット		プロフィールアイコンの背景色をリセットします。
マガジンビュー		マガジンビューを使用するかどうかを設定します。
外部画像表示アドレス		外部のWebサイトに表示された画像を常に表示するアドレスの確認、削除をします。
テーマ設定		Eメールアプリの画面デザインを設定します。
背景画像設定	背景画像（縦画面）	背景画像を設定します。 **［設定する］▶ 画像を選択 ▶［切り抜き］**
	背景画像（横画面）	

送信・作成に関する設定をする

1 Eメール設定画面 ▶［送信・作成設定］

2 以下の項目をタップ

返信先アドレス	Eメールを受信した相手の方が返信する場合に、宛先に設定されるアドレスを設定します。 **［設定する］▶ 返信先のメールアドレス（半角64文字まで）を入力 ▶［OK］**
差出人名称	送信先で表示される名前を設定します。 **［設定する］▶ 差出人名称を入力 ▶［OK］**
冒頭文	本文の冒頭に挿入する文を設定します。 **［設定する］▶ 冒頭文（全角833／半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力 ▶［完了］▶［設定］** ・冒頭文には、最大10種類の画像／デコレーション絵文字を挿入できます。 ・冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 ・会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示で本文入力欄をタップ ▶［ ］▶［挿入］▶［冒頭文］と操作して挿入してください。
署名	本文の末尾に挿入する文を設定します。 **［設定する］▶ 署名（全角833／半角2,500文字相当まで。装飾する場合は約2.5KBまで）を入力 ▶［完了］▶［設定］** ・署名には、最大10種類の画像 ／ デコレーション絵文字を挿入できます。 ・冒頭文／署名を挿入しただけで、画像／デコレーション絵文字の制限（最大20種類、または合計100KB以下）に達した場合は、本文入力時に画像／デコレーション絵文字を挿入できません。 ・冒頭文と署名に同じ画像を挿入した場合でも、冒頭文と署名が本文に挿入されると、画像は異なるファイルとして扱われます。 ・会話モードでご利用の場合、自動的に挿入されませんので、スレッド内容表示で本文入力欄をタップ ▶［ ］▶［挿入］▶［署名］と操作して挿入してください。
返信メール引用	返信時、受信メールの内容を本文に引用するかどうかを設定します。チェックを付けて有効に設定すると、受信メールの行頭に「>」を付けて引用します。受信メールがデコレーションメールの場合は、1行目に空の行を挿入し、2行目の行頭のみに「>」を付けて引用します。 ・会話モードでご利用の場合、チェックを付けて有効に設定していても受信メールの内容は引用されません。
送信時確認表示	誤送信を防ぐために、送信時に確認画面を表示するかどうかを設定します。
自動再送信	送信失敗したメールを自動的に再送信するかどうかを設定します。
宛先候補表示	宛先入力時に入力候補を表示するかどうかを設定します。

通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面 ▶［通知設定］▶［基本通知設定］

2 以下の項目をタップ

着信音	OFF	着信音が鳴りません。
	Eメールプリセット	Eメールアプリにプリセットされている着信音を設定します。
	着信音	端末本体にプリセットされている着信音、通知音をセットします。
	通知音	
	ストレージから探す	本体ストレージやmicroSDメモリカードの音楽を着信音に設定します。
	その他	他のアプリを利用して着信音を設定します。
バイブレーション		Eメール受信時のバイブレーションを設定します。 **［OFF］／パターンを選択 ▶［OK］**
着信音鳴動時間		Eメール着信音の鳴動時間を設定します。 「一曲鳴動」「時間設定」 ・「時間設定」を選択した場合は、1 ～ 60秒の範囲で指定します。
ステータスバー通知		Eメール受信時、ステータスバーの通知について設定します。 「差出人・件名」「差出人」「通知のみ」「OFF」
送信失敗通知		Eメール送信失敗時にバイブレーションでお知らせするかどうかを設定します。
通知ポップアップ		Eメール受信時、ロック画面上に新着Eメールをポップアップ表示するかどうかを設定します。 ▶P.36「Eメールを受信する」
メール受信時の画面点灯		Eメール受信時にスリープ解除し画面を点灯するかを設定します。 ▶P.36「Eメールを受信する」
電源キー押下による着信音鳴動停止		着信音鳴動中に電源キーを押したときに、画面の点灯または消灯を契機に、鳴動を停止するかどうかを設定します。

個別の通知に関する設定をする

1 Eメール設定画面 ▶［通知設定］▶［個別通知設定］

2 ［新規設定］

3 ［アドレス帳引用］／［メール受信履歴引用］／［メール送信履歴引用］▶ 設定するアドレスを選択

「メール受信履歴引用」／「メール送信履歴引用」をタップした場合は、設定するアドレスにチェックを入れる ▶［選択］と操作します。

4 以下の項目をタップ

着信音	「通知に関する設定をする」（▶P.41）の「着信音」を参照
バイブレーション	「通知に関する設定をする」（▶P.41）の「バイブレーション」を参照
着信音鳴動時間	「通知に関する設定をする」（▶P.41）の「着信音鳴動時間」を参照
通知ポップアップ	「通知に関する設定をする」（▶P.41）の「通知ポップアップ」を参照
メール受信時の画面点灯	「通知に関する設定をする」（▶P.41）の「メール受信時の画面点灯」を参照

memo

・シークレット機能を有効にしている場合は、シークレット機能の対象にするかどうかを設定できます。

Eメールアドレスの変更やその他の設定をする

1 [MENU] ▶ [アドレス変更／フィルター設定]

2 以下の項目をタップ

Eメールアドレスの変更へ	EメールアドレスはEメールアドレスの初期設定を行うと自動的に決まりますが、変更できます。 **1.暗証番号入力欄をタップ ▶ 暗証番号を入力 ▶ [送信]** **2.[承諾する]** **3.Eメールアドレス入力欄をタップ ▶ Eメールアドレスの「@」の左側の部分（変更可能部分）を入力 ▶ [送信] ▶ [OK] ▶ [閉じる]** • Eメールアドレスの変更可能部分は、半角英数小文字、「.」「-」「_」を含め、半角30文字まで入力できます。ただし、「.」を連続して使用したり、最初と最後に使用したりすることはできません。また、最初に数字の「0」を使用することもできません。 • 変更直後は、しばらくの間Eメールを受信できないことがありますので、あらかじめご了承ください。 • 入力したEメールアドレスがすでに使用されている場合は、他のEメールアドレスの入力を求めるメッセージが表示されますので、再入力してください。 • Eメールアドレスの変更は1日3回まで可能です。
迷惑メールフィルターの設定／確認へ	**オススメの設定はこちら** ▶P.43「迷惑メールフィルターを設定する」
自動転送先の設定へ	受信したEメールを自動的に転送するEメールアドレスを登録します。 **1.暗証番号入力欄をタップ ▶ 暗証番号を入力 ▶ [送信]** **2.入力欄をタップ ▶ Eメールアドレスを入力 ▶ [送信] ▶ [閉じる]** • 自動転送先のEメールアドレスは2件まで登録できます。 • 自動転送先の変更・登録は、1日3回まで可能です。 ※ 設定をクリアする操作は、回数には含まれません。 • 「エラー！ Eメールアドレスを確認してください。」と表示された場合は、自動転送先のEメールアドレスとして使用できない文字を入力しているか、指定のEメールアドレスが規制されている可能性があります。 • Eメールアドレスを間違って設定すると、転送先の方に迷惑をかける場合がありますのでご注意ください。 • 自動転送メールが送信エラーとなった場合、自動転送先のEメールアドレスを含むエラーメッセージが送信元に返ることがありますのでご注意ください。

memo

• 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。

バックアップしたEメールを復元する

過去にご利用の製品でバックアップしたデータは本製品へ読み込むことができます。

• 「メールデータ復元」や「まるごと復元」に対応していない旨が表示された場合は、最新のアプリにバージョンアップしてからご利用ください。

メールデータを復元する

バックアップしたメールデータ（メール本文・添付ファイル）を復元することができます。

1 Eメール設定画面 ▶ [バックアップ・復元]

2 [メールデータ復元]

3 復元するメール種別を選択 ▶ [OK]

4 復元するバックアップデータにチェックを付ける ▶ [OK]

「全選択」をタップすると、一覧表示しているデータをすべて選択できます。
「Up」をタップして1つ上の階層のフォルダを選択できます。「MyFolder」をタップするとMyFolderを開くことができます。

5 [追加保存] ／ [上書き保存] ▶ [OK]

「上書き保存」を選択した場合は、確認画面で「OK」をタップします。

memo

• バックアップしたメールデータを復元する際に「上書き保存」を選択した場合は、選択したメール種別に応じて、受信ボックス／送信ボックス／未送信ボックスに保存されているすべてのEメールを削除して（保護されているEメールや未読メールも削除されます）、バックアップしたメールデータを復元します。
• 復元したEメールから未受信の本文や添付ファイルを取得することはできません。

まるごとバックアップデータを復元する

まるごと復元を実施すると、現在Eメールアプリに保存されているメールデータ（本文・添付ファイル）、Eメール設定、振分け条件をすべて消去し、復元します。

1 Eメール設定画面 ▶ [バックアップ・復元]

2 [まるごと復元]

3 復元するバックアップデータにチェックを付ける ▶ [OK]

■ 復元前にメールデータがない場合

4 [OK]

■ 復元前にメールデータをバックアップする場合

4 [バックアップ] ▶ [OK]

シークレット機能を有効にしてメールデータバックアップを行うと、シークレット対象のメールはバックアップされません。

5 バックアップデータを作成するための文字コードを選択 ▶ [OK]

文字コードについては「ヘルプ」をタップして確認してください。

6 バックアップするフォルダを選択 ▶ [OK]

ロックされた受信ボックス／フォルダを選択した場合は、フォルダロック解除パスワードを入力します。
会話モードではバックアップするメール種別を選択します。

7 [OK] ▶ [OK] ▶ [OK]

■ 復元前にメールデータをバックアップしない場合

4 [まるごと復元] ▶ [OK] ▶ [OK]

memo

• まるごと復元が完了するとEメールアプリが再起動されます。

アカウントの追加

auケータイ／スマートフォンのEメールを本製品で送受信することができます。

1 Eメール初期設定完了後の画面で [設定する] を選択、または [MENU] ▶ [アカウントを追加] ▶ [設定する]

2 au IDログインページが表示される場合はアカウントを追加したいauケータイ／スマートフォンのau IDでログイン

3 アカウントを追加したいEメールアドレスであることを確認して [完了]

memo

• auケータイ／スマートフォンのEメール初期設定が完了していないとアカウントを追加することはできません。
• アカウントを追加すると、本製品のEメールの保存先は「端末（ローカル）」から「メールサーバ」に変更となります。
• アカウント追加前に送受信したメールがある場合、該当のメールはすべて「過去メール」ボックスに保存されます。
• 「同期設定」機能を搭載したスマートフォンのEメールアカウントを追加した場合は、スマートフォン側で「同期設定」を必ずしてください。
• 「同期設定」機能を搭載したスマートフォン、その他変更点については、auホームページをご参照ください。

迷惑メールフィルターを設定する

迷惑メールフィルターには、特定のEメールを受信／拒否する機能と、携帯電話・PHSなどになりすましてくるEメールを拒否する機能があります。

1 [MENU] ▶ [アドレス変更／フィルター設定]

■ おすすめの設定にする場合

2 [オススメの設定はこちら] ▶ [OK]

なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。本設定により大幅に迷惑メールを削減できます。

■ 詳細を設定する場合

2 [迷惑メールフィルターの設定／確認へ] ▶ 暗証番号入力欄をタップ ▶ 暗証番号を入力 ▶ [送信]

3 以下の項目をタップ

オススメ設定をする		とにかく迷惑メールでお悩みの方にオススメします。なりすましメール・自動転送メールおよび迷惑メールの疑いのあるメールを拒否します。
個別設定	受信リストに登録／アドレス帳受信設定をする	個別に指定したメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールを優先受信します。 ・受信リストに登録したメールアドレス以外のEメールをすべてブロックする場合は、「個別設定」の「携帯／PHS以外からのメールを拒否する」で「設定する」に設定し、「携帯／PHS等の事業者毎に受信／拒否設定する場合はコチラ」の「事業者毎の設定」ですべての事業者を「受信しない」に設定してください。 ※「必ず受信」にチェックを入れることにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 **アドレス帳受信設定へ：** 「auアドレス帳」、「Friends Note」もしくは「データお預かり」に保存したメールアドレスからのメールを受信することができます。
	拒否リストに登録する	個別に指定したEメールアドレスやドメイン、「@」より前の部分を含むメールの受信を拒否します。
	携帯／PHS以外からのメールを拒否する	PCメールは拒否し、携帯電話とPHSからのメールのみ受信します。また、携帯／PHS事業者ごとにメールを一括で受信／拒否します。
	その他の詳細設定をする	**迷惑メールおまかせ規制：** メールサーバーで受信したメールの中で、迷惑メールの疑いのあるメールを自動検知して規制します。 **なりすまし規制：** 送信元のアドレスを偽って送信してくるメールの受信を拒否します。（高）（低）の2つの設定を選択いただけます。 ※ 以前ご利用の携帯電話で（中）を設定されている場合も（高）（低）のみ選択可能です。 ※「受信リスト設定」の「必ず受信」にチェックを入れて登録することにより、「なりすまし規制」を回避して、メーリングリスト、転送メールを受信することができます。 **HTMLメール規制：** メール本文がHTML形式で記述されているメールを拒否することができます。 **URLリンク規制：** 本文中にURLが含まれるメールを拒否することができます。 **ウィルスメール規制：** 添付ファイルがウイルスに感染している送受信メールをメールサーバーで規制します。 **拒否通知メール返信設定：** 迷惑メールフィルターで拒否されたメールに対して、受信エラー（宛先不明）メールを返信するための設定項目です。 ※ 以前ご利用の携帯電話で「返信しない」に設定している場合にのみ表示され、［返信する］の選択のみ可能です。
全ての設定を一括解除する		迷惑メールフィルターの設定を一括で解除できます。

※「ヘルプ」をタップすると迷惑メールフィルターの各種機能の説明を表示します。
※ 最新の設定機能およびパソコンからの迷惑メールフィルター設定は、auのホームページでご確認ください。

memo

- 暗証番号を同日内に連続3回間違えると、翌日まで設定操作はできません。
- 迷惑メールフィルターの設定により、受信しなかったEメールをもう一度受信することはできませんので、設定には十分ご注意ください。
- 迷惑メールフィルターは、以下の優先順位にて判定されます。
  ウィルスメール規制＞受信リスト設定（「必ず受信」チェック有り）＞なりすまし規制＞拒否リスト設定＞受信リスト設定＞アドレス帳受信設定＞HTMLメール規制＞URLリンク規制＞携帯／PHS以外のメール拒否設定＞迷惑メールおまかせ規制
- 「受信リスト設定（「必ず受信」チェック有り）」は、自動転送されてきたEメールが「なりすまし規制」の設定時に受信できなくなるのを回避する機能です。
  自動転送設定元のメールアドレスを「受信リスト設定（「必ず受信」チェック有り）」に登録することにより、そのメールアドレスがTo（宛先）もしくはCc（同報）に含まれているEメールについて、規制を受けることなく受信できます。
  ※ Bcc（隠し同報）のみに含まれていた場合（一部メルマガ含む）は、本機能の対象外となりますのでご注意ください。
- 「拒否通知メール返信設定」は、迷惑メールフィルター初回設定時に自動的に「返信する」に設定されます。なお、「返信する」に設定している場合でも、「なりすまし規制」および「迷惑メールおまかせ規制」でブロックされたメールには返信されません。
- 「URLリンク規制」を設定すると、メールマガジンや情報提供メールなどの本文中にURLが記載されたEメールの受信や、一部のケータイサイトへの会員登録などができなくなる場合があります。
- 「HTMLメール規制」を設定すると、メールマガジンやパソコンから送られてくるEメールの中にHTML形式で記述されているEメールが含まれる場合、それらのEメールが受信できないことがあります。また、携帯電話・PHSからのデコレーションメールは「HTMLメール規制」を設定している場合でも受信できます。
- 「なりすまし規制」は、送られてきたEメールが間違いなくそのドメインから送られてきたかを判定し、詐称されている可能性がある場合は規制するものです。
  この判定は、送られてきたEメールのヘッダ部分に書かれてあるドメインを管理しているプロバイダ、メール配信会社などが、ドメイン認証（SPFレコード記述）を設定している場合に限られます。ドメイン認証の設定状況につきましては、それぞれのプロバイダ、メール配信会社などにお問い合わせください。
  ※ パソコンなどで受け取ったEメールを転送させている場合、転送メールが正しいドメインから送られてきていないと判断され受信がブロックされてしまうことがあります。そのような場合は自動転送元のアドレスを「受信リスト設定（「必ず受信」チェック有り）」に登録してください。

SMSを利用する

「SMS」アプリはauの端末の電話番号でメッセージのやりとりができるアプリケーションです。
auの端末の電話番号宛だけでなく、国内他事業者や海外の現地携帯端末の電話番号を宛先にしてもメッセージが送れます。

SMSを送信する

漢字・ひらがな・カタカナ・英数字・記号・絵文字・顔文字のメッセージ（メール本文）を送信できます。

1 ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [SMS]
相手先別のスレッド一覧画面が表示されます。

2 [✚]
SMS作成画面が表示されます。
- 同じ相手にSMSを送信するときは、スレッドをタップしてもSMSを作成できます。その場合は、操作4へ進みます。

3 [宛先を入力] ▶ 相手先電話番号を入力
[👤] ▶ 連絡先から相手先を選択することもできます。
- 海外へ送信する場合は、相手先電話番号の前に「010」と「国番号」を入力します。
  「0」「1」「0」＋国番号＋相手先電話番号
  ※ 相手先電話番号が「0」で始まる場合は、「0」を除いて入力してください。
  ※ 連絡先などから相手先電話番号を引用した場合は、もう一度宛先をタップして「010」と「国番号」を入力してください。

4 [メッセージを入力] ▶ 本文を入力
本文は、全角最大70／半角最大160文字まで入力できます。

5 [送信]
送信したメッセージをロングタッチ ▶ [送達確認結果] と操作すると送信結果を確認できます。

memo

- メッセージ作成中に ◁ をタップすると、スレッド一覧画面に「下書き」が表示され、メールを送信せずに保存できます。
- SMSセンターは、次のとおりSMSをお預かりします。

お預かり（蓄積）可能時間	72時間まで ※ 蓄積されてから72時間経過したSMSは、自動的に消去されます。
お預かり可能件数	300件 ※ 受信されるお客様のご利用状況、また、送信されるお客様の電話機の種類により、SMSセンターでお預かりできない場合があります。

- 蓄積されたSMSが配信されるタイミングは、次のとおりです。

SMS蓄積後すぐに配信	新しいSMSがSMSセンターに蓄積されるたびに、SMSセンターでお預かりしていたSMSがすべて配信されます。
リトライ機能による配信	相手の方が電波の届かない場所にいるときや、電源が入っていないなどの理由で、蓄積後すぐに配信できなかった場合は、最大72時間、相手先へSMSを繰り返し送信するリトライ機能によりSMSを配信します。

※ 国際SMSの場合、配信タイミングが異なることがあります。
- 発信者番号通知をせずにSMSを送信することはできません。
- 絵文字を他社の携帯電話に送信すると、一部他社の絵文字に変換されたり、受信側で正しく表示されないことがあります。また、異なるau電話に送信した場合は、auの旧絵文字に変換されることがあります。
- SMSの送信が成功しても、電波の弱い場所などではまれに送信したメッセージに ❗ が表示される場合があります。
- 国際SMSの詳細につきましては、auホームページをご覧ください。
  https://www.au.com/mobile/service/global/sms/

SMSを受信する

1 SMSを受信
SMSの受信が終了すると、ポップアップ通知され、メール受信音が鳴ります。

2 ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [SMS]
未読のSMSがあるスレッドには ● が表示されます。

3 確認する相手先のスレッドをタップ
受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

memo

- SMSの受信は、無料です。
- 受信したSMSでは、送信してきた相手の方の電話番号を確認できます。
- 受信したメールの内容によっては正しく表示されない場合があります。
- 本体メモリの空き容量が不足した場合、SMSを正しく受信できません。
- データお預かりアプリでバックアップ・復元処理中に、SMSアプリを終了させないでください。正しく受信できない場合があります。

SMSを返信／転送する

1 ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [SMS]

2 返信／転送するスレッドをタップ
受信したSMSを含むスレッド内容表示画面が表示されます。

■ 返信する場合

3 [メッセージを入力] ▶ 本文を入力

4 [送信]

■ 転送する場合

3 転送するメッセージをロングタッチ
オプションメニューが表示されます。

4 [転送]

5 [宛先を入力] ▶ 相手先電話番号を入力
[👤] ▶ 連絡先から相手先を選択することもできます。

6 本文を入力

7 [送信]

電話番号／メールアドレス／URLを利用する

1 スレッド内容表示画面を表示

■ 本文中の電話番号を利用する場合

2 本文中の電話番号をタップ ▶ SMSを作成

■ 本文中のメールアドレスを利用する場合

2 本文中のメールアドレスをタップ

3 アプリケーションを選択 ▶ Eメールを作成

■ 本文中のURLを利用する場合

2 本文中のURLをタップ
選択したURLのページが表示されます。

SMSを保護／保護解除する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 保護／保護解除するメッセージをロングタッチ

3 [保護] ／ [保護解除]
保護したメッセージには 🔒 が表示されます。

SMSの電話番号をアドレス帳に登録する

1 スレッド内容表示画面を表示

2 [⋮] ▶ [アドレス帳への登録]
連絡先の登録画面が表示されます。「連絡先を新規登録」または「連絡先を更新」をタップしてください。
- スレッド一覧画面で登録する相手先の [👤] ▶ [はい] と操作しても連絡先の登録画面が表示されます。

SMSを検索する

1 スレッド一覧画面 ▶ [🔍] ▶ 検索する文字列を入力
半角と全角を区別して入力してください。

2 [🔍]
検索結果一覧画面が表示されます。

SMSを削除する

1 ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [SMS]

■ 1件削除する場合

2 削除するメッセージがあるスレッドをタップ

3 削除するメッセージをロングタッチ

4 [削除] ▶ [削除]

■ スレッドごと削除する場合

2 削除するスレッドをタップ

3 [⋮] ▶ [メッセージの全件削除] ▶ [削除]

■ 複数のスレッドを削除する場合

2 削除するスレッドをロングタッチ

3 続けて削除するスレッドをタップ

4 [削除] ▶ [削除]

■ すべてのスレッドを削除する場合

2 [⋮] ▶ [全てのスレッドを削除] ▶ [削除]

SMSを設定する

1 ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [SMS]

2 [⋮] ▶ [設定]
SMS設定メニューが表示されます。

3 以下の項目をタップ

通知設定	SMS受信時のポップアップ通知を設定します。OFFに設定すると、着信音、バイブレーションもOFFになります。 [差出人・本文] ／ [差出人] ／ [通知のみ] ／ [OFF] ▶ [OK]
着信音	SMS受信時の着信音を設定します。 [OFF] ／ [プリセットから選択] ／ [ダウンロード曲から選択] ▶ 着信音を選択 ▶ [OK]
バイブレーション	SMS受信時のバイブレーションを設定します。 [OFF] ／ パターンを選択 ▶ [OK]
LED	本製品では設定できません。
文字サイズ	本文の文字サイズを設定します。 「特大」／「大」／「中」／「小」／「極小」▶ [OK]
署名	SMSの新規作成時に、本文にあらかじめ署名を挿入するかどうかを設定します。
署名編集	挿入する署名の内容を設定します。 署名（全角20 ／半角45文字まで）を入力 ▶ [設定]
受信フィルター	▶P.45「受信フィルターを設定する」
送達確認	SMSが相手に届いた際、送信したメッセージに ✅ を表示させるかどうかを設定します。
テーマカラー	SMSアプリのテーマカラーを設定します。 「ホワイト」／「ブラック」／「ピンク」／「グリーン」／「ブルー」／「オレンジ」▶ [OK]

memo

- SMS設定画面で [⋮] ▶ [初期値に戻す] ▶ [はい] と操作すると、初期値に戻すことができます。

受信フィルターを設定する

1 SMS設定メニュー ▶ [受信フィルター]

2 以下の項目をタップ

指定番号	指定した番号からのSMSを受信した場合、受信拒否するかどうかを設定します。
指定番号リスト	指定番号リストが表示されます。 入力欄をタップ ▶ 登録する電話番号を入力 ▶ [追加] • 📖 をタップすると、連絡先から、電話番号を登録できます。 • スレッド内容表示画面で [⋮] ▶ [受信フィルター登録] ▶ [追加] と操作しても登録することができます。 • 登録した電話番号を削除するには、[削除] ▶ 削除する番号にチェックを付ける ▶ [削除] ▶ [はい] と操作します。 • 電話番号は、最大150件まで登録できます。
アドレス帳登録外	連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信拒否するかどうかを設定します。チェックを付けて有効に設定すると、連絡先に登録されていない電話番号からのSMSを受信しないようになります。

Gmailを利用する

Gmailとは、Googleが提供するメールサービスです。本製品からGmailの確認・送信などができます。

- Gmailの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」（▶P.20）をご参照ください。
- Gmailの連絡先は、本製品の連絡先と同期することができます。
- 利用方法などの詳細については、Googleのホームページ、または受信トレイ画面▶［ ］▶［ヘルプとフィードバック］でGoogleのヘルプをご参照ください。
- サービスの内容は、予告なく変更される場合があります。

Gmailを起動する

1 ホーム画面▶［Google］▶［Gmail］
Gmailの受信トレイ画面が表示されます。

❶ メニューアイコン
❷ 送受信メールの数
該当メールのスレッドでやりとりされたメールの数が表示されます。
❸ 添付ファイルアイコン
ファイルが添付されているメールに表示されます。
❹ 検索
❺ メール設定バー※
選択しているメールのアーカイブ、削除、未読、移動などができます。
❻ メール一覧
未読メッセージは太字表記されています。
❼ 新規作成
❽ スターアイコン
タップするとスター付きを設定／解除できます。スター付きを設定すると、受信トレイ画面▶［ ］▶［スター付き］で設定したメールのみを表示することができます。
※ 表示しているトレイに応じて、表示されるアイコンが異なる場合があります。

Gmailのアカウントを切り替える

1 受信トレイ画面▶［ ］
2 アカウントを選択

Gmailを更新する

本製品の「Gmail」アプリケーションとサーバのGmailを同期して、新着メールを受信できます。

1 メール一覧を下にスライド

Gmailを送信する

1 受信トレイ画面▶［ ］
2 宛先入力欄を選択▶宛先を入力
Cc、Bccを追加する場合は、［ ］をタップします。
3 件名入力欄を選択▶件名を入力
4 本文入力欄を選択▶本文を入力
ファイルを添付する場合は、［ ］▶ファイルを選択します。
5 ［ ］

送信済みGmailを表示する

1 受信トレイ画面▶［ ］▶［送信済み］

受信したGmailを確認する

Gmailを受信すると、ステータスバーに が表示され、メール受信音が鳴ります。

1 ステータスバーを下にスライド
2 メールの情報を選択
受信メール内容表示画面が表示されます。

スレッドを操作する

1 受信トレイで操作するスレッドをロングタッチ
2 必要な項目を選択
- を選択すると、スレッドをアーカイブ（保管）します。アーカイブされたスレッドは受信トレイに表示されません。
- ［ ］▶［ミュート］と操作すると、スレッドを非表示にします。
- ［ ］▶［迷惑メールを報告］と操作すると、スレッドをスパムとして報告します。

memo
- をタップすると、スレッドごと削除されます。スレッドの中の一部のメールだけを選択して削除することはできません。
- アーカイブまたはミュートにして受信トレイに表示されなくなったスレッドは、［ ］▶［すべてのメール］と操作すると表示できます。アーカイブまたはミュートしたスレッドを受信トレイに戻すには、［すべてのメール］でスレッドをロングタッチ▶［ ］▶［受信トレイに移動］と操作します。
- 本製品ではラベルを作成できません。Gmailのウェブサイトで作成してください。
- 操作したいメールのスレッドをロングタッチ▶続けて他のスレッドをロングタッチすると、複数のスレッドを選択して操作できます。

Gmailを検索する

メールアドレスやタイトルなどを入力し、本製品内やサーバ上のGmailアカウント内のメールを検索できます。

1 受信トレイ画面▶［ ］
2 検索する文字列を入力▶［ ］

Gmailを返信／転送する

■宛先のみに返信する場合

1 受信トレイ画面▶返信するメールをタップ▶［返信］
2 本文入力欄を選択▶本文を入力▶［ ］

■全員に返信／転送する場合

1 受信トレイ画面▶返信／転送するメールをタップ▶［全員に返信］／［転送］
「転送」を選択した場合は、転送先の宛先を入力します。
2 本文入力欄を選択▶本文を入力▶［ ］

新着Gmail通知を設定する

メールを受信したときに、通知アイコンの表示や着信音、バイブレータでお知らせするように設定できます。

1 受信トレイ画面▶［ ］▶［設定］▶設定を変更するアカウントをタップ▶［受信トレイの音とバイブレーション］
2 以下の項目をタップ

メールの同期	サーバーとの同期の設定を行います。
ラベル通知	チェックを付けると「音」「バイブレーション」「新着メールごとに通知する」の設定ができます。
音	メール受信時の音を設定します。
バイブレーション	メール受信時のバイブレータの動作を設定します。
新着メールごとに通知する	新着メッセージの通知を音／バイブレーションで知らせることができます。

署名を設定する

送信時の署名を設定できます。

1 受信トレイ画面▶［ ］▶［設定］▶設定を変更するアカウントをタップ▶［署名］
2 署名を入力▶［OK］

インターネット

インターネットに接続する…… **48**
データ通信を利用する……48
Chromeを利用する …… **48**
ウェブページを表示する……48
ウェブページのリンクを利用する……48
ブックマーク／履歴を利用する……49

インターネットに接続する

データ通信または無線LAN（Wi-Fi®）機能を使用してインターネットに接続できます。

- データ通信（LTE NET、LTE NET for DATA）
- Wi-Fi®（▶P.74「無線LAN（Wi-Fi®）機能」）

memo

- LTE NETまたはLTE NET for DATAに加入していない場合は、データ通信を利用することができません。

データ通信を利用する

本製品は、「LTE NET」や「LTE NET for DATA」のご利用により、手軽にインターネットに接続してデータ通信を行うことができます。本製品にはあらかじめLTE NETでインターネットへ接続する設定が組み込まれており、インターネット接続を必要とするアプリケーションを起動すると自動的に接続されます。
LTE NET for DATAでインターネットへ接続するには、ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［その他］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］から、「LTE NET for DATA」を選択してください。

memo

- LTEフラットなどのデータ通信料定額／割引サービスご加入でインターネット接続時の通信料を定額でご利用いただけます。LTE NET、LTE NET for DATA、データ通信料定額／割引サービスについては、最新のau総合カタログ／ auのホームページをご参照ください。

■ データ通信ご利用上の注意

- 画像を含むホームページの閲覧、動画データなどのダウンロード、通信を行うアプリケーションやGoogleサービスなどのアプリケーションを使用するなど、データ量の多い通信を行うとデータ通信料が高額となるため、データ通信料定額サービスのご加入をおすすめします。
- ネットワークへの過大な負荷を防止するため、一度に大量のデータ送受信を継続した場合やネットワークの混雑状況などにより、通信速度が自動的に制限されることがあります。

■ ご利用データ通信料のご確認方法について

ご利用データ通信料は、次のURLでご照会いただけます。
https://www.au.com/support/

Chromeを利用する

Google Chromeを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。

ウェブページを表示する

1 ホーム画面▶［ ］

ウェブページが表示されます。
初めて起動したときは、利用規約とプライバシーに関する確認やアカウント設定などの画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

1 ホーム
タップするとホームページが表示されます。
お買い上げ時はAndroid向けの「au Webポータル」が設定されています。

2 URL表示欄

3 メニューアイコン

memo

- 非常に大きなウェブページをChromeで表示した場合は、アプリケーションが自動的に終了することがあります。

URL表示欄を利用する

ウェブページの上部に表示されるURL表示欄にキーワードを入力して、ウェブサイトの情報を検索できます。また、URLを直接入力してサイトを表示できます。

1 ウェブページでURL表示欄を選択

2 URL表示欄にキーワード／ URLを入力
入力した文字を含む検索候補などがURL表示欄の下に一覧表示されます。

3 一覧表示から項目を選択／キーボードの［ ］

ウェブページのメニューを利用する

1 ウェブページ▶［ ⋮ ］

新しいタブ	新しいウィンドウを開きます。
新しいシークレット タブ	新しいウィンドウをシークレットモードで開きます。
ブックマーク	ブックマークの一覧を表示します（▶P.49）。
最近使ったタブ	最近使ったタブを表示します。
履歴	履歴の一覧を表示します（▶P.49）。
ダウンロード	ダウンロードしたアイテムを確認できます。
共有...	表示しているサイトのURLや画像をメールやBluetooth®で送信したり、Facebookなどでアップロードしたりできます。
ページ内検索	表示しているページ内でテキストを検索します。
ホーム画面に追加	表示しているウェブページのショートカットをホーム画面に追加します。
PC版サイトを見る	PC版のサイトを表示します。
設定	検索エンジンの変更やパスワードの自動保存の設定、プライバシーの管理などの操作を行います。
ヘルプとフィードバック	ヘルプの表示やフィードバックの送信を行います。

ウェブページのリンクを利用する

1 ウェブページでリンクや画像、メールアドレスなどをロングタッチ
コンテキストメニューが表示され、リンク先を新しいタブで開いたり、リンクのアドレスやテキスト、画像をコピーしたりすることができます。

ブックマーク／履歴を利用する

ブックマークに追加する

表示中のサイトをブックマークに追加します。

1 ウェブページ ▶ [☆]

サイトがブックマークに登録されます。

- ★ をタップするとブックマークの名前などを編集できます。

ブックマーク画面を利用する

1 ウェブページ ▶ [⋮] ▶ [ブックマーク]

ブックマーク画面が表示されます。

- ブックマークをタップするとサイトが表示されます。
- ブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集／削除などの操作をすることができます。

履歴を確認する

閲覧したサイトの履歴を確認できます。

1 ウェブページ ▶ [⋮] ▶ [履歴]

閲覧履歴画面が表示されます。

- 履歴をタップするとサイトが表示されます。
- 履歴をロングタッチするとコンテキストメニューが表示され、サイトを新しいタブで開いたり、リンクのアドレスやテキストをコピーしたりすることができます。

memo

- 履歴を削除するには［閲覧履歴データの消去...］▶ データを消去する期間を選択 ▶ 消去する項目にチェックを付けて［データを消去］と操作します。

ツール・アプリケーション

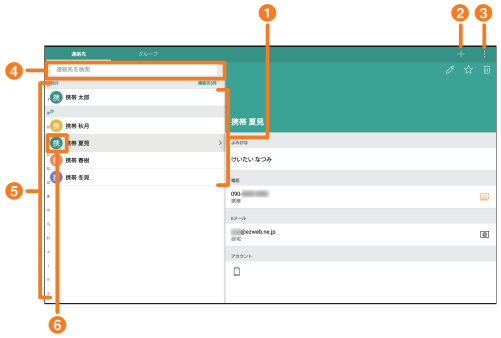
連絡先を利用する…… 52
連絡先を登録する……52
グループを設定する……52
連絡先の登録内容を利用する……53
連絡先のメニューを利用する……54
テレビ…… 54
テレビをご利用になる前に……54
テレビの初期設定をする……55
テレビを見る……55
テレビの設定をする……55
視聴中の番組を録画する……56
録画した番組を再生する……56
番組表を利用する……56
カメラを利用する…… 56
このカメラでできること……56
カメラをご利用になる前に……56
撮影画面の見かた……57
静止画を撮影する……57
動画を録画する……57
設定を利用する……57
動画や静止画を再生する……58
ミュージックプレイヤーを利用する…… 59
ミュージックライブラリ画面を表示する……59
ミュージックライブラリ画面のメニューを利用する……59
曲を再生する……59
音楽再生画面のメニューを利用する……60
プレイリストを利用する……60
Androidアプリ …… 60
Google Playを利用する ……60
無料のアプリケーションをインストールする……60
有料のアプリケーションをインストールする……60
返金を請求する……61
アプリケーションを管理する……61
ダウンロードを利用する…… 61
Facebookを利用する …… 61
auサービスTOPを利用する …… 61
auスマートパスを利用する …… 61
auお客さまサポートアプリを利用する …… 62
auスマートサポートを利用する …… 62
Lookout for auを利用する …… 62
位置検索をご利用いただくにあたって……62
リモートサポートを利用する…… 62
リモートサポートを利用する……62
故障受付を利用する…… 62
安心アクセス for Android™を利用する …… 63
au Wi-Fi接続ツールを利用する …… 63
QR・バーコードリーダーを利用する …… 63
ボイスレコーダーを利用する…… 64
録音する……64
再生する……64
カレンダーを利用する…… 65
カレンダーのメニューを利用する……65
予定を新規登録する……65
カレンダーを設定する……65
予定を確認／編集する……66
アラーム／世界時計／タイマー／ストップウォッチを利用する…… 66
アラームで指定した時刻をお知らせする……66
世界各地の都市の時刻を確認する……66
タイマーで時間を計る……66
ストップウォッチで時間を計る……66
電卓で計算する…… 66
Qメモ+を利用する …… 67
メモを閲覧／編集する……67
Qメモ+のメニューを利用する ……67

連絡先を利用する

- 登録先が本体での操作を基準に説明しています。

連絡先を登録する

1 ホーム画面▶[基本機能]▶[連絡先]
連絡先画面が表示されます。



❶ **連絡先**
登録されている連絡先が表示されます。
❷ **新規登録**
連絡先を新規に登録します。
❸ **オプションメニュー**
❹ **連絡先を検索**
名前や電話番号などを入力して連絡先を検索します。
❺ **インデックス**
スライドして連絡先を検索します。
❻ **画像**
連絡先に登録されている画像（顔）が表示されます。

2 [ ]
連絡先を新規登録する画面が表示されます。

3 項目を選択して編集

連絡先種別		登録先を選択できます。
（顔）	写真を撮影	カメラを起動して撮影した画像を登録します。
	写真を選択	内部ストレージまたはSDカードに保存されている画像を登録します。
名前	姓	名前を登録します。
	名前	
	よみがな（姓）	
	よみがな（名）	
電話		携帯電話などの電話番号を登録します。
Eメール		メールアドレスを登録します。
住所		住所を登録します。 • をタップすると地図から住所を選択できます。
グループ		グループを設定します。
別のフィールドを追加	組織	会社や役職を登録します。
	IM	チャットアドレスを登録します。
	メモ	メモを登録します。
	ニックネーム	ニックネームを登録します。
	ウェブサイト	URLを登録します。
	予定	誕生日や記念日などの予定を登録します。

4 [保存]

memo

- 連絡先に登録された電話番号や名前は、事故や故障によって消失してしまうことがあります。大切な電話番号などは控えておかれることをおすすめします。事故や故障が原因で連絡先が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 連絡先編集画面▶[ ]／[ ]と操作すると、項目を追加／削除できます。
- 登録する電話番号が一般電話の場合は、市外局番から入力してください。
- 複数の電話番号／メールアドレス／住所を登録している場合、連絡先詳細画面にて通常使用する電話番号／メールアドレス／住所をロングタッチ▶[既定の番号として設定]／[既定のメールアドレスに設定]／[既定の住所に設定]と操作して通常使用する電話番号／メールアドレス／住所を設定します。
- 項目によっては種別を変更できる場合があります。項目の右側に表示されているドロップダウンリストをタップして種別を選択してください。種別変更時に「カスタム」を選択すると、入力した文字列を種別として登録できます。
- 名前をアルファベットを含む半角英数字のみで登録すると、連絡先では名、姓の順に表示されます。

グループを設定する

グループの設定や、追加、削除、編集などをすることができます。

- 「アカウントと同期」を利用してGoogleアカウントと同期すると、自動的にグループが作成されます。

1 ホーム画面▶[基本機能]▶[連絡先]▶「グループ」タブ
グループ一覧画面が表示されます。

2 グループを選択▶[ ]

3 以下の項目をタップ

削除※1	グループを削除します。
順番を変更	グループの順番を並べ替えます。
連絡先設定	連絡先の設定をします。
グループを編集	グループ名の編集、メンバーを追加／削除できます。
共有※2	グループに登録されている連絡先を、Bluetooth®、Eメール、Gmailなどを使って共有します。

※1 削除できるグループが無い場合は表示されません。
※2 グループのメンバーが0人の場合は表示されません。

memo

- グループを削除しても、登録されている連絡先は削除されません。

■グループを追加する

1 グループ一覧画面▶[ ]
アカウントの選択、グループ名の入力、メンバーの登録ができます。

2 [保存]

■グループを編集する

1 グループ一覧画面でグループを選択

2 [ ]▶[グループを編集]
グループ名の編集、メンバーを追加／削除ができます。

3 [保存]

■グループを削除する

お買い上げ時に登録されているグループは削除できません。

1 グループ一覧画面でグループをロングタッチ

2 [グループの削除]▶[削除]

連絡先の登録内容を利用する

連絡先の登録内容を利用して、簡単にメールを送信できます。

1 連絡先画面で連絡先を選択

連絡先詳細画面が表示されます。

❶ 画像と名前
連絡先に登録されている画像（顔）と名前が表示されます。

❷ 登録内容
すべての登録内容を確認／利用できます。

❸ 連絡先を編集
連絡先を編集できます。

❹ お気に入りアイコン
お気に入りに登録されているかどうかが表示されます。
お気に入りに登録されている場合は、お気に入りアイコンが ★ で表示されます。タップすると、お気に入りの登録／解除が切り替わります。

❺ 削除
連絡先を削除できます。

❻ アクションアイコン
連絡先にメールを送信するなどの操作ができます。

memo

- アクションアイコンをタップすると次の機能を呼び出すことができます。

アクションアイコン	説明
	選択した電話番号を宛先としてSMSを作成します。
	選択したメールアドレスを宛先としてメールを作成します。
	選択したウェブサイトにアクセスします。
	選択した住所をもとにGoogleマップが起動します。

電話番号を利用する

■ 電話番号をコピー／設定する場合

1 連絡先詳細画面で利用する電話番号をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

連絡先転送	選択した電話番号をSMSで送信します。
既定の番号として設定／既定の電話番号を解除※	選択した電話番号を通常使用する電話番号に設定／解除します。
クリップボードにコピー	選択した電話番号をコピーします。

※ 複数の電話番号を登録している場合に表示されます。

メールアドレスを利用する

■ メールアドレスにメールを送信する場合

1 連絡先詳細画面でメールを送信するメールアドレスの［ ］

送信方法選択画面が表示されるので、送信方法を選択します。

■ メールアドレスをコピー／設定する場合

1 連絡先詳細画面で利用するメールアドレスをロングタッチ

2 以下の項目をタップ

連絡先転送	選択したメールアドレスをSMSで送信します。
既定のメールアドレスに設定／既定のメールアドレスを解除※	選択したメールアドレスを通常使用するメールアドレスに設定／解除します。
クリップボードにコピー	選択したメールアドレスをコピーします。

※ 複数のメールアドレスを登録している場合に表示されます。

住所を利用する

■ 住所から地図を表示する場合

1 連絡先詳細画面で利用する住所の［ ］

住所をもとにGoogleマップが起動します。

■ 住所をコピー／設定する場合

1 連絡先詳細画面で利用する住所をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

既定の住所に設定／既定の住所を解除※	通常使用する住所に設定／解除します。
クリップボードにコピー	住所をコピーします。

※ 複数の住所を登録している場合に表示されます。

ウェブサイトを利用する

1 連絡先詳細画面で利用するウェブサイトの［ ］

- URLをロングタッチすると「クリップボードにコピー」が表示されます。

連絡先のメニューを利用する

連絡先画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 連絡先画面 ▶ [⋮]

2 以下の項目をタップ

削除	選択した連絡先を削除します。
共有	Bluetooth®、Eメール、Gmailなどを使って、連絡先を共有します。
SMSで送信	選択した連絡先の名前と電話番号、メールアドレスをSMSで転送します。
統合	連絡先を選択して統合します。
バックアップ	内部ストレージにバックアップします。
分割※1	統合した連絡先を分割します。
既定の連絡先設定※2	デフォルトで使用する名前、電話番号、メールアドレスを設定します。
ホーム画面に追加	ホーム画面に連絡先のショートカットを作成します。
今すぐ同期	サーバーに保存された連絡先と同期を行います。
連絡先の管理	連絡先をコピー、インポート、バックアップ、統合します。
連絡先設定	連絡先の設定をします。

※1 統合した連絡先を選択したときのみ表示されます。
※2 名前、電話番号、メールアドレスが複数登録されている場合に表示されます。

■コンテキストメニューの場合

1 連絡先画面で連絡先をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

連絡先を削除	選択した連絡先を削除します。
お気に入りから削除※	選択した連絡先をお気に入りから削除します。

※ お気に入りに登録している場合に表示されます。

連絡先を編集する

1 連絡先詳細画面 ▶ [✎]

2 編集したい項目を編集

3 [保存]

連絡先をインポート／バックアップする

連絡先を内部ストレージ／microSDメモリカード／au Nano IC Card 04 LEから、インポート／バックアップできます。

- 連絡先によっては、データの一部がインポート／バックアップされない場合があります。

■インポートする場合

1 連絡先画面 ▶ [⋮] ▶ [連絡先の管理] ▶ [インポート]

2 インポートする取得元と、保存先を選択 ▶ [OK]

3 インポートするファイルにチェックを付ける ▶ [インポート] ▶ [インポート]

■バックアップする場合

1 連絡先画面 ▶ [⋮] ▶ [連絡先の管理] ▶ [バックアップ]

2 [内部ストレージ] ／ [SDカード] ／ [UIMカード] ▶ [OK]

3 バックアップする連絡先にチェックを付ける ▶ [バックアップ] ▶ [バックアップ]

4 ファイル名を入力する ▶ [OK]

- 操作2で「UIMカード」を選択した場合は、本手順は必要ありません。

テレビ

テレビは、放送波の受信状況に応じてフルセグ／ワンセグを切り替えて視聴できます。映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。
フルセグは、地上デジタルテレビ放送サービスをハイビジョン画質で視聴できます。
ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスを視聴できます。
また、モバイル機器の通信機能を使った双方向サービス、通信経由の詳細な情報もご利用いただけます。

「フルセグ」／「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。
一般社団法人　放送サービス高度化推進協会
http://www.apab.or.jp

memo

- テレビは著作権保護のため、以下の機能はサポートしていません。
  - スクリーンショット
  - キャプチャー＋

テレビをご利用になる前に

■テレビ利用時のご注意

- テレビの利用には、データ通信料はかかりません。ただし、通信を利用したデータ放送の付加サービスなどを利用する場合はデータ通信料がかかります。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- テレビは日本国内の地上波デジタルテレビ放送専用です。海外では、放送方式や放送の周波数が異なるため使用できません。また、BS・110度CSデジタル放送を見ることはできません。
- テレビ画面表示中は、本製品が温かくなり、長時間肌に触れたまま使用していると低温やけどの原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中はテレビを視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気をとられ、交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて視聴すると、聴力に悪い影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、イヤホンなどからの音漏れにご注意ください。
- 電池残量が少なくなった場合は、テレビを起動できません。
- テレビ起動中に電池残量が少なくなると、自動的にテレビが終了します。
- 録画した番組が蓄積した場合など、本体の内部ストレージ残量が不足するとテレビを起動できないことがあります。ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [設定] ▶ [ストレージとUSB] と操作し、不要なデータを削除してください。

■電波について

次のような場所では、電波の受信状態が悪く、画質や音質が劣化したり受信できない場合があります。

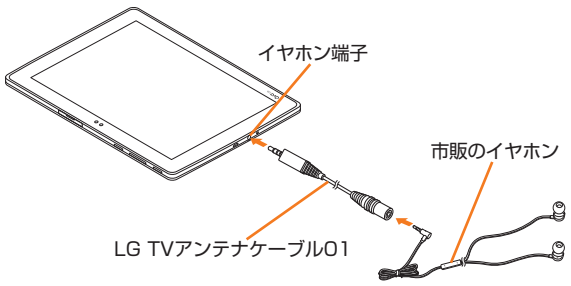
- 放送局から遠い地域または極端に近い地域
- 移動中の電車・車、地下街、トンネルの中、室内など
- 山間部やビルの陰
- 高圧線、ネオン、無線局、線路、高速道路の近くなど
- その他、妨害電波が多かったり、電波が遮断されたりする場所

電波の受信状態を改善するためには、次のことをお試しください。

- 室内で視聴する場合は、窓のそばの方がより受信状態が改善されます。

■TVアンテナについて

テレビを視聴するときは、必ず付属のLG TVアンテナケーブル01を本製品に接続してください。
テレビの音声をスピーカーから聴くときは、LG TVアンテナケーブル01のみを接続してください。市販のイヤホンから聴くときは、LG TVアンテナケーブル01に市販のイヤホンを接続してください。
イヤホンを接続するときは、LG TVアンテナケーブル01のイヤホン端子にプラグをまっすぐ差し込んでください。



テレビの初期設定をする

テレビを初めて起動したときは、視聴するエリアを設定します。設定が完了すると、テレビを見ることができます。

1 ホーム画面 ▶ [TV・ミュージック] ▶ [テレビ]

2 地域（地方）▶ 地域（都道府県）▶ 地域を選択

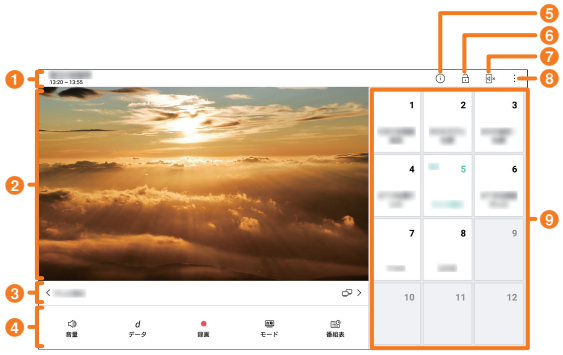
テレビ視聴画面が表示されます。

- チャンネルの検索時に、電波の受信状態が悪い場合は全部または一部のチャンネルが検索できないことがあります。電波の受信状態を良くしてから、再度チャンネルを検索してください。

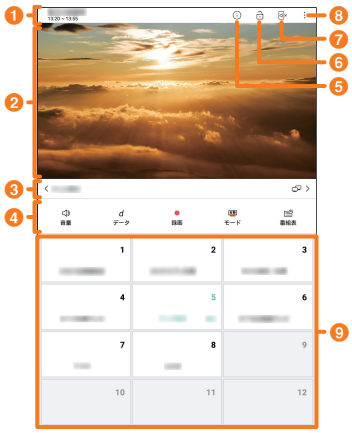
テレビを見る

1 ホーム画面 ▶ [TV・ミュージック] ▶ [テレビ]

テレビ視聴画面が表示されます。



≪視聴画面（横）の例≫



≪視聴画面（縦）の例≫

❶ 番組情報表示エリア

視聴中の番組の放送時間や番組名が表示されます。

❷ テレビ放送エリア

右側で上下にスワイプすると、音量を調節できます。
左側で上下にスワイプすると、画面の明るさを調整できます。
左右にスワイプすると、チャンネルを切り替えられます。
視聴画面（横）の場合：
タップすると、全画面表示に切り替わります。
全画面表示の場合：
タップすると、視聴画面（横）に切り替わります。
視聴画面（縦）の場合：
横表示に変更すると、全画面表示に切り替わります。

❸ チャンネル名表示エリア

- マルチサービス対応のチャンネルを視聴中に をタップするとサービスの切り替えができます。
- 「 く 」／「 > 」をタップすると、チャンネルを切り替えられます。
- 「 く 」／「 > 」をロングタッチすると、受信できるチャンネルを検索します。

❹ 操作アイコン

音量：音量を調節します。
データ：データ放送を表示します。
録画／停止：録画を開始／停止します。

- 録画を開始してから5秒間は録画を停止することができません。

モード：テレビの視聴モードを自動／フルセグ／ワンセグに切り替えます。
番組表／チャンネル：番組表／チャンネル一覧が表示されます。

❺ 番組情報表示

❻ 画面ロックアイコン

テレビ視聴画面を全画面表示でロックします。ロックした後、 をタップするとロックを解除します。

❼ スピーカー／イヤホン切り替え

テレビの音声をスピーカー／イヤホンに切り替えます。

❽ メニューアイコン

❾ チャンネル一覧／番組表

チャンネル一覧：チャンネルをタップすると、チャンネルが切り替わります。マルチサービス対応のチャンネルをロングタッチするとサービスの切り替えができます。
番組表：放送局をタップすると、チャンネルが切り替わります。

memo

- テレビを起動したり、チャンネルを変更したときは、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。

データ放送を見る

テレビ視聴画面で「データ」をタップするとデータ放送画面が表示されます。
データ放送画面に表示される説明などに従って操作して、さまざまな情報を見ることができます。

TVリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（TVリンク）が表示される場合があります。TVリンクを登録しておくと、あとで関連サイトに接続できます。

- TVリンクを登録するには、データ放送エリアに表示されたTVリンクに登録可能な項目をタップしてください。
- TVリンクはワンセグのみ利用できます。

テレビの設定をする

1 テレビ視聴画面 ▶ [⋮]

2 以下の項目をタップ

スキャン		チャンネルを再スキャンします。
Gガイド		Gガイド番組表を開きます。
録画ファイルリスト		録画した番組の一覧を表示します。
予約一覧		予約中番組の一覧を表示します。
テレビリンク		登録済みテレビリンクの一覧を表示します。
視聴エリア切り替え		視聴エリアの追加や切り替えをします。
オートオフ		テレビを自動で終了する時間を設定します。
字幕		字幕の表示／非表示を設定します。
多重音声		音声を切り替えます。
設定	画面サイズ	画面のサイズを設定します。 「ベストフィット」：自動調整して表示します。 「全画面」：全画面表示します。
	スーパーインポーズ	文字スーパーを利用するかどうかを設定します。 文字スーパーは、緊急速報やニュース速報など映像に重ねて表示される情報です。
	CAS情報	フルセグ視聴時に必要な本製品のデバイス情報と受信したチャンネル別デバイス情報を表示します。 「リセット」をタップすると、チャンネル情報を再受信することができます。 フルセグ視聴で以下のメッセージが表示されて、視聴できないときはチャンネルのお客様センターに問い合わせてください。 「この受信機ではご覧になることができません。ご覧のチャンネルのカスタマーセンターへお問い合わせください。」
	放送用メモリ初期化	データ放送で登録した情報やTVリンクを消去します。
	郵便番号	郵便番号を設定します。 • フルセグのデータ放送のときに、天気などの地域情報に反映されます。

※ 番組／設定によっては表示されない項目がある場合があります。

視聴エリアを追加する

1 テレビ視聴画面 ▶ [⋮] ▶ [視聴エリア切り替え]

視聴エリア一覧画面が表示されます。

2 [+]

3 地域（地方）を選択 ▶ 地域（都道府県）▶ 地域

視聴エリアが追加されます。

視聴エリアを切り替える

1 テレビ視聴画面 ▶ [⋮] ▶ [視聴エリア切り替え]

視聴エリア一覧画面が表示されます。

2 地域を選択

視聴エリアが切り替わります。

視聴中の番組を録画する

1 テレビ視聴画面 ▶ [録画]
録画が開始されます。「停止」をタップすると録画を終了します。

memo
- 録画開始から約5秒間は、録画を停止できません。
- 録画した番組は内部ストレージに保存されます。
- 受信状態の安定した場所で録画してください。受信状態が不安定な場合、録画されないことがあります。
- 録画中にデータ通信サービスを行うと、テレビの電波状態が悪くなり、正常に録画できなくなる場合があります。
- 録画しているテレビ番組が有料放送やコピー制御されている場合や、放送エリアが変わった場合は、録画が途中で終了することがあります。

録画した番組を再生する

1 テレビ視聴画面 ▶ [⋮] ▶ [録画ファイルリスト]
- ワンセグの番組には「1 seg」、フルセグの番組には「full seg」が表示されます。

2 再生する番組をタップ
再生画面が表示されます。

■録画ファイルリスト画面の操作
：番組を並び替えます。
：番組を削除します。
：内部ストレージの容量を確認します。

番組表を利用する

auテレビ.Gガイド番組表を利用できます。番組表からテレビ視聴画面の表示や視聴／録画の予約ができます。
- 視聴や予約ができるのは地上デジタルテレビ放送の番組のみです。
- auテレビ.Gガイドのすべての機能を利用するには、au IDが必要になります。au IDの設定方法については、『設定ガイド Android 7.0対応版』をご参照ください。

1 テレビ視聴画面 ▶ [⋮] ▶ [Gガイド]
番組表画面が表示されます。
番組表を初めて起動したときは、登録画面などが表示されます。画面の指示に従って操作してください。

2 番組を選択
番組詳細画面が表示されます。

memo
- ホーム画面 ▶ [TV・ミュージック] ▶ [auテレビ.Gガイド] と操作しても、auテレビ.Gガイド番組表を起動できます。
- 番組表画面 ▶ [✿] と操作すると、番組表の使いかたを確認したり、設定を変更することができます。

カメラを利用する

このカメラでできること

本製品は有効画素数約500万画素のCMOSアウトカメラとCMOSインカメラを搭載し、静止画や動画の撮影ができます。

カメラをご利用になる前に

- 電池残量が少なくなった場合は、カメラを起動できません。
- レンズに指紋や油脂などが付くと、鮮明な静止画／動画を撮影できなくなります。撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いてください。
- 撮影時にはレンズ部に指や髪などがかからないようにご注意ください。
- 動画を録画する場合は、マイクを指などでおおわないようにご注意ください。また、録画時の声の大きさや周囲の環境によって、マイクの音声の品質が悪くなることがあります。
- 不安定な場所に本製品を置いてセルフタイマー撮影を行うと、着信などでバイブレータが振動するなどして本製品が落下するおそれがあります。
- マナーモード（サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」「サイレント」）設定中でもシャッター音や動画撮影の開始音、終了音は鳴ります。
- レンズ部に直射日光が長時間当たると、内部のカラーフィルターが変色して画像が変色することがあります。
- 本製品を暖かい場所に長時間置いた後に画像を撮影や保存をすると、画像が劣化することがあります。
- カメラは非常に精密な部品から構成されており、中には常時明るく見える画素や暗く見える画素もあります。また、非常に暗い場所での撮影では、青い点、赤い点、白い点などが出ますのでご了承ください。
- 手ブレにご注意ください。画像がブレる原因となりますので、本体が動かないようにしっかりと持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影してください。特に室内など光量が十分でない場所では、手ブレが起きやすくなりますのでご注意ください。また、被写体が動いた場合もブレた画像になりやすいのでご注意ください。
- 被写体がディスプレイに確実に表示されていることを確認してから、シャッター操作をしてください。カメラを動かしながらシャッター操作をすると、画像がブレる原因となります。
- 蛍光灯照明の室内で撮影する場合、蛍光灯のフリッカー（人の目では感じられない、ごく微妙なちらつき）を感知してしまい、画面にうすい縞模様が出ることがありますが、故障ではありません。
- 白熱電球下などで撮影すると画面が赤くなる場合があります。
- 本製品のカメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味が異なる場合があります。撮影する被写体や、撮影時の光線の当たり具合によっては、レンズの特性により、部分的に暗く写ったり明るく写ったりすることがあります。また、広角レンズを使用しているため被写体が一部ゆがんで写る場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 動画撮影中に強い光や眩しい被写体を撮影すると、画像に紫の線や帯が発生することがありますが、故障ではありません。
- カメラ撮影時に衝撃を与えると、ピントがずれる場合があります。ピントがずれた場合はもう一度カメラを起動してください。
- 次のような被写体に対しては、ピントが合わないことがあります。
  - 無地の壁などコントラストが少ない被写体
  - 強い逆光のもとにある被写体
  - 光沢のあるものなど明るく反射している被写体
  - ブラインドなど、水平方向に繰り返しパターンのある被写体
  - カメラからの距離が異なる被写体がいくつもあるとき
  - 暗い場所にある被写体
  - 動きが速い被写体
- カメラ起動時など、カメラ動作中に微小な音が聞こえる場合がありますが、機器の内部部品の動作音で、異常ではありません。
- 撮影画面を長時間連続して表示し続けた場合や、動画撮影を繰り返し長時間連続動作させた場合、本体が温かくなり、長時間触れていると低温やけどの原因となることがありますのでご注意ください。また、本体の温度が上昇し、カメラが使用できなくなることがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画像が暗くなったり、画像が乱れたりすることがありますのでご注意ください。動いている被写体を撮影するときや、明るいところから暗いところに移したときに、画面が一瞬白くなったり、暗くなったりすることがあります。また、一瞬乱れることなどもあります。
- 暗い場所での撮影では、ノイズが増え、ざらついた静止画などになる可能性があります。
- プレビュー画面の表示、カメラの切り替え、カメラの設定変更などの直後は、明るさや色合いなどが最適に表示されるまで時間がかかることがあります。
- 電池残量が少ない場合、冬場の屋外での使用など極端に温度が低い場合は、カメラが使用できないことがあります。
- お客様が本製品のカメラ機能を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行った場合、法律や条例／迷惑防止条例などに従って罰せられることがあります。
- 他のアプリケーションを起動中は、カメラを使用できない場合があります。

撮影画面の見かた

撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

- マークが表示されていない場合は をタップすると表示されます。

❶ メニューアイコン
撮影画面を切り替えます。
シンプルモード：シャッターだけのシンプルな操作で撮影できます。
ベーシックモード：基本的な設定をして、撮影や録画ができます。

❷ カメラ切替
インカメラとアウトカメラを切り替えます。
- 撮影画面をスワイプしてもインカメラとアウトカメラを切り替えられます。

❸ 設定（▶P.57）

❹ 共有
画像や動画をFacebookやTwitterなどを利用して共有します。

❺ 直前に撮影したデータ

❻ 録画開始ボタン
動画録画を開始します。動画録画中は が表示され、タップすると録画を停止します。また、 をタップすると録画を一時停止します。

❼ シャッターボタン
静止画を撮影します。

❽ 終了ボタン
カメラを終了します。動画録画中にタップすると録画を停止します。

memo
- 設定一覧を表示中に をタップすると、カメラのヘルプを表示できます。
- カメラは、前回終了時の撮影画面（設定）で起動します。
- インカメラの場合は をタップすると、自分撮り用ライトを使用できます。

静止画を撮影する

1 ホーム画面 ▶ [ ]
撮影画面が表示されます。
- 位置情報記録の確認画面やカメラストレージ画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 [ ]
シャッター音が鳴り、撮影したデータが自動的に保存されます。
- 撮影画面で音量キーを押しても撮影できます。
- 撮影画面にマークが表示されていない（シンプルモード）場合は、撮影画面でピントを合わせたい場所をタップすると、タップした場所にピントを合わせて撮影されます。

memo

オートフォーカスについて
- 本製品は被写体にカメラを向けるとフォーカス枠が表示され、自動的にピントを合わせることができます。広範囲にピントが合っているときなどは、複数のフォーカス枠が表示される場合があります。
- 撮影画面にマークが表示されている場合は、タップした場所でピントを固定することができます（オートフォーカスロック）。

ジェスチャーショットについて
- インカメラに向かって手を握ったり開いたりジェスチャーをすることで静止画を撮影できます。
  - 撮影画面（インカメラ）▶ レンズに手のひらを向ける ▶ 枠が表示されたら手を握ると自動的にセルフタイマー（3秒）が起動します。

連続撮影について
- 撮影画面（インカメラ）で をロングタッチ、音量キーを1秒以上長押し、または画面に手のひらを向けると枠が表示されるので、すばやく手を握ったり開いたりを2回繰り返すジェスチャーをすると一定間隔で4枚撮影されます。

バーストショットについて
- 撮影画面（アウトカメラ）で をロングタッチ、または音量キーを1秒以上長押しすると連写撮影されます。
- 最大30枚まで連写撮影できます。

動画を録画する

1 ホーム画面 ▶ [ ]

2 [ ]
録画が開始されます。

3 [ ]
録画したデータが自動的に保存されます。

memo
- 電池残量が少なくなった場合は、自動的に録画を停止・保存します。
- 本体の温度が上昇した場合は、自動的に録画を停止・保存します。
- 動画録画中に をタップまたは音量キーを押すと、静止画を撮影できます。

設定を利用する

1 撮影画面 ▶ [ ]

2 以下の項目をタップ

（アスペクト比／ビデオサイズ）	（アスペクト比）	4：3	静止画のアスペクト比を選択します。
		8：5	
		16：9	
		1：1	
	（ビデオサイズ）	FHD（1920×1080）	動画のビデオサイズを選択します。
		HD（1280×720）	
（フィルム効果）	使用するフィルム効果を選択します。		
（セルフタイマー）	（無効）		シャッターを押してから撮影されるまでの時間を設定します。
	（3秒）		
	（10秒）		
（ボイスシャッター）	（有効）		「チーズ」「スマイル」「トリマス」と話すことで写真を撮影します。
	（無効）		
（フローティングシャッター）	（無効）		画面上に撮影ボタンと録画ボタンを配置するかどうかを設定します。 • 有効にする場合、画面上に と が表示されます。
	（有効）		
（ガイド）	撮影画面にガイドを表示するかどうかを設定します。		
（ジェスチャーショット／オートショット）	（ジェスチャーショット）		撮影モードを切り替えます。 ジェスチャーショットとは、インカメラに手のひらを向けてから手を握ると3秒後に撮影される機能です。すばやく2回握ると4枚連続で撮影できます。 オートショットは、顔を検出すると自動で撮影できます。
	（オートショット）		
（正像／鏡像）	（正像）		インカメラで撮影した画像を正像／鏡像で保存します。
	（鏡像）		
（保存先）	（microSDメモリカード）		撮影したデータの保存先を設定します。 • microSDメモリカードを本製品に取り付けている場合に表示されます。
	（内部ストレージ）		

※ アウトカメラとインカメラで表示される項目が異なります。

動画や静止画を再生する

ギャラリーでは、microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存した画像や動画の共有や一覧表示、画像の編集などの操作ができます。

1 ホーム画面 ▶［その他アプリ］▶［ギャラリー］

アルバム選択画面が表示されます。
📷 をタップするとカメラが起動します。
☰ をタップすると、表示タイプを切り替えたり、コンテンツやサービスを利用することができます。

2 アルバムを選択

サムネイル表示画面が表示されます。
［←］をタップすると、アルバム選択画面に戻ります。

3 画像／動画を選択

画像を選択した場合は、静止画表示画面が表示されます。
動画を選択した場合は、データの種別に応じたアプリケーションが起動して再生されます。再生するアプリケーションが複数存在する場合は、「アプリケーションを選択」画面が表示されることがあります。アプリケーションを選択 ▶［OK］と操作すると再生されます。

■静止画表示画面／動画表示画面※の操作

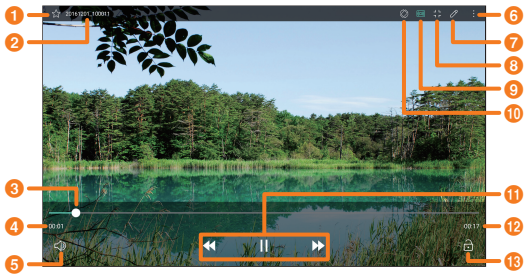
画像／動画をタップすると以下のメニューが表示されます。

☆：お気に入り　✎：編集
📷：カメラ起動　⇧：共有
🗑：削除　⋮：メニューアイコン

※ 動画表示画面は、静止画表示画面からスワイプした場合のみ表示されます。

■動画再生画面の操作

サムネイル表示画面で動画をタップし、「動画」を選択した場合を例に説明します。



❶ **お気に入りアイコン**
❷ **ファイル名**
❸ **シークバー**
ドラッグまたはタップすると、再生中の動画を任意の場所から再生します。
❹ **再生経過時間**
❺ **音量調節ボタン**
タップして表示される調節バーをドラッグまたはタップすると、音量を調節できます。
❻ **メニューアイコン**
❼ **トリミング**
動画をトリミングします。
❽ **Qスライド**
画面内にアプリを小さく表示することでマルチタスクを簡単に行います。透明度の調整もできます。
❾ **マルチチャンネル／ピュアサラウンド**
マルチチャンネル／ピュアサラウンド機能を起動するかどうかを設定します。
❿ **画面回転※**
画面の向きを縦または横に切り替えます。
⓫ **再生パネル**
⏪／⏩で再生中の動画を早戻し／早送りします。
⏸／▶：一時停止／再生します。
⓬ **動画全体の長さ**
⓭ **画面のロック**
表示中のアイコンなどを非表示にします。
※「縦横表示の自動回転」（▶P.81）が無効の場合のみ表示されます。

ギャラリーのメニューを利用する

1 アルバム選択画面／サムネイル表示画面／静止画表示画面／動画再生画面 ▶［ ⋮ ］／［ ⋮ ］

2 以下の項目をタップ

アルバムを削除※1	アルバムを削除します。
アルバムの新規作成※1	アルバムを新規作成します。
お気に入りアルバム※1	アルバムをお気に入りに登録します。
ロックしたファイルの表示※1※2※3	ロックしているファイルを再度表示します。 ・ パスワードやパターンの入力が必要です。
設定※1※4	**アルバム選択画面の場合：** 並び替えやスライドショー、クラウドサービスのアカウントの設定や追加などを行います。 **動画再生画面の場合：** 再生後の動作、画面ロック中の再生、スクリーンショット、再生スピード、本体を裏返して一時停止、アプリの自動終了、画面の明るさの設定などを行います。
ヘルプ※1	ギャラリーのヘルプを表示します。
移動※3※5	画像を移動します。
コピー※3※5	画像をコピーします。
回転※3※5	画像を回転します。
スライドショー※3※5	画像をスライドショーで再生します。
コラージュ作成※3	複数の画像を組み合わせて、1枚の画像にコラージュ編集します。
署名を追加※3※5	署名を追加します。
ロック※3※5	ファイルを非表示（ロック）します。
トリミング※5	画像をトリミングします。
画像を設定※5	画像を壁紙や連絡先の写真に登録します。
位置情報を追加※5	画像に位置情報を追加します。
位置情報を削除※6	画像の位置情報を削除します。
地図に表示※6	Googleマップに位置情報を表示します。
印刷※5	画像を印刷できます。
他のデバイスで再生※4※5	他のデバイスで再生します。
リネーム※5	画像の名前を変更します。
ファイル情報※4※5	ファイル情報を表示します。
画面の縦横比※4	画面の縦横比やサイズを選択します。
字幕※4	字幕の設定や検索をします。
共有※4	動画をBluetooth®やメール本文への挿入などで送信したり、SNSなどにアップロードしたりできます。

※1　アルバム選択画面で表示されます。
※2　ロックしているファイルがある場合に表示されます。
※3　サムネイル表示画面で表示されます。
※4　動画再生画面で表示されます。
※5　静止画表示画面で表示されます。
※6　画像に位置情報を追加した場合のみ表示されます。

memo

・ 画面によっては、項目が「その他」の中にある場合もあります。

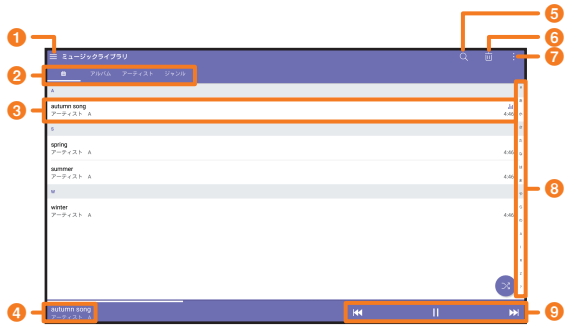
ミュージックプレイヤーを利用する

「音楽」アプリケーションは、microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存されたデジタルオーディオファイルを再生します。
再生可能なファイル形式については、「利用できるデータの種類」（▶P.91）をご参照ください。

memo
- ファイルによっては、対応するファイル形式であっても再生できない場合があります。
- 音楽データによっては、著作権により再生できないものがあります。

ミュージックライブラリ画面を表示する

1 ホーム画面 ▶［TV･ミュージック］▶［音楽］
ミュージックライブラリ画面が表示されます。
- ミュージックライブラリ画面は、「曲」「アルバム」「アーティスト」「ジャンル」の4つのタブがあります。タブをタップすると、タブ名称のカテゴリーごとに曲がまとめられて表示できます。



❶ **表示切替**
画面の表示をミュージックライブラリ、マイリスト、サービスに切り替えます。
- 画面によって表示が異なります。

❷ **タブ**
曲の表示を「曲」、「アルバム」、「アーティスト」、「ジャンル」に切り替えます。

❸ **曲情報（曲名、アーティスト名、再生中、再生時間）**

❹ **再生中の曲（曲名、アーティスト名）**

❺ **検索**
ライブラリ内の曲／アーティストなどを検索します。

❻ **削除**

❼ **メニューアイコン**

❽ **インデックス**

❾ **再生パネル※1**
⏮：タップすると、再生中の曲の先頭から再生を始めます※2。ロングタッチすると、再生中の曲を早戻しします。ダブルタップすると前の曲の先頭から再生を始めます。
⏸／▶：一時停止／再生します。
⏭：タップすると、次の曲に進みます。ロングタッチすると、再生中の曲を早送りします。

※1 音楽再生中のみ表示されます。
※2 再生経過時間が1秒以下の場合は前の曲の先頭から再生を始めます。

ミュージックライブラリ画面のメニューを利用する

■ オプションメニューの場合

1 ミュージックライブラリ画面 ▶［⋮］

2 以下の項目をタップ

再生する音楽の選択			曲を選択して再生します。
プレイリストに追加			曲を選択してプレイリストに追加できます。
共有			Bluetooth®やメール添付などで送信できます。
表示方法※	リスト		リスト表示に切り替えます。
	グリッド		グリッド表示に切り替えます。
設定	サウンド	オーディオエフェクト	イコライザ、ピッチ、再生速度を設定します。 ・曲によっては操作できない場合があります。
	全般	オフタイマー	ミュージックプレイヤーを停止するまでの時間を設定できます。
		ウォッチ端末と同期	プレイリストをAndroid Wearと同期するかどうかを設定します。
	アカウントと同期	アカウントを追加	クラウドのアカウントを追加します。
ヘルプ			ミュージックライブラリのヘルプを表示します。

※「アルバム」タブの場合に表示されます。

■ コンテキストメニューの場合

1 ミュージックライブラリ画面で曲名／アルバム名／アーティスト名／ジャンル名をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

削除	曲を削除します。
詳細情報※1	曲の詳細情報を表示します。
カバーアートの変更※2	カバーアートをギャラリーから選択して変更したり、削除したりします。

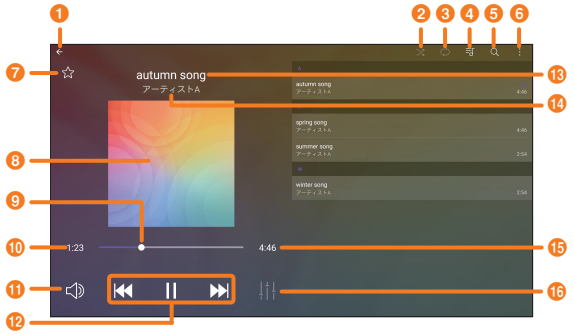
※1 曲名をロングタッチした場合のみ表示されます。
※2 アルバムをロングタッチした場合のみ表示されます。

曲を再生する

microSDメモリカードまたは内部ストレージに保存されたカテゴリー別のコンテンツを表示して再生できます。
- microSDメモリカード内の楽曲の再生中に「メモリの使用量を確認する」（▶P.71）は行わないでください。データが壊れる（消去される）ことがあります。

1 ミュージックライブラリ画面 ▶「曲」「アルバム」「アーティスト」「ジャンル」タブ

2 曲名をタップ
音楽再生画面が表示され、曲が再生されます。



❶ **戻る**
前の画面に戻ります。

❷ **シャッフル**
シャッフルの有効／無効を切り替えます。
アイコンが白色の場合はシャッフルが有効、グレーの場合は無効であることを示します。

❸ **リピート設定**
リピート（全曲）／リピート（1曲）／リピートOFFを切り替えます。

❹ **「再生中」プレイリスト画面を表示する**

❺ **音楽を検索**
キーワードを入力してミュージックライブラリ内の音楽を検索します。

❻ **メニューアイコン**

❼ **お気に入り**
お気に入りに追加／削除します。

❽ **カバーアート**
曲がアルバムに登録されている場合は、そのアルバムに登録されている画像が表示されます。また、左右にスワイプして前後の曲を再生したり、タップして歌詞を表示したり、ロングタッチして曲やアーティスト、アルバムの検索やカバーアートの変更、詳細情報を確認することができます。

❾ **シークバー**
ドラッグまたはタップすると、再生中の曲を任意の場所から再生します。

❿ **再生経過時間**

⓫ **音量調節ボタン**
タップして表示される調節バーをドラッグまたはタップすると、音量を調節できます。

⓬ **再生パネル**
⏮：タップすると、再生中の曲の先頭から再生を始めます※。ロングタッチすると、再生中の曲を早戻しします。ダブルタップすると前の曲の先頭から再生を始めます。
⏸／▶：一時停止／再生します。
⏭：タップすると、次の曲に進みます。ロングタッチすると、再生中の曲を早送りします。

⓭ **曲名**

⓮ **アーティスト名**

⓯ **曲全体の長さ**

⓰ **オーディオエフェクトボタン**

※ 再生経過時間が1秒以下の場合は前の曲の先頭から再生を始めます。

memo
- 再生中は、ステータスバーに▶が表示されます。

音楽再生画面のメニューを利用する

■オプションメニューの場合

1 音楽再生画面 ▶ [⋮]

削除	曲を削除します。
プレイリストに追加	曲をプレイリストに追加できます。
ミュージックビデオ	再生中の曲をYouTubeで検索し、視聴できます。
共有	Bluetooth®やメール添付などで送信できます。
他のデバイスで再生	他のデバイスで再生します。

プレイリストを利用する

再生中に見つけた好みの曲をお気に入りに登録したり、曲を集めてプレイリストを作成したりして、曲を便利に管理することができます。

- プレイリストは複数作成できます。

お気に入りに曲を追加する

1 音楽再生画面 ▶ [☆]

お気に入りを表示／再生する

1 ミュージックライブラリ画面 ▶ [☰]

2 [お気に入り]

3 いずれかの曲をタップ
音楽再生画面が表示され、曲が再生されます。

プレイリストを作成する

1 ミュージックライブラリ画面 ▶ [☰] ▶ [プレイリスト]

2 [⊕]

3 プレイリスト名を入力

4 [OK]

5 追加したい曲にチェックを付ける

6 [追加]

プレイリストに曲を追加する

1 ミュージックライブラリ画面 ▶ [⋮] ▶ [プレイリストに追加]

2 追加したい曲にチェックを付ける

3 [追加]

4 追加したいプレイリストをタップ

プレイリストを表示する／音楽を再生する

1 ミュージックライブラリ画面 ▶ [☰] ▶ [プレイリスト]

2 いずれかのプレイリストをタップ

3 いずれかの曲をタップ
音楽再生画面が表示され、曲が再生されます。

Androidアプリ

Google Playを利用する

Googleが提供するGoogle Playから便利なツールやゲームなどのさまざまなアプリケーションを、ダウンロード・インストールして利用できます。

- Google Playの利用にはGoogleアカウントが必要です。詳しくは、「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20)をご参照ください。
- 利用方法などの詳細については、Google Play画面 ▶ [≡] ▶ [ヘルプとフィードバック] と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面 ▶ [Playストア]
Google Play画面が表示されます。
利用規約が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

memo

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、本製品内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合もありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどによりお客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによってはインターネットに接続し、自動で通信を行うものがあります。データ通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- アプリケーションによっては、動作中スリープモードに移行しなくなる場合やバックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなる場合があります。
- アプリケーションをインストールする前にアプリケーションの情報をご確認ください。インストールに承諾すると、アプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションをインストールするときは、特にご注意ください。

無料のアプリケーションをインストールする

1 Google Play画面でインストールする無料のアプリケーションをタップ ▶ [インストール] ▶ [同意する]
アプリケーションのインストールが開始されます。

有料のアプリケーションをインストールする

有料のアプリケーションをインストールするには、「auかんたん決済」に登録するか、Googleウォレットアカウントを作成する必要があります。
アプリケーションが有料の場合は、インストールする前に購入手続きを行います。

1 Google Play画面で購入するアプリケーションをタップ ▶ 価格をタップ ▶ 画面の指示に従って購入／インストール
- アプリケーションの購入時は、支払い方法の設定をする必要があります。画面の指示に従って操作してください。
- 選択したアプリケーションによって操作方法が異なる場合があります。

memo

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度インストールした後の再インストールには料金がかかりません。
- 詳細については、Google Play画面 ▶ [≡] ▶ [ヘルプとフィードバック] と操作してヘルプをご参照ください。

返金を請求する

購入後一定時間内であれば返金を請求することができます。クレジットカードには課金されず、アプリケーションは本製品からアンインストールされます。

memo

- 返金請求は、各アプリケーションに対して最初の一度のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金請求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金請求はできません。

アプリケーションを管理する

提供元不明のアプリケーションのダウンロード

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。

1 ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [設定] ▶ [セキュリティ]

2 「提供元不明のアプリ」の [ ] ▶ [許可]

インストールされたアプリケーションを削除する

- アプリケーションによっては削除できないものもあります。

1 ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [設定] ▶ [アプリ]

2 削除するアプリケーションをタップ

3 [アンインストール] ▶ [OK]

ダウンロードを利用する

ブラウザからダウンロードしたデータの一覧を表示し、データの管理を行うことができます。

1 ホーム画面 ▶ [その他アプリ] ▶ [ダウンロード]
ダウンロードしたデータの一覧が表示されます。

2 データを選択

Facebookを利用する

Facebookを利用して、友達の近況チェックや写真のアップロード、知り合いとのメッセージのやりとりなどができます。

- Facebookの利用方法などの詳細については、Facebookのホームページをご参照ください。
https://www.facebook.com/

1 ホーム画面 ▶ [Facebook]

2 メールアドレスまたは携帯番号を入力 ▶ パスワードを入力 ▶ [ログイン] ▶ 画面の指示に従って操作
アカウントをお持ちではない場合は画面の指示に従って、Facebookのアカウントを作成してください。

auサービスTOPを利用する

最新ニュースや天気、乗換案内などのデイリーツールはもちろん、「auスマートパス」や「au WALLET」などのauの様々なサービスを最大限活用するためのポータルアプリです。au WALLETポイントが当たるコンテンツやお得なプレゼント情報などをご案内します。

- 利用方法、最新のお知らせについては、「auサービスTOP」アプリをご参照ください。

memo

- ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面 ▶ [ ]
auサービスTOPのホーム画面が表示されます。
- auサービスTOPのご利用にはau IDのログインが必要です。
- au IDについて詳しくはauホームページからダウンロードできる『設定ガイドAndroid 7.0対応版』をご参照ください。
- 初めて起動したときは、基本設定画面などが表示されます。
- 内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- ニュース、天気、乗換などのデイリーツールやポイントガチャ、au WALLET情報、auサービスの特典情報などが表示されます。
- 設定内容はauサービスTOPのホーム画面 ▶「メニュー」の「設定」から変更ができます。

memo

- お客様が操作していない場合でも自動的にデータ通信が行われる場合があります。
- コンテンツによっては、本製品に対応していない場合があります。
- 各コンテンツは予告なく終了、または内容が変更になる場合があります。

auスマートパスを利用する

「auスマートパスプレミアム/auスマートパス」を最大限活用するためのアプリです。お得で、楽しく、あんしんなタブレットライフを提供します。

- 利用方法、最新のお知らせについては、「auスマートパス」アプリをご参照ください。

memo

- ご利用の際はデータ通信料が高額になる場合がありますので、データ通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 一部のアプリは、別途有料となる場合があります。

1 ホーム画面 ▶ [auスマートパス]
auスマートパスTOPページが表示されます。
- auスマートパスアプリのご利用にはau IDのログインが必要です。
- au IDについて詳しくはauホームページからダウンロードできる『設定ガイドAndroid 7.0対応版』をご参照ください。
- 初めて起動したときは、利用権限の概要、初期設定などの画面が表示されます。
- 内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。
- 設定内容はサイドメニューの「設定」から変更ができます。

auお客さまサポートアプリを利用する

月々のご請求金額や月々のご利用状況などを簡単に確認できるほか、auお客さまサポートウェブサイトへアクセスして、料金プランやオプションサービスなどの申し込み・変更手続きができます。

- 利用方法などの詳細については、auお客さまサポートアプリ起動中に［本アプリについて］▶［ヘルプ］と操作してauお客さまサポートのヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面 ▶［auお客さまサポート］

auお客さまサポートのトップ画面が表示されます。

- 初めて起動したときは画面の指示に従って、ID設定を行ってください。
- 利用規約が表示された場合は、内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 確認する項目を選択

現在のご利用状況、ご請求金額、ご契約内容の確認や、各種お手続きができます。

auスマートサポートを利用する

24時間365日体制※1のauスマートサポートセンターによる電話サポートでは、「Lookout for au」「リモートサポート」の2種類のアプリケーションを利用して、遠隔操作によるサポートサービスを利用することができます。
その他、初期設定・基本操作や人気アプリの利用方法を、ご自宅に訪問し丁寧にご説明する「スマホ訪問サポート※2（8,500円～ 14,500円／回、税抜）※3」や、初心者の方にも分かりやすい「使い方ガイド本※4」プレゼントなど、安心してタブレットをご利用いただけるよう各種サービス、特典をご用意しています。

- ご利用にはお申し込みが必要です。ご利用料金や詳細については、auホームページ（https://www.au.com/）でご確認ください。

※1 23時から翌9時のご利用は事前予約が必要となります。
※2 訪問先はお客様のご契約住所に限ります。また、別途交通費がかかる地域がございます。
※3 コースにより料金が異なります。コースやメニューの内容はauホームページをご確認ください。
※4 本のプレゼントは1回限りとなります。

memo

- 「Lookout for au」「リモートサポート」のご利用にあたっては、「Lookout for auを利用する」（▶P.62）および「リモートサポートを利用する」（▶P.62）、「位置検索をご利用いただくにあたって」（▶P.62）をあわせてご参照ください。

Lookout for auを利用する

本製品を盗難・紛失された場合に、お客さまセンターやお客さまのパソコンから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックをすることができます。
※ お客さまセンターから本製品を遠隔操作で位置検索、ロックする場合は、auスマートサポートまたはauスマートパス、故障紛失サポートへの加入が必要です。

memo

- Lookoutサービス設定が完了していない場合は、アプリ起動時にLookout for auの案内画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。
- ご利用の際には「デバイス管理機能」で「Lookout」を有効にしてください。無効の場合は、リモートロックの機能が正常に動作しないことがあります。
- 位置情報へのアクセスなどの確認ダイアログが表示される場合には、「許可」をタップし、機能の利用を許可してください。

位置検索をご利用いただくにあたって

位置検索をご利用いただくにあたって当社では、提供したGPS情報に起因する損害については、その原因の内容にかかわらず一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

■ご利用上の注意

- Lookout for auに本製品の位置情報へのアクセス許可がされていない場合は、位置検索をご利用いただけません。
- サービスエリア内でも地下街など、GPS衛星と基地局からの電波の受信状態が悪い場所では、正確な位置情報が取得できない場合があります。
- ご契約いただいているau ICカード情報と利用開始設定時のau ICカード情報が一致している端末の検索ができます。

Lookout for auを利用する

紛失端末の位置検索機能を設定していない場合、次の操作で設定します。

1 ホーム画面 ▶［au サポート］▶［Lookout for au］

2 メールアドレスとパスワードを入力 ▶［保護を開始］

リモートサポートを利用する

ご利用にあたってはauスマートサポートまたはauスマートパス、故障紛失サポートへの加入が必要です。
タブレットの操作についてお問い合わせいただいた際に、オペレーターがお客様のタブレットの画面を共有し、お客様の操作をサポートすることで、直接問題を解決します。

リモートサポートを利用する

1 お客さまセンター、auスマートサポートセンターまでお問い合わせ

auスマートパス会員は局番なしの157番（au電話から／通話料無料）、
0077-7-111（一般電話から／通話料無料）までご連絡ください。
auスマートサポート会員は、auスマートサポート加入後に送付される会員証に記載の「専任チーム専用番号」までご連絡ください。

2 ホーム画面 ▶［au サポート］▶［リモートサポート］

初回起動時は、許可画面や使用許諾契約書を確認する画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面に従って操作してください。

3 オペレーターの指示に従って操作

故障受付を利用する

「故障かな？」と思ったときのトラブル診断をはじめ、故障紛失サポートセンターの電話番号のご案内、インターネットでの交換申し込み、データ移行をトータルにサポートする便利なアプリです。

1 ホーム画面 ▶［au サポート］▶［故障受付］

トップメニュー画面が表示されます。

- 初めて起動したときは許可画面や利用規約などの確認画面が表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

2 以下の項目をタップ

トラブル診断	お客様ご自身で診断することができます。質問に答えていくと、トラブルの対処方法が見つかります。調子が悪いと思ったら、まずは診断！
オンライン交換受付	オンライン交換受付のログイン画面をワンタッチで呼び出します。
故障相談受付	故障相談窓口となる「故障紛失サポートセンター」の電話番号をご案内します。
データ移行アプリ	ご利用の機種に対応したデータ移行アプリを起動します。

memo

- 「MENU」をタップするとサイドメニューが開きます。トップメニュー画面の各機能へのアクセスに加え、本製品の機能の診断などいくつかのメニューを提供しています。
- 各機能の利用中にトップメニュー画面に戻るときは、サイドメニューの「トップ」をタップしてください。

安心アクセス for Android™を利用する

お子様にauの端末を安心して持たせられるよう、青少年に不適切なウェブページへのアクセスやアプリケーションのご利用を制限するフィルタリングアプリです。お子様の年代に合わせ、「小学生」・「中学生」・「高校生」・「高校生プラス」の4段階から制限レベルを簡単に選択できるほか、特定のウェブページやアプリの制限／許可を保護者が個別にカスタマイズすることも可能です。
また、夜間などauの端末のご利用を制限することもできます。

- ご利用にはau IDが必要です。au IDの設定方法については、「au IDを設定する」（▶P.20）をご参照ください。

1 ホーム画面 ▶［au サポート］▶［安心アクセス］
初めて起動したときは、許可画面が表示されます。内容をご確認のうえ、「同意する」をタップしてください。

2 ［au IDでログイン］
画面の指示に従って操作してください。
※ ご利用になるお子様のau IDでログインしてください

3 仮パスワードを入力 ▶ 仮パスワード（確認）を入力
仮パスワードは管理者登録の際に必要となります。必ず保護者の方がご自身で設定し、忘れないように管理してください。

4 フィルタリングの強度を選択

小学生	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるもの、時間の浪費が心配なもの、また前記以外の心配事を含むサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を読み取るもの、アプリ内課金（一部）があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト／アプリでも、初期の状態では利用できません。設定を変更することで利用可能になります。
中学生	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるもの、利用に知識・経験・判断力が必要なもの、水着や下着の描写が含まれるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るもの、アプリ内課金（一部）があるもの、お子様に不適切な広告があるアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生	• お子様の閲覧に不適切なもの、知らない人と交流できるサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト／アプリは利用可能です。
高校生プラス	• お子様の閲覧に不適切なサイトの閲覧やアプリの利用はできません。 • 本製品内の個人情報を不適切に読み取るアプリも利用できません。 • EMA※が認定するサイト／アプリは利用可能です。

※ 一般社団法人モバイルコンテンツ審査・運用監視機構

5 ［規約に同意してサービスを利用開始する］▶［OK］
利用規約を必ずご確認ください。
「デバイス管理機能」を有効にする画面が表示されます。

6 ［有効］
ウェブページが表示されます。

■管理者情報を登録する

1 ホーム画面 ▶［au サポート］▶［安心アクセス］

2 ［ ］▶［管理者登録］
画面上の「ここをタップして、安心アクセス for Android™の管理者IDを登録してください。」の表示をタップしても管理者登録の設定画面に進むことができます。

3 仮パスワードを入力 ▶［仮パスワードを照会する］

4 管理者IDを入力 ▶ 管理者ID(確認)を入力 ▶［管理者ID確認へ進む］
管理者IDには、保護者の方のメールアドレスを入力します。

5 ［申請する］
管理者IDとして登録したメールアドレスに、「anshin-access@netstar-inc.com」よりメールが送信されます。

6 受信メールに記載されている管理者用パスワードを入力 ▶［管理者登録を行う］▶［OK］

memo

- 管理者情報の登録は、ID登録日の翌日までに行ってください。

■管理者ページを利用する

パソコンから、管理者登録後にメール送信される管理者ページURLに接続してください。

- 以下の操作でお子様のauの端末から利用することも可能です。

1 ホーム画面 ▶［au サポート］▶［安心アクセス］

2 ［ ］▶［設定］▶［管理者ページ］

3 管理者IDとパスワードを入力 ▶［ログイン］

4 以下の項目をタップ

管理者情報	管理者ID（メールアドレス）やパスワードの変更ができます。
端末情報	管理しているタブレットの名前を設定できます。
フィルタリング設定	年代設定の変更や、個別のサイトやアプリの許可／制限などカスタマイズが可能です。

memo

- 詳しくはauホームページをご参照ください。
https://www.au.com/mobile/service/smartphone/safety/anshin-access/

au Wi-Fi接続ツールを利用する

auの公衆無線LANサービス「au Wi-Fi SPOT」やauの宅内Wi-Fi機器サービス「Wi-Fi HOME SPOT」を便利にご利用いただくためのアプリです。

- 利用方法などの詳細については、au Wi-Fi接続ツール画面 ▶［ヘルプ］と操作してヘルプをご参照ください。

1 ホーム画面 ▶［au サポート］▶［au Wi-Fi接続ツール］
au Wi-Fi接続ツール画面が表示されます。
初回起動時には、許可画面などが表示されます。内容をご確認のうえ、画面の指示に従って操作してください。

QR・バーコードリーダーを利用する

SATCHを利用して、QRコードやバーコードを読み取ることができます。読み取った内容は、WEBサイト表示などに利用できます。QRコードとJANコードの読み取りに対応しています。

1 ホーム画面 ▶［その他アプリ］▶［SATCH］▶［QR／バーコードを読み取る］
初回起動時は、アンケートなどが表示されます。
内容をご確認の上、画面の指示に従って操作してください。

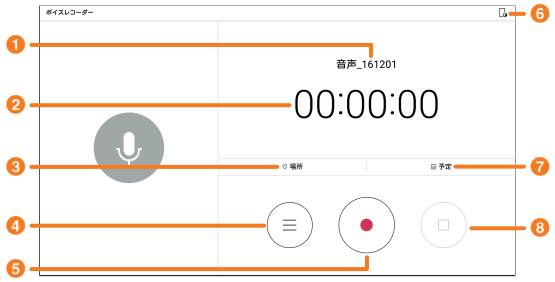
memo

- SATCHではQR・バーコードリーダー以外にも、AR（Augmented Reality）を楽しむことができます。ARとはカメラにかざして対象物を読み込むことで、動画やCGなどを表示できる機能です。SATCHアプリ内のキャンペーンなどの画面の案内に沿ってお楽しみください。

ボイスレコーダーを利用する

音声を録音できます。

1 ホーム画面 ▶ [その他アプリ] ▶ [ボイスレコーダー]
ボイスレコーダー画面が表示されます。



❶ **ボイスデータ名**
❷ **現在の録音時間**
❸ **場所**
位置情報を取得して追加します。
❹ **一覧表示**
❺ **録音／一時停止**
録音を開始・一時停止します。
❻ **ストレージ**
保存先の変更ができます。
・ 録音中は が表示され、タップするとブックマークを付けることができます。
❼ **予定**
登録されている予定がある場合、タップすると登録済みの予定タイトルが表示されます。
❽ **録音停止**
録音を停止します。

録音する

1 ボイスレコーダー画面 ▶ [●]
録音が開始されます。
録音中はステータスバーに が点滅表示されます。

2 [□]
録音が停止します。録音したボイスデータは自動的に保存されます。
ボイスデーター覧画面に遷移します。

■録音後に再生する

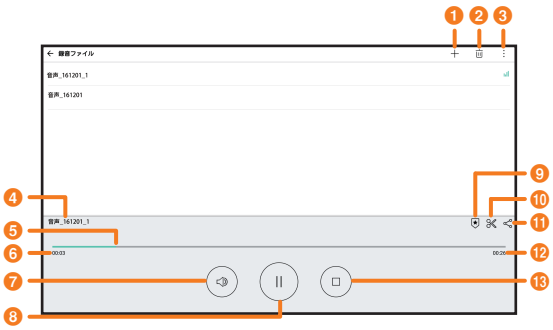
1 ボイスデーター覧画面 ▶ [▷]
録音を行った直後では、録音したボイスデータが再生されます。

memo
・ 録音中に「 ○ 」をタップしてホーム画面などボイスレコーダー画面以外の画面に切り替わっても録音は続きます。

再生する

1 ボイスレコーダー画面 ▶ [≡]

2 再生したいボイスデータをタップ
録音したボイスデータが再生されます。



❶ **新しい録音**
ボイスレコーダー画面に戻ります。
❷ **削除**
選択したデータを削除します。
❸ **メニューアイコン**
ボイスデータの検索をしたり、Bluetooth®やEメールなどで送信します。
❹ **ボイスデータ名**
❺ **再生位置**
ドラッグまたはタップすると、再生中のボイスデータを任意の場所から再生します。
❻ **再生時間**
❼ **音量**
タップして表示される調節バーをドラッグまたはタップすると、音量を調節できます。
❽ **再生／一時停止**
▷：再生します。
‖：一時停止します。
❾ **ブックマーク**
ブックマークしたところから再生できます。
❿ **トリム**
録音データの前後をカットすることができます。
⓫ **共有**
Bluetooth®やEメールなどで送信します。
⓬ **全再生時間**
⓭ **停止**
停止します。

memo
・ ボイスデーター覧画面でボイスデータをロングタッチすると、ファイル情報の確認やリネームなどができます。

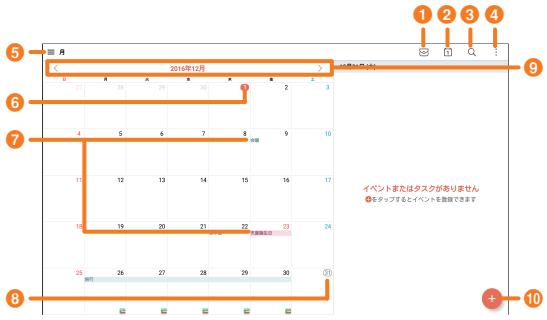
カレンダーを利用する

カレンダーを1年、1ヶ月、1週間、1日で表示することができます。

- 「アカウントと同期」を利用して、サーバに保存されたカレンダーと本製品のカレンダーを同期できます。

1 ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [カレンダー]

カレンダー画面が表示されます。



《カレンダー画面》

❶ イベントポケット
カレンダーへのイベント追加を簡単に行うことができます。

❷ 今日
今日の日付が選択されます。

❸ 検索

❹ メニューアイコン

❺ 表示切替
カレンダーの表示を切り替えます。

❻ 今日の日付

❼ 予定
登録されている予定がある場合、登録済みの予定のタイトルやステッカーなどが表示されます。登録したアカウントや予定の期間や時間帯によって表示が異なります。

❽ 選択されている日付
橙色の枠で囲んで表示されます。

❾ 表示中の年月
「〈」／「〉」をタップすると前後の年月に切り替えられます。
- カレンダー画面の日付部分を左右にスワイプしても、前後の年月に切り替えられます。

❿ 予定の新規作成
▶P.65「予定を新規登録する」

カレンダーのメニューを利用する

1 カレンダー画面 ▶ [⋮]

2 以下の項目をタップ

削除	登録している予定を削除します。
同期するカレンダー	同期するカレンダーを設定します。
カレンダー表示	カレンダーへの表示や同期の設定を変更できます。
日付選択	すばやく日付を移動したいときに使用します。
Qスライド	画面内にアプリを小さく表示することでマルチタスクを簡単に行います。透明度の調整もできます。
設定	▶P.65「カレンダーを設定する」

※ メニューに表示される項目は、画面によって異なります。

予定を新規登録する

1 カレンダー画面 ▶ [⊕]

予定の新規作成画面が表示されます。
オンライン同期についてのメッセージが表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

2 以下の項目をタップ

表示されていない項目は、「その他」をタップすると表示されます。

アカウント名	予定を登録するアカウントを選択します。
(イベントの色)※1	カレンダーに表示する予定の色を選択します。
イベント名	予定のタイトルを入力します。
(ステッカー)	カレンダーに表示する予定のステッカーを選択します。
場所	予定の場所を入力します。 • をタップすると地図から場所を選択できます。
(画像)／(メモ)／(ポケット)／(タスク)	タップすると、画像、メモ、ポケット、またはタスクを添付することができます。
開始 終了	開始日時と終了日時を設定します。 • 終了日時は開始日時より前には設定できません。
終日	予定を終日に設定します。
タイムゾーン	タイムゾーンを設定します。
通知	予定開始日時からどのくらい前に通知するかどうかを設定します。 •「通知の追加」をタップすると通知を追加できます。 • をタップすると、通知設定を削除できます。
繰り返し	予定の繰り返しを設定します。
ゲスト※2	登録する予定に招待する人のメールアドレスを入力します。 •「,」で区切って、複数入力できます。 • 予定の登録が完了すると、入力した宛先に予定データを添付したメールが送信されます。 • をタップすると、連絡先から選択できます。 •「任意出席のゲストを追加」をタップすると、任意のゲストを追加することができます。
内容	予定の内容を入力します。
外部向け表示	外部向け表示を設定します。
公開設定	公開設定を設定します。

※1 登録先がGoogleアカウントの場合のみ表示されます。
※2 登録先がオンラインサービスのアカウントの場合のみ表示されます。

3 [保存]

「テンプレート登録」をタップすると、イベントポケットにイベントを保存することができます。

カレンダーを設定する

通知方法や、通知音の変更などの詳細を設定することができます。

1 カレンダー画面 ▶ [⋮] ▶ [設定]

2 以下の項目をタップ

カレンダー設定	カレンダー設定を行います。
通知設定	予定通知に関する設定を行います。
アカウントと同期	アカウントを追加したり、アカウントごとに同期するかどうかを設定できます。

予定を確認／編集する

1 カレンダー画面 ▶ 1 ヶ月表示画面で予定の入っている日付を選択

2 予定を選択
予定詳細画面が表示されます。

3 以下の項目をタップ

通知	「通知の追加」をタップすると通知を追加できます。 ⓧ をタップすると、通知設定を削除できます。
✎	登録した予定を編集します。
🗑	予定を削除します。
⋮	共有やコピー、イベントの色を変更※、タスクの追加などをすることができます。

※ 登録先がGoogleアカウントの場合のみ表示されます。

memo

- 1 ヶ月／1週間／1日表示画面で対象の日付／時刻をロングタッチすると、予定の新規作成ができます。
- 予定詳細画面 ▶［⋮］▶［共有］と操作すると登録した予定をEメールやGmailなどで送信できます。

アラーム／世界時計／タイマー／ストップウォッチを利用する

アラームで指定した時刻をお知らせする

指定した時刻をアラーム音やバイブレータでお知らせできます。

1 ホーム画面 ▶［基本機能］▶［時計］▶「アラーム」タブ
アラーム画面が表示されます。

2 登録されているアラームを選択
「＋」をタップしてもアラームを登録できます。

3 各項目を編集 ▶［アラーム保存］
編集内容を保存して、アラーム画面に戻ります。
アラーム編集中に「キャンセル」をタップすると、編集中のアラーム設定が初期化されます。

memo

アラームを設定した時刻になると

- アラーム音やバイブレータが鳴動し、アラームの内容が表示されます。
- 「停止」をタップするとアラームは停止します。
- 電源が入っていない場合、アラームは鳴動しません。
- ロック画面でアラームが鳴動したときは、音量キー（UP／DOWN）を押しても、アラームを停止できます。停止動作は、アラーム画面 ▶［⋮］▶［設定］▶［音量ボタン操作時の動作］の設定により異なります。

スヌーズモードを設定すると

- スヌーズモードを解除するには、アラーム鳴動中に「停止」をタップするか、または通知パネルに「スヌーズしました」が表示されているときに「停止」をタップします。
- アラーム鳴動中に「スヌーズ」をタップすると、アラームを停止します（スヌーズは解除されません）。

■ アラームの入力項目について

項目	説明
時刻	お知らせする時刻を設定します。 ⌨ をタップするとキーボードで入力して、時刻を設定できます。 • アラーム設定が無効の場合、時刻を設定すると自動的にアラーム設定が有効になります。
繰り返し	アラームの繰り返しを曜日で指定します。 • 毎日アラームを鳴動させたい場合はすべての曜日を選択します。 📅 をタップするとアラームを鳴動させたい日付をカレンダーで指定できます。
アラーム音	アラーム音を設定します。
アラーム音量	アラームの音量を調節します。
アラーム鳴動時のバイブ	バイブレータを有効にするかどうかを設定します。
スヌーズ間隔	スヌーズの間隔を設定します。
メモ	メモを入力できます。
アプリの自動起動	アラームを停止したときに実行するアプリケーションを設定します。
パズルロック	アラームを止めるためにパズルを解くかどうかを設定します。

■ アラームの鳴動方法を設定する

1 アラーム画面 ▶［⋮］▶［設定］

2 以下の項目をタップ

音量ボタン操作時の動作	アラーム鳴動中に音量キーを押したときの動作を設定します。
パズルロック	パズルロックで使用するパズルの種類を選択します。

世界各地の都市の時刻を確認する

世界各地の時刻を表示できます。

1 ホーム画面 ▶［基本機能］▶［時計］▶「世界時計」タブ
世界時計画面が表示されます。

2［＋］▶ 確認する都市を入力 ▶ 都市を選択
世界時計画面に選択した都市が表示されます。

memo

- サマータイムで表示されている都市には、都市の右に ☼ が表示されます。サマータイムの期間により、時刻が正確に表示されない場合があります。

■ コンテキストメニューの場合

1 世界時計画面で都市をロングタッチ

2 以下の項目をタップ

削除	選択した都市を削除します。
サマータイム設定	時刻をサマータイムで表示するかどうかを設定します。
日付へ移動	選択した日付へ移動します。

タイマーで時間を計る

タイマーを設定できます。

1 ホーム画面 ▶［基本機能］▶［時計］▶「タイマー」タブ
タイマー画面が表示されます。

2 時間を設定 ▶［開始］
カウントダウンを開始します。
カウントダウン中に「一時停止」／「再開」をタップするとカウントダウンを一時停止／再開できます。
また、「リセット」をタップするとカウントダウンをやり直すことができます。

ストップウォッチで時間を計る

1/100秒単位で計測できます。

1 ホーム画面 ▶［基本機能］▶［時計］▶「ストップウォッチ」タブ
ストップウォッチ画面が表示されます。

2［開始］
「ラップ」をタップするたびにラップタイムを記録し、一覧表示します。
計測中に「一時停止」／「再開」をタップすると計測を一時停止／再開できます。
また、「リセット」をタップすると計測中の記録をすべて破棄します。

電卓で計算する

計算を行うことができます。

1 ホーム画面 ▶［基本機能］▶［電卓］

memo

- 表示されている数値をロングタッチすると、コピー／貼り付けなどができます。操作方法については、「文字を切り取り／コピーしてから貼り付ける」（▶P.30）をご参照ください。

■ 電卓画面のオプションメニューの場合

1 電卓画面 ▶［⋮］

履歴	計算履歴を表示します。
先頭の桁を含めて表示※	表示された計算結果の数値に誤差があるかどうかを表示します。
分数で表示※	計算結果を分数で表示します。
フィードバックを送信	Googleにフィードバックを送信します。
ヘルプ	電卓アプリのヘルプを表示します。

※ 計算結果をタップしたときに表示される「⋮」をタップしたときのみ表示されます。

Qメモ+を利用する

簡単にメモが作成できるアプリケーションです。
紙と同じように自由に使用することができます。
例：メモを作成する場合

1 ホーム画面 ▶ [その他アプリ] ▶ [Qメモ+] ▶ [⊕]
メモ編集画面が表示されます。

2 メモを作成する
以下の情報が表示されます。

- ✓ ： 作成したメモを保存します。
- ↩ ／ ↪ ： 元に戻す／やり直します。
- Ⓣ ： 文字を入力します。
- ✎ ： ペンの種類やカラー、消しゴムを選択できます。
- ⌾ ： 選択した部分を切り取ることができます。
- ⋮ ： Qメモ+のメニューを表示します。
- ⊙ ： ホームタッチボタンをロックします。

3 [✓]
作成したメモが保存されます。

memo
- 指で軽く触れて操作してください。市販のタッチペンを使用した場合、動作しない可能性があります。
- カメラで静止画を撮影してからメモを作成することもできます。ホーム画面 ▶ [その他アプリ] ▶ [Qメモ+] ▶ [📷] ▶ 静止画を撮影 ▶ [OK] ▶ メモを作成 ▶ [✓] と操作してください。

メモを閲覧／編集する

1 ホーム画面 ▶ [その他アプリ] ▶ [Qメモ+]
メモ一覧画面が表示されます。

2 閲覧／編集したいメモをタップ
メモ編集画面が表示されます。

memo
- メモ一覧画面 ▶ [≡] と操作すると、カテゴリーの切り替えや、カテゴリーの追加／編集ができます。

Qメモ+のメニューを利用する

1 メモ一覧画面／メモ編集画面 ▶ [⋮]

2 以下の項目をタップ

検索	メモを検索します。
共有	Bluetooth®、Eメール、Gmailなどを使って、メモを共有します。
カテゴリーの変更	メモを他のカテゴリーに移動することができます。
ロック	メモにパスワードを設定することができます。
ロック解除	ロックしたメモのロックを解除します。
ロックしたメモを表示	ロック時に設定したパスワードを入力すると、ロックしたメモの一覧を表示できます。 • 🔓 メモを選択してロックを解除できます。 • 🗑 メモを選択して削除できます。
並び替え	メモを並べ替えます。
設定	インポートやバックアップをしたり、キャプチャー＋メモの保存先を設定したり、アカウントを追加したりします。
削除	メモを削除します。
挿入	メモに静止画や動画、音楽などを挿入します。
ペーパースタイル	ペーパースタイルを変更します。
ハイパーリンクの利用／ハイパーリンクの停止	ハイパーリンクの利用／停止を変更できます。
Qスライド	画面内にアプリを小さく表示することでマルチタスクを簡単に行います。透明度の調整もできます。

※ 画面によって操作できる項目は異なります。

ファイル管理

本製品の保存領域について …… **70**
microSDメモリカードを利用する …… **70**
microSDメモリカードを取り付ける …… 70
microSDメモリカードを取り外す …… 70
microUSBケーブル（別売）でパソコンと接続する …… 70
外部機器を利用する …… **71**
SmartShareを利用する …… 71
メモリの使用量を確認する …… **71**

本製品の保存領域について

本製品は、内部ストレージとmicroSDメモリカードにデータを保存することができます。

本体ストレージ	アプリケーションや各アプリケーションが使用するデータ、スクリーンショットで撮影した画像などのメディアファイルを保存します。
SDカード	メディアファイルなどを保存します。

microSDメモリカードを利用する

microSDメモリカード（microSDHCメモリカード、microSDXCメモリカードを含む）を本製品に取り付けることにより、データを保存／移動／コピーすることができます。

memo

- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないと利用できない場合があります。
- 他の機器でフォーマットしたmicroSDメモリカードは、本製品では正常に使用できない場合があります。本製品でフォーマットしてください（▶P.71）。
- 著作権保護されたデータによっては、パソコンなどからmicroSDメモリカードへ移動／コピーは行えても本製品で再生できない場合があります。
- microSDXCメモリカードはSDXC対応機器でのみご使用いただけます。
  万一、SDXC非対応の機器にmicroSDXCメモリカードを差し込んだ場合、フォーマットを促すメッセージが表示されることがありますが、フォーマットはしないでください。
  SDXC非対応の機器でmicroSDXCメモリカードをフォーマットした場合、microSDXCメモリカードからデータが失われ、異なるファイルシステムに書き換えられます。また、microSDXCメモリカード本来の容量で使用できなくなることがあります。

■取扱上のご注意

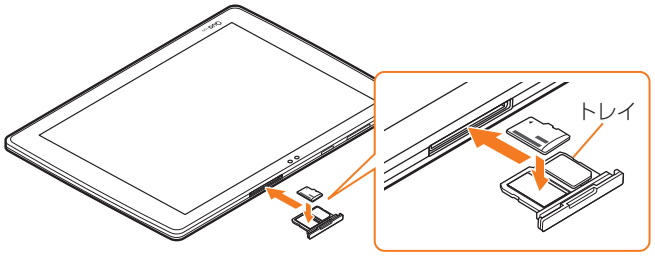
- microSDメモリカードのデータにアクセスしているときに、電源を切ったり衝撃を与えたりしないでください。データが壊れるおそれがあります。
- 本製品はmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードに対応しています。対応のmicroSD/microSDHC/microSDXCメモリカードにつきましては、各microSDメモリカード発売元へお問い合わせいただくか、auホームページをご参照ください。

microSDメモリカードを取り付ける

microSDメモリカードの取り付けは、本製品の電源を切ってから行ってください。

1 トレイの溝に指先（爪）をかけてまっすぐに引き出し、本体からトレイを取り外す（▶P.17）

2 microSDメモリカードのロゴのある面を上にしてトレイにはめ込み、トレイごと本体に差し込んで奥までまっすぐ押し込む



3 トレイをしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認（▶P.17）

memo

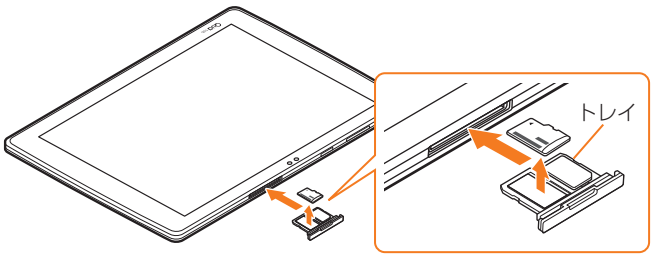
- microSDメモリカードには、表裏／前後の区別があります。
  無理に入れようとすると取り外せなくなったり、破損するおそれがあります。

microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードの取り外しは、本製品の電源を切ってから行ってください。

1 トレイの溝に指先（爪）をかけてまっすぐに引き出し、本体からトレイを取り外す（▶P.17）

2 microSDメモリカードを取り出し、トレイを本体に差し込んで奥までまっすぐ押し込む



3 トレイをしっかりと押し、本体とすき間がないことを確認（▶P.17）

memo

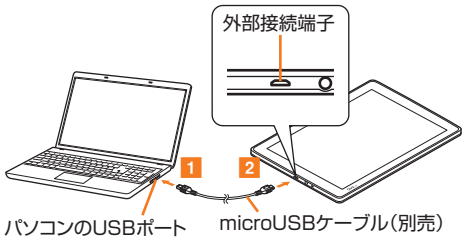
- microSDメモリカードの端子部には触れないでください。
- 長時間お使いになった後、取り外したmicroSDメモリカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。

microUSBケーブル（別売）でパソコンと接続する

microSDメモリカードをセットした本製品とパソコンをmicroUSBケーブル（別売）で接続して、本製品にセットしたmicroSDメモリカード内のデータを読み書きできます。また、音楽／動画データの転送も可能です。

1 パソコンが完全に起動している状態で、microUSBケーブル（別売）をパソコンのUSBポートに接続

2 本製品が完全に起動している状態で、microUSBケーブル（別売）を本製品の外部接続端子に接続



3 本製品のステータスバーを下方向にスライド ▶ [ ]
「USB接続」画面が表示されます。

4 USB接続方法を以下の項目からタップして選択

充電中	充電のみ行えます。
ファイル転送	ファイルの転送、またはWindows Media® Playerとの同期が行えます。
写真の転送	カメラとして接続して、写真を転送することができます。
MIDIデバイス	MIDI経由で楽曲データを再生します。

memo

- Windows Vista SP2 ／ Windows 7 ／ Windows 8 ／ Windows 8.1 ／ Windows 10以外のOSでの動作は、保証していません。
- USBハブやUSB延長ケーブルを介して接続すると、正常に動作しない場合があります。
- パソコンとデータの読み書きをしている間にmicroUSBケーブルを取り外すと、データを破損するおそれがあります。取り外さないでください。

外部機器を利用する

SmartShareを利用する

SmartShareは、DLNA（Digital Living Network Alliance）技術を用いたワイヤレスネットワークでデジタルコンテンツを共有できます。
この機能を利用するには、DLNA認証されたDLNA対応機器が必要です。DLNA対応機器は、映像や音楽を蓄積可能なサーバと再生機能を持つプレイヤー（クライアント）があります。

memo

- SmartShareを利用するには、ご使用のDLNA対応機器が本製品と同じWi-Fi®ネットワークに接続していることを確認してください。
- DLNAのDMP機能のみ対応しているプレイヤーの場合、プレイヤー一覧画面に表示されないことがあります。
- また、一部のプレイヤーではコンテンツを再生することができない場合があります。

SmartShare Beamを起動しコンテンツを共有する

1 ホーム画面 ▶［基本機能］▶［設定］▶［その他］▶［共有と接続］▶［ファイル共有］

2「SmartShare Beam」の［ ］

3 以下の項目をタップ

Qua tab PZ（デバイス名）	他の機器に表示される機器名を設定できます。
ファイル保存先	データの保存先を変更します。
ファイル共有	画像や音楽データ、動画などをBluetooth Low Energyで送信するため、周辺デバイスが本製品をいつでも検出できるようにします。
ヘルプ	SmartShare Beamのヘルプを表示します。

SmartShare Beamでクライアント機器にファイルを送信する

本製品のコンテンツを他のクライアント機器に送信します。
ここでは例としてギャラリーから静止画を送信する方法を説明します。

- ご利用の機器のSmartShare Beam機能が正しく設定されたことを確認してください。

1 ホーム画面 ▶［その他アプリ］▶［ギャラリー］

2 送信したい静止画を選択して表示する

3 静止画をタップ ▶［ ］▶［SmartShare Beam］

4 送信するデバイスをタップする

- デバイスが表示されない場合は、「検索」をタップしてデバイスをスキャンしてください。

SmartShare Beamで他の機器からファイルを受信する

コンテンツを他の機器から受信します。

1「受信ファイル」画面が表示されたら、「許可」をタップ

- ステータスバーに が表示され、データの受信が開始されます。
- 通知パネルで受信状態を確認できます。
- 受信が完了したら、画面下部にメッセージ画面が表示されます。

本製品のコンテンツを他のDLNA対応機器で再生する

本製品の動画や音楽などのコンテンツを他のDLNA対応機器で再生します。

1 本製品のホーム画面 ▶［基本機能］▶［設定］▶［その他］▶［共有と接続］▶［メディアサーバー］

2「コンテンツ共有」の［ ］▶［許可］

- 周辺のDLNA対応機器からのアクセス許可の画面が表示されたら、必要に応じて許可の操作を行ってください。

3 以下の項目をタップ

Qua tab PZ（デバイス名）	他の機器に表示される機器名を設定できます。
共有するコンテンツ	共有するコンテンツの種類を設定できます。
許可済みのデバイス	本製品へのアクセスを許可済みの機器を表示します。
非許可デバイス	本製品へのアクセスを許可していない機器を表示します。

4 ご使用のDLNA対応機器から利用可能な周辺機器の検索を行い、本製品のコンテンツを選択する

- 以降、ご使用のDLNA対応機器からコンテンツを操作します。

他のDLNA対応機器のコンテンツを本製品で再生する

他のDLNA対応機器にある動画や音楽などのコンテンツを本製品から再生します。
ここでは例としてギャラリーから他のDLNA対応機器の動画を再生する方法を説明します。

- 必要に応じて、ご使用のDLNA対応機器側で本製品からのアクセスが許可されていることを確認してください。

1 ホーム画面 ▶［その他アプリ］▶［ギャラリー］

2［ ］▶［周辺デバイス］

3 検出されたDLNA対応機器をタップ ▶ 再生する動画をタップ

動画の再生が開始されます。

メモリの使用量を確認する

1 ホーム画面 ▶［基本機能］▶［設定］▶［ストレージとUSB］

microSDメモリカードと端末容量の設定画面が表示されます。

本体ストレージ	内部ストレージ	内部ストレージの合計容量や使用量、空き容量などが確認できます。
ポータブルストレージ※	SDカード	microSDメモリカードの使用状況やカード内のフォルダ／ファイルの確認、フォーマット（初期化）などの操作ができます。 △ をタップするとmicroSDメモリカードの認識を解除します（マウント解除）。
	USBドライブ	本製品にUSB接続した外部ストレージの使用状況やストレージ内のフォルダ／ファイルの確認、フォーマット（初期化）などの操作ができます。 △ をタップすると外部ストレージの認識を解除します（マウント解除）。

※ microSDメモリカードを取り付けている場合、または外部ストレージを接続している場合のみ表示されます。

microSDメモリカードをフォーマットする

microSDメモリカードをフォーマットすると、microSDメモリカードに保存されているデータがすべて削除されます。

1 ホーム画面 ▶［基本機能］▶［設定］▶［ストレージとUSB］

2［SDカード］▶［ ］▶［ストレージの設定］▶［フォーマット］▶［フォーマット］▶［完了］

memo

- フォーマットは、充電しながら行うか、内蔵電池が十分に充電された状態で行ってください。
- マウントを解除した後に再度microSDメモリカードを認識させる場合は、［SDカード］▶［マウント］を選択してください。
- データが壊れる（消去される）ことがありますので、microSDメモリカードにデータを保存中はマウント解除操作を行わないでください。

データ通信

無線LAN（Wi-Fi®）機能 …… **74**
無線LAN（Wi-Fi®）機能を有効にする …… 74
Wi-Fi®ネットワークに接続する …… 74
アクセスポイントを登録する …… 74
アクセスポイントとの接続を切る …… 74
ネットワーク通知を設定する …… 74
接続を一時停止するタイミングを設定する …… 74
テザリング機能 …… **75**
テザリングについて …… 75
USBテザリング機能を利用する …… 75
Wi-Fi®テザリング機能を利用する …… 75
Bluetooth®テザリング機能の設定をする …… 75
Bluetooth®機能 …… **76**
Bluetooth®機能でできること …… 76
Bluetooth®機能を有効にする …… 76
Bluetooth®機器を登録する …… 77
Bluetooth®でデータを送受信する …… 77
Bluetooth®機能の設定をする …… 77

無線LAN（Wi-Fi®）機能

家庭内で構築した無線LAN環境や、外出先の公衆無線LAN環境を利用して、インターネットサービスに接続できます。
無線LAN（Wi-Fi®）を利用してインターネットに接続するには、あらかじめ接続するアクセスポイントの登録が必要になります。

memo

- ご自宅などでご利用になる場合は、インターネット回線とアクセスポイント（無線LAN親機）をご用意ください。
- 外出先でご利用になる場合は、あらかじめ外出先のアクセスポイント設置状況を、公衆無線LANサービス提供者のホームページなどでご確認ください。公衆無線LANサービスをご利用になるときは、別途サービス提供者との契約などが必要な場合があります。
- すべての公衆無線LANサービスとの接続を保証するものではありません。
- 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

無線LAN（Wi-Fi®）機能を有効にする

1 ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]
初めてご利用になる場合はチュートリアルの案内画面が表示されます。画面の指示に従って操作を行ってください。

2 [○]
ステータスバーを下方向にスライドして、クイック設定の「Wi-Fi」をタップしても同様に操作できます。

Wi-Fi®ネットワークに接続する

1 ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [設定] ▶ [Wi-Fi]
Wi-Fi設定画面が表示されます。
Wi-Fi®が起動している場合、Wi-Fi設定画面に接続可能なアクセスポイントが表示されます。

2 アクセスポイントを選択

3 パスワードを入力 ▶ [接続]
「パスワードの表示」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

memo

- アクセスポイントによっては、パスワードの入力が不要な場合もあります。
- お使いの環境によっては、通信速度の低下やご利用になれない場合があります。
- Wi-Fi設定画面 ▶ [⋮] ▶ [保存されたWi-Fi] と操作すると、接続したWi-Fi®ネットワークを表示できます。接続済みのWi-Fi®ネットワークがないときは「保存されたWi-Fi」は表示されません。

アクセスポイントを登録する

アクセスポイントを手動で登録する

1 Wi-Fi設定画面 ▶ [⋮] ▶ [Wi-Fi追加]

2 Wi-Fiアクセスポイント名（SSID）を入力 ▶ セキュリティを選択

■ セキュリティを「なし」に設定した場合

3 [接続]

■ セキュリティを「WEP」「WPA/WPA2 PSK」に設定した場合

3 パスワードを入力 ▶ [接続]
「パスワードの表示」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

■ セキュリティを「802.1x EAP」に設定した場合

3 必要な項目を設定／入力 ▶ [接続]
「パスワードの表示」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

memo

- 手動でアクセスポイントを登録する場合は、あらかじめネットワークSSIDや認証方式などをご確認ください。
- Wi-Fi設定画面 ▶ アクセスポイントをロングタッチ ▶ [ネットワークを変更] と操作すると、登録したアクセスポイントを編集できます。

自動でアクセスポイントを登録する

AOSS™やかんたん接続対応のアクセスポイントを登録する場合、Wi-Fiかんたん接続機能を使うと、簡単に登録できます。

1 Wi-Fi設定画面 ▶ [Wi-Fiかんたん接続]

2 画面の指示に従って操作する

アクセスポイントとの接続を切る

1 Wi-Fi設定画面で接続中のアクセスポイントを選択 ▶ [削除]
Wi-Fi設定画面で接続中のアクセスポイントをロングタッチ ▶ [ネットワークの削除] でも同様に操作できます。

memo

- アクセスポイントとの接続を切ると、再接続のときにパスワードの入力が必要になる場合があります。

ネットワーク通知を設定する

Wi-Fi®のオープンネットワーク（パスワードなどのセキュリティが設定されていないWi-Fi®ネットワーク）を検出したとき、ステータスバーに通知するかどうかを設定します。

1 Wi-Fi設定画面 ▶ [⋮] ▶ [Wi-Fiの詳細設定] ▶「Wi-Fi通知」の [○]

接続を一時停止するタイミングを設定する

画面OFF（スリープモード）時のWi-Fi®接続の設定をします。

1 Wi-Fi設定画面 ▶ [⋮] ▶ [Wi-Fiの詳細設定] ▶ [画面OFF時のWi-Fi設定]

2 以下の項目をタップ

接続を維持	画面OFF時もWi-Fi®接続を維持します。
充電中のみ接続を維持	充電中の場合のみ画面OFF時もWi-Fi®接続を維持します。
接続を解除	画面OFF時はWi-Fi®接続を無効にします。

テザリング機能

テザリングについて

テザリングとは、タブレットなどのモバイル機器をモデムとして使い、USB対応機器や、無線LAN（Wi-Fi®）対応機器、Bluetooth®対応機器をインターネットに接続させることができる機能です。
テザリング機能について詳しくは、ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［その他］▶［テザリング］▶［ヘルプ］でヘルプをご参照ください。

memo

- テザリング機能のご利用には別途ご契約が必要です。
- 最大13台（Wi-Fi®テザリング8台、Bluetooth®テザリング4台、USBテザリング1台）まで同時接続可能です。

USBテザリング機能を利用する

本製品とパソコンをmicroUSBケーブル01（別売）で接続し、本製品を介してパソコンをインターネットに接続することができます。

- あらかじめパソコンと本製品を接続しておいてください。パソコンとの接続方法については、「パソコンを使って充電する」（▶P.19）をご参照ください。

1 ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［その他］▶［テザリング］

2 「USBテザリング」の［ ］
メッセージが表示された場合は、内容を確認して「OK」をタップしてください。

memo

- Windows Vista SP2／Windows 7／Windows 8／Windows 8.1／Windows 10以外のOSでの動作は、保証していません。

Wi-Fi®テザリング機能を利用する

本製品をモバイルWi-Fi®ルーターとして利用できるよう設定します。

1 ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［その他］▶［テザリング］▶［Wi-Fiテザリング］

2 ［ ］
メッセージが表示された場合は、内容を確認して「OK」をタップしてください。

memo

- Wi-Fi®テザリング機能利用中は、Wi-Fi®接続でインターネットに接続できません。
- Wi-Fi®テザリング機能利用中は、電池の消耗が激しくなります。充電しながらご利用になることをおすすめします。

Wi-Fi®テザリング機能の設定をする

無線LAN（Wi-Fi®）機能対応機器から本製品に接続するための設定を行います。

1 ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［その他］▶［テザリング］▶［Wi-Fiテザリング］

2 ［Wi-Fiテザリング設定］

3 以下の項目をタップ

Wi-Fiアクセスポイント名（SSID）	他の無線LAN（Wi-Fi®）機能対応機器に表示される名前（ネットワークSSID）を入力します。
セキュリティ	無線LAN（Wi-Fi®）の暗号化方式を選択します。
パスワード	セキュリティのパスワードを設定します。
最大ユーザー数	テザリング可能な最大ユーザー数を設定します。

4 ［保存］

memo

- セキュリティを「Open」に設定した場合、意図しない機器からの接続のおそれがありますので、ご注意ください。
- 「パスワードの表示」を有効にすると、入力中のパスワードを表示できます。

Bluetooth®テザリング機能の設定をする

本製品をBluetooth®ルーターとして利用できるよう設定します。

1 ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［その他］▶［テザリング］

2 「Bluetoothテザリング」の［ ］
メッセージが表示された場合は、内容を確認して「OK」をタップしてください。

memo

- Bluetooth®テザリングを利用するには、あらかじめペア設定を行ってください。詳しくは、「Bluetooth®機器を登録する」（▶P.77）をご参照ください。

Bluetooth®機能

Bluetooth®機能は、パソコンやヘッドセット機器などのBluetooth®デバイスとワイヤレス接続できる技術です。

Bluetooth®機能でできること

■ オーディオ出力
ワイヤレスで音楽や動画の音声などを聞くことができます。

■ データ送受信
連絡先、プロフィール、ブックマーク、静止画データ、動画データ、ボイスレコーダーで録音したデータなどをBluetooth®対応機器と送受信できます。

memo

- 本製品はすべてのBluetooth®機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®機器との接続は保証できません。
- 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®通信を行う際はご注意ください。
- Bluetooth®通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- microUSBケーブルなどが接続されている場合は、Bluetooth®機能を使用できないことがあります。

Bluetooth®通信中の動作について

Bluetooth®通信中とは、「Bluetooth®機器のペア設定中（新規登録中）」「データ送受信中」「検索や接続相手との接続中」のいずれかの状態です。
オーディオ機器と本製品の間に障害物（身体、金属、壁など）があると電波が届きにくくなり、音楽などの再生時に音の途切れや雑音の原因となることがあります。その際には、オーディオ機器と本製品の間になるべく障害物がない状態でご利用ください。

- アラームなど設定した時刻と重なった場合は、アラームなどの画面を表示したままBluetooth®通信を継続します。
- Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下や、音声の途切れや中断、ネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

Bluetooth®機能使用時のご注意

良好な接続を行うために、以下の点にご注意ください。

1. 本製品とほかのBluetooth®対応機器とは、見通し距離10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）や建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。
2. ほかの機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。

無線LAN（Wi-Fi®）との電波干渉について

Bluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）機能（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しています。そのため、本製品のBluetooth®機能と無線LAN（Wi-Fi®）機能を同時に使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になることがありますので、同時には使用しないでください。
また、本製品のBluetooth®機能のみ使用している場合でも、無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器が近辺で使用されていると、同様の現象が発生します。このようなときは、以下の対策を行ってください。

1. 本製品と無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、無線LAN（Wi-Fi®）機能を搭載した機器の電源を切ってください。

Bluetooth®機能を有効にする

本製品でBluetooth®機能を利用する場合は、あらかじめ次の操作でBluetooth®を起動します。
他のBluetooth®機器からの接続要求、機器検索可能状態の設定、オーディオ出力、データ送受信などが利用可能になります。

1 ホーム画面 ▶［基本機能］▶［設定］▶［Bluetooth］
初めてご利用になる場合はチュートリアルの案内画面が表示されます。画面の指示に従って操作を行ってください。

2 [ ]
ステータスバーを下方向にスライドして、クイック設定の「Bluetooth」をタップしても同様に操作できます。

memo

- Bluetooth®を起動すると、電池の消耗が激しくなります。

■ オーディオ機器について
Bluetooth®を起動した状態で、ペア設定済みの機器から接続要求があると自動的に接続します。
オーディオ機器接続中は、以下の点にご注意ください。

- 音楽再生中／音楽受信中に画面ロックが設定されても、オーディオ機器からの操作を継続して行うことができます。
- オーディオ出力対応アプリや利用する機器によっては、本体の操作で音量を調節できない場合や本体の操作で音量を調節しても、オーディオ機器には反映されない場合があります。その場合は、音量をオーディオ機器の操作で調節してください。また、利用する機器によっては、音量調節以外も利用できない場合があります。
- アラームなどで設定している時刻になった場合は、本製品とオーディオ機器でお知らせします。
- オーディオ出力対応アプリ起動中にオーディオ機器の接続が切断されても、再生は一時停止しますがアプリの動作は継続します。接続切断後、オーディオ機器を操作すると接続を再開します。
- オーディオ機器と、他のBluetooth®機能を同時に利用すると、一方の接続が切断される場合があります。

memo

- オーディオ出力で利用するプロファイルは「A2DP」です。
- オーディオ機器をご利用になる場合は、あらかじめペア設定を行ってください。詳しくは、「Bluetooth®機器を登録する」（▶P.77）をご参照ください。
- SCMS-T方式で著作権保護されているオーディオ機器でのみ、オーディオ出力対応アプリの音を聴くことができます。
- 500曲以上登録したプレイリストは、カーナビでは再生できない場合があります。

Bluetooth®機器を登録する

本製品とBluetooth®機器を接続する場合は、対象機器とペア設定を行います。
接続するBluetooth®機器はあらかじめペアリング待ち状態に設定しておいてください（設定方法は接続する機器の取扱説明書を参照してください）。
Bluetooth®機器との接続を解除しても、ペア設定は解除されません。

1 ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [設定] ▶ [Bluetooth] ▶ [検索]
検索に応答した機器が「接続可能なデバイス」に表示されます。

2 接続するBluetooth®機器を選択

3 画面の指示に従って操作し、Bluetooth®機器を認証
- ペアリング要求画面が表示される場合は、本製品とBluetooth®機器で同じパスキーが表示されていることを確認して「ペアリング」をタップし、接続するBluetooth®機器側でも同様に承認（ペアリング）してください。
- パスキー入力を求める画面が表示される場合は、接続するBluetooth®機器に設定されているパスキーを入力して「ペアリング」をタップします。

ペア設定が完了するとBluetooth®機器が使用できます。
ペア設定と接続の状態は、Bluetooth®デバイスリストの「接続可能なデバイス」の上に「ペアリング済みデバイス」欄が表示され、その一覧に表示されます。
Bluetooth®デバイスによっては、ペア設定完了後、続けて接続まで行うデバイスもあります。

memo
- ペア設定をしたBluetooth®機器がヘッドセット機器、オーディオ機器、キーボード機器のいずれにも対応していない場合、接続が行われません。
- Bluetooth®機器がデバイスを非公開または検索不可能に設定している場合は、検索結果に表示されません。設定の変更などについてはBluetooth®機器の取扱説明書などをご参照ください。

Bluetooth®でデータを送受信する

Bluetooth®でデータを送信する

各機能のメニューから、データをBluetooth®送信することができます。

例：連絡先を複数送信する場合

1 連絡先画面 ▶ [⋮] ▶ [共有]

2 送信する連絡先にチェックを付ける ▶ [共有]
全件選択する場合は、「すべて選択」にチェックを付ける ▶ [共有] と操作します。

3 [Bluetooth]

4 送信先の機器を選択

memo
- 複数のGoogleアカウントを設定している場合、連絡先を全件送信すると、設定しているすべてのGoogleアカウントに登録されている連絡先が送信されます。
- データの種類によっては、複数送信できない場合があります。
- データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
- データ送信で利用するプロファイルは「OPP」です。
- 著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
- データ送信時は、連絡先はvCard形式に変換されて送信されます。

Bluetooth®でデータを受信する

本製品でデータを受信するには、Bluetooth®を起動後、相手側（送信側）のデータ送信を待ちます。Bluetooth®の起動方法については、「Bluetooth®機能を有効にする」（▶P.76）をご参照ください。

1 送信側のBluetooth®機器からデータ送信

2 [承諾]

memo
- データ容量や相手側の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
- データ受信で利用するプロファイルは「OPP」です。
- 他のアプリがBluetooth®通信を行っていると、データ受信ができない場合があります。
- 連絡先登録時にアカウントを選択する画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。
- データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が86文字以上のデータは正しく保存できない場合があります。

Bluetooth®機能の設定をする

1 ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [設定] ▶ [Bluetooth]

2 「Bluetooth」の [○]

3 以下の項目をタップ

Qua tab PZ（タブレット名）	他のBluetooth®機器から検索された場合に表示される本製品のデバイス名です。 • デバイス名を変更するには、[⋮] ▶ [タブレット名の編集] ▶ デバイス名を入力 ▶ [保存] と操作します。
ペアリング済みデバイス※	ペアリングしたデバイスが表示されます。 ⚙ をタップすると、デバイス名の編集やペアリングの解除などの操作ができます。
接続可能なデバイス	接続が可能なデバイスが表示されます。
検索	▶P.77「Bluetooth®機器を登録する」

※ ペアリング済みのデバイスがある場合に表示されます。

機能設定

本製品について設定する…… 80
auの設定をする …… 80
その他の設定をする…… 80
共有と接続の設定をする……80
テザリングの設定をする……80
機内モードを設定する……81
VPNを設定する ……81
ディスプレイの設定をする…… 81
サウンドに関する設定をする…… 81
サウンドプロフィールを設定する……81
通知に関する設定をする…… 81
ストレージとUSB …… 82
メモリ使用量の確認やストレージの初期化をする……82
電池と省電力の設定をする…… 82
アプリの設定をする…… 82
クラウドの設定をする…… 82
アカウントの設定をする…… 82
自動同期を設定する……82
手動で同期する……82
アカウントを追加する……82
アカウントを削除する……82
位置情報アクセスの設定をする…… 82
ロック画面の設定をする…… 83
セキュリティの設定をする…… 83
使用する言語やソフトウェアキーボードの設定をする…… 83
バックアップとリセットの設定をする…… 84
本製品を初期化する……84
日付と時刻を設定する…… 84
ユーザー補助の設定をする…… 84
Qボタンを設定する …… 85
印刷に関する設定をする…… 85
端末情報に関する設定をする…… 85

本製品について設定する

1 ホーム画面 ▶ [基本機能] ▶ [設定]

設定メニュー画面が表示されます。

項目	設定内容	ページ
au設定メニュー		
auお客さまサポート	auお客さまサポートのサイトへ接続します。	-
au 設定メニュー	au IDやauかんたん設定などの設定を行います。	▶P.80
プロフィール		
プロフィール	自分の電話番号やメールアドレスなどを設定・確認できます。	-
無線とネットワーク		
Wi-Fi	無線LAN（Wi-Fi®）を設定します。	▶P.74
Bluetooth	Bluetooth®を設定します。	▶P.76
データ使用量	モバイルデータ通信の設定や、通信量の確認などを行います。 • [⋮] ▶ [データセーバー] ▶ [データセーバーの使用] と操作すると、データアクセスを制限して通信料を削減できます。	-
その他	ほかの機器との接続に関する設定や、テザリング、機内モード、モバイルネットワーク、VPNの設定を行います。	▶P.80
端末		
ホーム画面	ホーム画面や壁紙などの設定を行います。	-
ディスプレイ	フォントのサイズや画面の明るさ、バックライトの点灯時間など、画面表示に関する設定をします。	▶P.81
サウンド	通知音やタッチ音などを設定します。	▶P.81
通知	通知の鳴動設定や各アプリの通知などを設定します。	▶P.81
ストレージとUSB	microSDメモリカードや本体内のメモリ容量を確認したり、microSDメモリカードのマウント／マウント解除や初期化を行います。	▶P.82
電池と省電力	バッテリー情報の表示、電池残量が少なくなったときに各種機能の使用を抑えるような設定など、バッテリーに関する設定を行います。	▶P.82
メモリー	本製品にインストールされているアプリのメモリ使用状況を確認します。	-
アプリ	アプリケーションに関する設定を行います。また、インストール済みのアプリケーションを管理します。	▶P.82
ユーザ設定		
クラウド	クラウドの設定を行います。	▶P.82
アカウント	アカウントの設定を行います。	▶P.82
位置情報	位置情報に関する設定を行います。	▶P.82
ロック画面	画面ロックを使用するかどうか、使用する場合に必要な設定を行います。	▶P.83
セキュリティ	端末のセキュリティに関する設定を行います。	▶P.83
言語と入力	表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。	▶P.83
バックアップとリセット	データのバックアップ／リストアを行ったり、データを初期化したりします。	▶P.84
Google	Googleのアカウントおよびサービスに関する情報や設定の確認／変更／削除などを行います。	-
システム		
日付と時刻	日付と時刻の表示形式などを設定します。	▶P.84
ユーザー補助	ユーザー補助サービスを設定します。	▶P.84
Qボタン	Qボタンを押したときに起動させるアプリを選びます。	▶P.85
ショートカットキー	バックライト消灯時または画面ロック中に音量キーを押して、アプリをすぐに起動させるかどうかを設定します。	-
クイックケース	クイックケースに関する設定を行います。	-
印刷	印刷時にクラウドプリントを利用するかどうかを設定します。	▶P.85
端末情報	タブレット名やネットワーク情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。	▶P.85

auの設定をする

au IDやauかんたん設定などの設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶ [au 設定メニュー]

2 以下の項目をタップ

au ID	▶P.20「au IDを設定する」
auかんたん設定	auかんたん設定は、auの便利な機能やサービスをご利用いただくための設定をサポートする設定アプリです。
au位置情報サービス	auが提供する位置情報サービスです。対応アプリが、少ない電力消費で現在地周辺の情報表示・配信をするためなどに使います。
au Wi-Fi 接続ツール	▶P.63「au Wi-Fi接続ツールを利用する」
データを移行する	写真やアドレス帳などタブレットに保存されている様々なデータをauサーバーに預けたり、SDカードに保存したりするアプリです。 機種変更時のデータ移行のツールとしてもご利用できます。
スマホとタブレットを連携する	スマホとタブレットを連携して、便利にお使いになれます。スマホへの電話着信やEメール（@ezweb.ne.jp）などの通知をタブレットに表示したり、スマホをタブレット画面から操作するといった使い方が可能です。
au災害対策・緊急速報メール	気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau端末に一斉にお知らせするサービスです。
データお預かり設定	「データを移行する」（▶P.80）についての設定が行えます。
au通信品質レポート機能	さらなる通信品質向上のため、データ通信時などにおける品質、電波状況および発生場所（GPS位置情報）を検知・収集し、auに自動送信する機能です。
法的情報	オープンソースライセンスに基づきライセンスされるソフトウェアを含むアプリを表示します。

その他の設定をする

機内モード、モバイルネットワーク、VPNに関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶ [その他]

2 以下の項目をタップ

共有と接続	▶P.80「共有と接続の設定をする」
テザリング	▶P.80「テザリングの設定をする」
機内モード	▶P.81「機内モードを設定する」
モバイルネットワーク	モバイルネットワーク設定など通信に関する設定を行います。
VPN	▶P.81「VPNを設定する」

共有と接続の設定をする

ファイルの共有（SmartShare Beam）や画面の共有（Miracast）など、ほかの機器との接続に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶ [その他] ▶ [共有と接続]

2 以下の項目をタップ

ファイル共有	本製品とPCでファイルの送受信を行います。
メディアサーバー	DLNAを使用して周辺デバイスとメディアコンテンツを共有します。
画面共有	Miracastに対応する機器に本製品の画面や音声を共有するための設定をします。利用可能なデバイスが見つからない場合は「検索」をタップします。
モニターモード	Miracastを使用して、他のデバイスの画面と音声を本製品で再生します。

テザリングの設定をする

テザリングに関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶ [その他] ▶ [テザリング]

2 以下の項目をタップ

USBテザリング	▶P.75「USBテザリング機能を利用する」
Wi-Fiテザリング	▶P.75「Wi-Fi®テザリング機能を利用する」
Bluetoothテザリング	▶P.75「Bluetooth®テザリング機能の設定をする」
ヘルプ	各テザリングのヘルプを表示します。

機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能（データ通信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能）がすべて無効になります。

1 設定メニュー画面 ▶［その他］

2「機内モード」の［ ］▶［ON］

memo

- 電源キー（2秒以上長押し）▶［機内モードON］▶［ON］と操作しても、機内モードに切り替えられます。
- 航空機内や病院などでご利用になる場合は各社・各施設の指示に従ってください。
- 機内モードを有効に設定すると、メールの送受信、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能による通信などはご利用になれません。ただし、無線LAN（Wi-Fi®）機能、Bluetooth®機能については機内モード設定中に再び有効にすることができます。

VPNを設定する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
本製品からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

- 本製品は以下の種類のVPNに対応しています。
  - PPTP
  - L2TP/IPSec PSK
  - L2TP/IPSec RSA
  - IPSec Xauth PSK
  - IPSec Xauth RSA
  - IPSec Hybrid RSA

■ VPNを追加する

1 設定メニュー画面 ▶［その他］▶［VPN］

2［VPNの追加］
初回起動時など、セキュリティの設定が必要な場合は画面の指示に従って設定してください。項目の内容については、「ロック画面の設定をする」（▶ P.83）をご参照ください。

3 VPN接続の追加画面の各項目を設定

4［保存］
VPN設定画面のリストに、新しいVPNが追加されます。

memo

- 追加したVPNは編集したり、削除したりできます。編集するには、変更するVPNをロングタッチ ▶［編集］▶ 必要に応じてVPNの設定を変更 ▶［保存］と操作します。
  削除するには、削除するVPNをロングタッチ ▶［削除］▶［削除］と操作します。

■ VPNに接続する

1 設定メニュー画面 ▶［その他］▶［VPN］
VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続するVPNをタップ

3 必要な認証情報を入力

4［接続］
VPNに接続すると、ステータスバーに が表示されます。

■ VPNを切断する

1 設定メニュー画面 ▶［その他］▶［VPN］
VPN設定画面に、追加したVPNがリスト表示されます。

2 接続中のVPNをタップ

3［切断］

ディスプレイの設定をする

画面の明るさの設定や文字フォントの切り替えなど、ディスプレイに関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶［ディスプレイ］

2 以下の項目をタップ

フォント	フォントタイプ	画面表示のフォントを設定します。
	フォントサイズ	「最小」、「小」、「中」、「大」、「特大」、「巨大」から選択します。
	太字表示	文字を太字にします。
基本	画面の明るさ	画面の明るさをスライダで調整します。
	自動	周囲の明るさに応じて、画面の明るさを自動的に変更します。
	リーダーモード	ブルーライトの光量を減らすことで、目の疲れを軽減します。
	縦横表示の自動回転	本製品の向きに合わせて、自動的に縦表示／横表示を切り替えるかどうかを設定します。
	バックライト点灯時間	バックライトの点灯時間を設定します。
	ホームタッチボタン	ホームタッチボタンの配列を選択したり、背景の色を設定します。
詳細設定	表示サイズ	画面に表示されるアイテムのサイズを変更します。
	画質補正	低画質な動画を再生時に補正します。
	Info Clock	本製品の充電中に情報を表示します。
	スクリーンセーバー	スクリーンセーバーの設定を行います。［ ⋮ ］▶［今すぐ開始］と操作するとスクリーンセーバーが起動します。
	センサー感度補正	センサーの感度を補正することができます。

サウンドに関する設定をする

マナーモードの設定や通知音など、音やバイブレータに関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶［サウンド］

2 以下の項目をタップ

一般	サウンドプロフィール	▶P.81「サウンドプロフィールを設定する」
	音量	通知音や音楽、動画再生時などの音量を設定します。
	振動の強さ	バイブの強さを設定します。
	通知音	通知音に設定するデータを選択して登録します。
詳細設定	タッチ音	画面上のアイテムをタップしたときに音を鳴らすかどうかを設定します。
	画面ロック時の音	画面のロック／ロック解除時に効果音を鳴らすかどうかを設定します。
	タップ時のバイブ	ホームタッチボタン操作時などに振動させるかどうかを設定します。

サウンドプロフィールを設定する

サウンドプロフィールで、公共の場所で周囲の迷惑にならないように設定できます。

1 設定メニュー画面 ▶［サウンド］▶［サウンドプロフィール］▶［サウンド］／［バイブレートのみ］／［サイレント］

memo

- ［バイブレートのみ］／［サイレント］を設定中でもカメラのシャッター音や録画開始／終了音は鳴動します。
- ［バイブレートのみ］／［サイレント］を設定中でも動画や音楽の再生では消音されません。

通知に関する設定をする

通知の動作に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶［通知］

2 以下の項目をタップ

一般	通知の鳴動設定	重要な通知のみ鳴動させるかなどを設定します。
	アプリ	アプリごとに、通知をブロックしたり、重要な通知に設定したりすることができます。
	画面ロック時	ロック時の通知の表示／非表示を設定することができます。

ストレージとUSB

メモリ使用量の確認やストレージの初期化をする

microSDメモリカード、USBストレージ、本体内のメモリ容量を確認したり、microSDメモリカードやUSBストレージのマウント／マウント解除や初期化を行います（▶P.71「メモリの使用量を確認する」）。

電池と省電力の設定をする

バッテリー情報の表示、電池残量が少なくなったときに各種機能の使用を抑えるような設定など、バッテリーに関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶［電池と省電力］

2 以下の項目をタップ

（電池残量のアイコン）	電池残量のパーセント、充電されているか、推定残り時間が表示されます。また、充電している場合、推定残り時間の代わりに充電完了までの予想時間が表示されます。
バッテリー消費量	バッテリー消費状況の詳細を確認できます。
ステータスバーに表示	ステータスバーに電池残量（%）を表示するかどうかを設定します。
バッテリーセーブ	バッテリーセーブの有効／無効の切り替えや、バッテリーセーブ機能を有効にするタイミング（電池残量）の指定をします。また、電池消費を抑えるためにバックグラウンドでのアプリの動作を制限するかどうかを設定します。

アプリの設定をする

アプリのアンインストールやキャッシュの消去、強制終了などを行います。また、アンインストールできない一部のアプリやサービスを無効化することもできます。

- アプリを無効化した場合、無効化されたアプリと連携している他のアプリが正しく動作しないことがあります。再度有効化することで正しく動作します。

1 設定メニュー画面 ▶［アプリ］

2 アプリを選択

memo

アプリケーションの管理について

- Google Playなどからインストールしたアプリケーションを選択すると「アンインストール」が表示されます。アンインストールを実行するとアプリケーションは削除されます。

クラウドの設定をする

クラウドサービスのアカウントに登録したり、クラウドサービスのアカウント設定ができます。

1 設定メニュー画面 ▶［クラウド］▶［クラウドのアカウントを追加］

2 追加するアカウントを選択

3 画面の指示に従って操作する

アカウントの設定をする

オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。

自動同期を設定する

本製品とGoogleオンラインサービスの連絡先、カレンダー、Gmailなどの自動同期を設定します。

1 設定メニュー画面 ▶［アカウント］

2 「データ自動同期」の［ ］▶［ONにする］

■自動同期する対象を設定する

3 同期するアカウントを選択

4 同期する項目の［ ］

手動で同期する

「データ自動同期」が有効になっていないとき、同期する項目を選択して同期します。

1 設定メニュー画面 ▶［アカウント］

2 同期するアカウントを選択

3 同期する項目を選択

アカウントを追加する

1 設定メニュー画面 ▶［アカウント］▶［アカウントを追加］

2 追加するアカウントを選択

3 画面の指示に従って操作する

アカウントを削除する

1 設定メニュー画面 ▶［アカウント］▶ 削除するアカウントを選択

2 ［ ⋮ ］▶［アカウントを削除］▶［削除］

memo

- 削除できないアカウントもあります。削除するには、「本製品を初期化する」（▶P.84）が必要です。

位置情報アクセスの設定をする

位置情報に関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶［位置情報］

2 「位置情報」の［ ］▶［同意する］

3 以下の項目をタップ

モード	位置情報の取得モードを設定します。
最近の位置情報リクエスト	最近の位置情報データを使用したアプリと、電池使用量が表示されます。
カメラ	写真や動画に位置情報を記録します。
Google ロケーション履歴	Googleアカウントに関連付けられた端末の最新の場所データなどをGoogleで定期的に保存し使用するかどうかを設定します。また、ロケーション履歴をGoogleで保存するかどうかを設定します。設定する場合は、Googleアカウントの設定が必要です。
Google現在地の共有機能	現在地を共有します。
au位置情報サービス	auサービスのアプリケーションで位置情報の利用を許可するかどうかを設定します。

memo

位置情報機能の使用について

- 電池の消費を節約する場合は、無効に設定してください。
- 電波が良好な場所でご利用ください。

ロック画面の設定をする

画面ロックを使用するかどうか、使用する場合に必要な設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶［ロック画面］

2 以下の項目をタップ

画面ロックを選択	「なし」、「スワイプ」、「ノックコード」、「パターン」、「PIN」、「パスワード」のいずれかを選択します。
Smart Lock	画面ロックの自動解除設定を行います。 • 画面ロックを「なし」／「スワイプ」以外のいずれかに設定している場合のみ選択できます。
壁紙	ロック画面に表示する壁紙を設定します。
ショートカット	ロック画面に表示するショートカットを設定します。
スワイプエフェクト	スワイプエフェクトの設定をします。
天気のアニメーション	現在地が雨または雪だった場合に、ロック画面にアニメーションを表示します。
紛失時の連絡先	ロック画面に表示する連絡先情報を設定します。
ロックタイマー	画面OFFからロックするまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにロック	電源キーを押すとすぐにロックするかどうかを設定します。

※ 上記の項目は画面ロックに「スワイプ」を選択した場合のものです。「画面ロックを選択」の設定内容に応じて表示・設定できる項目は異なります。

memo

画面ロック設定について

• ロック解除方法をパスワードに設定する場合、パスワードは、4～16桁のお好みの英数字・記号に設定できます。

セキュリティの設定をする

端末のセキュリティに関する設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶［セキュリティ］

2 以下の項目をタップ

コンテンツロック		ギャラリーとQメモ+のファイルをロックします。
SDカードの暗号化		microSDメモリカードに保存されているデータを暗号化します。
端末のロック		電源を入れたときににロックをかけることで、本製品を保護します。 • 画面のロックを「なし」／「スワイプ」以外に設定することで設定することができます。
UIMカードのロック設定	UIMカードのロック	起動時にPINコードを入力するかどうかを設定します。 **PINコードを入力 ▶［OK］**
	UIM PINの変更	PINコードを変更します。UIM PINを変更する場合は、「UIMカードのロック」を有効に設定してください。 **1. 現在のPINコードを入力 ▶［OK］** **2. 新しいPINコードを入力 ▶［OK］** **3. 確認のためもう一度新しいPINコードを入力 ▶［OK］**
パスワードを表示する		入力中のパスワードの最後の文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理機能		本製品で有効にするデバイス管理機能を選択します。
提供元不明のアプリ		Google Playで提供されるアプリケーション以外のアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。
証明書の保護		証明書の保護方法を表示します。
証明書の管理		証明書の表示、インストール、削除をします。
信頼できるエージェント		信頼できるエージェント（Smart Lockなどの機能）を管理します。
画面の固定		アプリ画面を固定して表示し続けることができます。
使用履歴へのアクセス		使用履歴を読み取るアプリを有効にするかどうかを設定します。

memo

UIMカードのロック設定について

• PINコードについては、「PINコードについて」（▶P.14）をご参照ください。

使用する言語やソフトウェアキーボードの設定をする

表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶［言語と入力］

2 以下の項目をタップ

言語		本製品で使用する言語を選択します。
現在のキーボード		デフォルトのキーボードを設定します。
日本語キーボード		日本語キーボードに関する設定を行います。
Google音声入力		音声入力時に使用する言語の選択や、不適切な語句をブロックするかなどの設定をします。
音声出力	Googleテキスト読み上げエンジン	テキストを読み上げる言語や、Googleテキスト読み上げエンジンの設定ができます。 Google Playから標準装備以外の言語に対応した音声データをインストールすることもできます。
	読み上げ速度の調整	テキストを読み上げる速度を設定します。
	音声の高さを変更	テキストを読み上げる音声の高さを設定します。
	デモを聞く	テキスト読み上げの短いデモを行います。
	既定の設定言語	「優先エンジン」でテキスト読み上げに設定されている言語が表示されます。
ポインター速度		マウスやトラックパッド使用時のポインターの速度を設定します。
ボタンの切替		マウスの左右のボタン機能を切り替えます。

バックアップとリセットの設定をする

データのバックアップ／復元を行ったり、OSバージョンアップ時の状態に戻します。

1 設定メニュー画面 ▶［バックアップとリセット］

2 以下の項目をタップ

データのバックアップ	アプリケーションのデータおよびその他の設定をGoogleサーバーにバックアップするかどうかを設定します。
バックアップアカウント	バックアップ用のアカウントを設定します。
自動リストア	アプリケーションの再インストール時にバックアップした設定やそのほかのデータを復元します。
ネットワーク設定リセット	ネットワークの設定を初期状態に戻します。
データの初期化	▶P.84「本製品を初期化する」

本製品を初期化する

本製品をOSバージョンアップ時の状態に戻します(リセット)。この操作を行うと、ご購入後にお客様が本製品にインストールしたアプリケーションや登録したデータはすべて削除されます。

1 設定メニュー画面 ▶［バックアップとリセット］▶［データの初期化］

2 ［タブレットをリセット］

3 ［すべて削除］▶［リセット］

memo

- データの初期化を実行すると本体内のすべてのデータが消去されます。
- データの初期化を実行する前に本体内のデータをバックアップすることをおすすめします。
- 「SDカードのデータを消去」にチェックを付けるとmicroSDメモリカード内のデータも消去されます。
- 設定メニューの以下の項目は、データの初期化を実行してもリセットされません。
  - UIMカードのロック設定
- Googleアカウントが設定されている場合は、本製品の初期化後に同じGoogleアカウントで認証を行い、アカウントにバックアップしてあるデータを復元することができます。

日付と時刻を設定する

日付と時刻の表示形式などを設定します。

1 設定メニュー画面 ▶［日付と時刻］

2 以下の項目をタップ

日付と時刻の自動設定	ネットワークから日付・時刻情報を取得して自動的に設定します。
日付の設定	日付を設定します。
時刻の設定	時刻を設定します。
タイムゾーンの自動設定	ネットワークを介してタイムゾーンの情報を取得し、自動的に設定します。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンの設定を行います。
24時間表示	時刻の表示方法を、24時間表示にするかどうかを設定します。

ユーザー補助の設定をする

ユーザー補助サービスを設定します。

1 設定メニュー画面 ▶［ユーザー補助］

2 以下の項目をタップ

見る	TalkBack	ユーザーの操作に音や振動で反応したり、テキストを読み上げたりするユーザー補助サービスを有効にします。また、読み上げやその他のフィードバック、タッチガイドなどを設定します。
	フォントサイズ	文字サイズを変更します。
	太字表示	文字を太字にします。
	表示サイズ	画面に表示されるアイテムのサイズを変更します。
	タッチズーム	画面を3回タップすることで画面をズームイン／ズームアウトするかどうかを設定します。
	ウィンドウズーム	ウィンドウ内でズームイン／アウトして、色を反転します。
	マウスポインタ拡大	マウスポインタを拡大します。
	色の反転	画面の明暗を反転します。
	色調調整	画面の色調を選択してコントラストを調整します。
	グレイスケール	画面の色を白黒にします。
聞く	キャプション	字幕の表示方法を設定します。
	サウンドOFFモード	すべての音をOFFにするかどうかを設定します。
	音声形式	ステレオ音声をモノラル音声に変換します。
	音声バランス	スライドすることで、左右の音量のバランスを調節します。
動作と認識	Touch assistant	ハードキー機能やジェスチャーにすばやくアクセスするために、タッチボードを表示します。
	タッチ入力	長押し感知までの時間や複数回のタッチを1回分で認識するよう調整します。
	物理キーボード	キーボードの各種入力を設定します。
	自動クリック	カーソルを停止した位置で自動的にクリック動作するよう設定します。
	バックライト点灯時間	バックライトの点灯時間を設定します。
	タッチ操作エリア	タッチ操作を認識する画面領域を設定します。
ユーザー補助機能のショートカット		簡単な操作（ホームボタンを3回タップ）でユーザー補助機能を起動できるようにするかどうかを設定します。
縦横表示の自動回転		本製品の向きを変えた場合、画面表示の縦横を自動的に切り替えるかどうかを設定します。
スイッチアクセス		設定可能なキーの組み合わせを使用して端末を制御できます。
auシェアリンク		ChromeとYouTubeで表示中のコンテンツのタイトルを取得して、ペアリングした別端末でつづき見できるように連携します。
Lookout for au		Lookoutセーフブラウジングを有効にするかどうかを設定します。

memo

- TalkBackを初めて有効にしたときは、チュートリアルが起動します。画面の指示に従って、チュートリアルの内容を確認してください。
- タッチガイドとは、タップした位置にあるアイテムの説明を読み上げたり、表示したりする機能です。タッチガイドを有効にすると、通常とは異なる方法で本製品を操作できます。項目を選択する場合は、一度項目をタップしてから再度ダブルタップします。スライド操作は2本の指で行います。
- タッチガイドの設定を切り替える場合は、設定メニュー画面 ▶［ユーザー補助］▶［見る］▶［TalkBack］▶［設定］と操作し、「タッチガイド」の［ ］／［ ］をタップします。

Qボタンを設定する

Qボタンを押したときに起動するアプリを設定します。

1 設定メニュー画面 ▶ [Qボタン] ▶ [ショートカット]

2 アプリを選択

memo

- 初期状態では「リーダーモード」が設定されています。
- Qボタンを長押しすると、Qボタンの設定画面を開くことができます。
- スリープモード中など、端末の状態によってはアプリを起動できないことがあります。

印刷に関する設定をする

Googleクラウドプリントを利用したプリンターの設定を行います。

1 設定メニュー画面 ▶ [印刷]

2 [クラウド プリント]

- ⋮ をタップすると、プリンターの追加や設定の変更ができます。
- クラウドプリントが無効のときは、[ ] と操作すると、クラウドプリントが有効になり、使用できるプリンターの一覧が表示されます。

memo

- 印刷の利用には、Googleアカウントが必要です。詳しくは「Googleアカウントをセットアップする」(▶P.20) をご参照ください。

端末情報に関する設定をする

電話番号や電波状態などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。

1 設定メニュー画面 ▶ [端末情報]

2 以下の項目をタップ

タブレット名		Bluetooth®やWi-Fi Direct®などで使用されるデバイスの名称を設定できます。
アプリケーション更新		インストール済みアプリケーション（KDDI提供のアプリ）の更新を行います。また、アプリケーションの更新があるときに通知するかどうかを設定します。
更新センター	アプリの更新	インストール済みアプリケーション（LG提供のアプリ）の更新を行います。
	ソフトウェアアップデート	▶P.88「ソフトウェアを更新する」
ネットワーク		「ネットワーク」、「電波強度」、「モバイルネットワークの種類」、「サービスの状態」、「ローミング」、「モバイルネットワークの状態」、「IPアドレス」を表示します。
ステータス		「タブレットの電話番号」、「IMEI」、「IMEI SV」を表示します。
バッテリー		「バッテリーの状態」、「バッテリー残量」、「バッテリー消費量」が確認できます。
SIMカード		SIMカードの状態が確認できます。
ハードウェア情報		「モデル番号」、「ハードウェアバージョン」、「稼働時間」、「S／N」、「Wi-Fi MACアドレス」、「Bluetoothアドレス」を表示します。
ソフトウェア情報		「Androidバージョン」、「Androidセキュリティパッチレベル」、「ベースバンドバージョン」、「カーネルバージョン」、「ビルド番号」、「ソフトウェアバージョン」を表示します。
使用条件		「LGソフトウェアの利用条件」、「オープンソースライセンス」、「Google利用規約」が確認できます。
アクティビティログ		LGに本製品の情報を送信することに同意するかどうかを設定します。
規制と安全に関する情報		規制と安全に関する情報や認証情報などを表示します。

付録・索引

ソフトウェアを更新する…… 88
ソフトウェアをダウンロードして更新する……88
最新のソフトウェア更新を自動確認する……88
ダウンロードしたソフトウェアを自動インストールする……88
故障とお考えになる前に…… 89
アフターサービスについて…… 89
SIMロック解除 …… 90
周辺機器…… 90
利用できるデータの種類…… 91
主な仕様…… 91
データ通信端末の比吸収率（SAR）について …… 92
Important Safety Information …… 92
輸出管理規制…… 93
知的財産権について…… 93
索引…… 94

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。
更新は、次の方法があります。

- 本製品本体でソフトウェアをダウンロードして更新する

■ ご利用上の注意

- データ通信を利用して本製品からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。特にOSアップデートの場合、大容量のデータ通信が発生します。Wi-Fi®でのご利用をおすすめします。
- ソフトウェアの更新が必要な場合は、auホームページなどでお客様にご案内させていただきます。詳細内容につきましては、auショップもしくはお客さまセンター（157／通話料無料）までお問い合わせください。また、本製品をより良い状態でご利用いただくため、ソフトウェアの更新が必要な本製品をご利用のお客様に、auからのお知らせをお送りさせていただくことがあります。
- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェアの更新に失敗することがあります。
- ソフトウェアを更新しても、本製品に登録された各種データ（連絡先、メール、静止画、楽曲データなど）や設定情報は変更されません。ただし、本製品の状態（故障・破損・水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合もございますので、あらかじめご了承願います。
- ソフトウェア更新に失敗したときや中止されたときは、ソフトウェア更新を実行し直してください。

ソフトウェア更新中は、以下のことは行わないでください。

- ソフトウェアの更新中は移動しないでください。

ソフトウェア更新中にできない操作について

- ソフトウェアの更新中は操作できません。
  また、アラームなども動作しません。

ソフトウェア更新が失敗した場合などについて

- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit（一部ショップを除く）にお持ちください。

ソフトウェアをダウンロードして更新する

データ通信またはWi-Fi®ネットワーク接続を使用し、インターネット経由で、本製品から直接ワイヤレスで更新をダウンロードできます。

1 ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［端末情報］▶［更新センター］▶［ソフトウェアアップデート］

2 ［アップデートを確認］
新しいソフトウェアがあるか確認します。
ソフトウェアを更新できる場合はソフトウェア更新画面が表示されます。

3 通信方式を選択
ソフトウェアのダウンロードに利用する通信方式を選択します。

4 ［ダウンロード］
新しいソフトウェアのダウンロードが開始されます。

5 ［インストールする］
ソフトウェアの更新が開始されます。
ソフトウェア更新中は本製品の再起動を1、2回ほど行います。

6 ［OK］

■ ソフトウェア更新をWi-Fi®のみでダウンロードする場合
ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［端末情報］▶［更新センター］▶［ソフトウェアアップデート］▶［アップデートを確認］▶［Wi-Fiのみ］と操作します。
Wi-Fi®通信を利用して更新する場合、Wi-Fi®通信が不安定になると自動的にデータ通信に切り替わり、通信料が発生することがありますのでご注意ください。

最新のソフトウェア更新を自動確認する

最新のソフトウェア更新を定期的に自動確認します。更新がある場合、ステータスバーに ✓ が表示されます。

1 ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［端末情報］▶［更新センター］▶［ソフトウェアアップデート］

2 「自動確認」の［ ］▶［同意する］

memo

- 自動確認するために通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

ダウンロードしたソフトウェアを自動インストールする

ダウンロードした更新内容を、自動で深夜にインストールします。インストール後、以前のバージョンに戻すことはできません。

1 ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［端末情報］▶［更新センター］▶［ソフトウェアアップデート］

2 「更新の自動インストール」の［ ］▶［同意する］

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に次の内容をご確認いただくとともに「故障受付」アプリ（▶P.62）にて「トラブル診断」を行ってください。
ホーム画面 ▶［au サポート］▶［故障受付］▶［トラブル診断］

こんなときは	ご確認ください	参照
電源が入らない	内蔵電池は充電されていますか？	▶P.18
	電源キーを長押ししていますか？	▶P.19
電源が勝手に切れる	電池が切れていませんか？	▶P.18
本製品起動時のロゴ表示中に電源が切れる	電池が切れていませんか？	▶P.18
（圏外）が表示される	サービスエリア外か、電波の弱い場所にいませんか？	▶P.26
	内蔵アンテナ付近を指などでおおっていませんか？	▶P.16
	au Nano IC Card 04 LE以外のカードが挿入されていませんか？	▶P.17
Wi-Fi®がつながらない	Wi-Fi®の電波は十分に届いていますか？	▶P.26
	Wi-Fi®の設定をしましたか？	▶P.74
	「機内モード」が設定されていませんか？	▶P.80
ディスプレイは点灯するが通知音が鳴らない	通知音量が最小に設定されていませんか？	▶P.81
	サウンドプロフィールが「バイブレートのみ」に設定されていませんか？	▶P.81
充電ができない	ACアダプタのプラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？	▶P.18
タッチパネルで意図した通りに操作できない	手袋などをしたままで操作していませんか？	▶P.22
	爪の先で操作したり、異物を挟んだ状態で操作したりしていませんか？	▶P.22
キー／タッチパネルの操作ができない	画面ロックが設定されていませんか？	▶P.83
	電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。	▶P.19
画面をタップしたとき／キーを押したときの画面の反応が遅い	本製品に大量のデータが保存されているときや、本製品とmicroSDメモリカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。	▶P.71
「SIMカードが挿入されていません」と表示される	au Nano IC Card 04 LEが挿入されていますか？	▶P.17
「SIMネットワークサブセットロックされています」と表示される	au Nano IC Card 04 LE以外のカードが挿入されていませんか？	▶P.17
充電してくださいなどと表示された	電池残量がほとんどありません。	▶P.18 ▶P.26
電池を利用できる時間が短い	十分に充電されていますか？	▶P.26
	内蔵電池が寿命となっていませんか？	▶P.10
	（圏外）が表示される場所での使用が多くありませんか？	▶P.26
	使用していないアプリケーションや機能を終了・停止してみてください。	▶P.25
ディスプレイの照明がすぐ消える	「バックライト点灯時間」が短く設定されていませんか？	▶P.81 ▶P.84
画面照明が暗い	「画面の明るさ」が暗く設定されていませんか？	▶P.81
イヤホンマイクのマイクが使えない	コネクタが正しく挿入されていますか？奥までしっかり挿入してください。	▶P.16
連絡先の個別の設定が動作しない	同じ電話番号が2件以上連絡先に登録されていませんか？	▶P.52
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？	▶P.70
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？	▶P.71
カメラが動作しない	電池残量が少なくなっていませんか？	▶P.18 ▶P.56
	本体の温度が高くなっていませんか？	▶P.56

上記の各項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauホームページの「トラブル診断」で症状をご確認ください。
https://www.au.com/trouble-check/

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは
修理については故障紛失サポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	当社無償修理規定に基づき、修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

※ 保証期間は、本製品をお客様が新規ご購入された日より1年間です。

memo

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのauの端末は、再生修理した上で交換用端末として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。
- 本製品を加工、改造、解析（ソフトウェアの改造、解析（ルート化などを含む）、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、または逆アセンブルを含む）されたもの、または当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理されたものは保証対象外または修理をお断りする場合があります。
- 本体内蔵の電池は、電池の材質上または製造上の瑕疵により生じる事象を除き無償修理保証の対象外です。
- 本体以外の同梱品は無償修理保証の対象外です。

■ 補修用性能部品について
当社はこのQua tab PZ本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 無償修理規定
1.修理受付時は、製造番号（IMEI番号）の情報をお知らせください。製造番号（IMEI番号）は、本製品の本体もしくは外装箱に貼付のシールなどで確認することができます。
2.保証期間内に、取扱説明書などの注意書きに従った正常な使用状態で機器が故障した場合には、無償修理をさせていただきます。
3.保証期間内でも、以下の場合には有償修理となります。（または、修理ができない場合があります。）
①取扱説明書に従った正しい使用がなされなかった場合。
②不当な修理や改造による故障や損傷の場合。
③当社などが指定する正規の修理拠点以外で修理された場合。
④使用上、取り扱い上の過失または事故による故障や損傷の場合。また、落下、水濡れ、湿気などの痕跡がある場合。
⑤地震、風水害などの天災及び火災、塩害、異常電圧などによる故障や損傷。
4.機器の損傷状況によっては、修理を承れない場合もあります。
5.製品の機器が故障したことにより、発生した損害・損失については負担いたしません。
6.本製品を指定外の機器と接続して使用した場合、万一発生した事故については、責任を負いかねます。
7.出張による修理対応はお受けできません。
8.本規定は、日本国内においてのみ有効です。（This warranty is valid only in Japan.）

※ 本保証は、上記に明示した期間、条件のもとで、無償修理をお約束するものです。従って、本保証によって保証責任者及び、それ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

■ 故障紛失サポートについて
auの端末を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「故障紛失サポート」をご用意しています（月額380円、税抜）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、故障紛失サポートセンターへお問い合わせください。

memo

- ご入会は、auの端末のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回のauの端末のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるauの端末のみが本サービスの提供対象となります。
- auの端末を譲渡・承継された場合、故障紛失サポートの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- 機種変更・端末増設などにより、新しいauの端末をご購入いただいた場合、以前にご利用のauの端末に対する「故障紛失サポート」は自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Nano IC Card 04 LEについて
au Nano IC Card 04 LEは、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容			故障紛失サポート	
			会員	非会員
交換用携帯電話機お届けサービス	自然故障	1年目	無料	補償なし
		2年目以降	下記「交換用携帯電話機お届けサービス」（会員）ご負担金の表を参照	
	部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失			
預かり修理	自然故障	1年目	無料	無料
		2年目以降	無料（3年間保証）	実費負担
	部分破損		お客様負担額上限5,000円	
	水濡れ、全損		お客様負担額10,000円	
	盗難、紛失		補償なし	補償なし（機種変更対応）

※ 金額はすべて税抜

■「交換用携帯電話機お届けサービス」（会員）ご負担金

適用条件	1回目	2回目
通常	5,000円／長期ご利用特典※1 3,000円	8,000円／長期ご利用特典※1 6,000円
「WEB割引」※2 ／「代用機なし割引」※3の両方を適用	4,000円／長期ご利用特典※1 2,000円	7,000円／長期ご利用特典※1 5,000円
「代用機なし割引」※3のみを適用	4,500円／長期ご利用特典※1 2,500円	7,500円／長期ご利用特典※1 5,500円

※ 金額はすべて税抜

※1 3年目（25カ月）以上ご利用中のお客様、またはそのお客様が属する家族割内すべての回線が対象です。データ通信端末、タブレットをご利用中のお客様は、セット割（WINシングルセット割、またはスマホセット割）に加入しており、セット割の対象回線のご契約が3年目以上の場合が対象です。

※2 WEB割引：auホームページから「交換用携帯電話機お届けサービス」を申し込む場合、サービス利用ご負担金から500円を割引します。「WEB 割引」の場合は代用機の貸出はできませんので、自動的に「代用機なし割引」があわせて適用されます。

※3 代用機なし割引：「交換用携帯電話機お届けサービス」のご利用に際し、代用機を利用しない場合は、サービス利用ご負担金から500円を割引します。詳細はauホームページでご確認ください。

オンライン交換受付（24時間受付）
※ パソコン、スマートフォンからのみ受付可能
https://www.au.com/support/service/mobile/trouble/repair/application/

memo

交換用携帯電話機お届けサービス

- auの端末がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用端末（同一機種・同一色※）をお届けします。故障した今までお使いのauの端末は、交換用端末がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。
  ※ 同一機種・同一色の提供が困難な場合、別途当社が指定する機種・色の交換用携帯電話機をご提供します。
- 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。
  ※ 詳細はauホームページでご確認ください。
- 盗難、紛失など、本サービスのご利用と同時にau ICカードの再発行を伴う場合は、別途au ICカード再発行手数料1,900円が必要です。

預かり修理

- お客様の故意・改造（分解改造・部品の交換・塗装など）による損害や故障の場合は補償の対象となりません。
- 外装ケースの汚れや傷、塗装のはがれなどによるケース交換は割引の対象となりません。

SIMロック解除

本製品はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

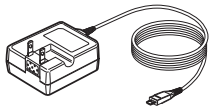
- SIMロック解除はauホームページ、auショップで受付しております。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、一部サービス・機能などが制限される場合があります。当社では一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除後の操作は、ホーム画面▶［基本機能］▶［設定］▶［端末情報］▶［SIMカード］から行ってください。
- 詳しくは、auホームページをご参照ください。
  https://www.au.com/support/service/mobile/procedure/simcard/

周辺機器

■ LG TVアンテナケーブル01（01LGHSA）

■ ACアダプタ（別売）
- 共通ACアダプタ03（0301PQA）
- 共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）
- 共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）
- 共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）
- 共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）
- AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）
- AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）
- AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）
- AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）
- AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）

■ 共通ACアダプタ05（0501PWA）（別売）



■ 共通DCアダプタ03（0301PEA）（別売）

■ microUSBケーブル（別売）
- microUSBケーブル01（0301HVA）
- microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）
- microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）
- microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）
- microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）

■ ポータブル充電器02（0301PFA）（別売）

memo

- ポータブル充電器02（別売）では、本製品を十分に充電できない可能性があります。
- 上記の周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
  http://auonlineshop.kddi.com

利用できるデータの種類

利用できるデータの種類は次のとおりです。

データの種類	拡張子
動画	mp4、3gp、wmv、avi、mkv、flv、asf、m4v
オーディオ	mp3、m4a、wav、amr、wma、aac、mid、mka、ogg
静止画	jpeg、png、bmp、wbmp、gif、webp

memo

- サイズによっては利用できない場合があります。
- 動画、オーディオについては拡張子が同じ場合でも再生できない場合があります。

主な仕様

ディスプレイ	約10.1インチ、約1,677万色、IPS液晶
	1920×1200（WUXGA）
質量	約486g（内蔵電池含む）
サイズ（幅×高さ×厚さ）	約258mm×164mm×7.9mm
CPU	MSM8952（1.5GHz×4、1.2GHz×4）
内部メモリ容量（ストレージ／ RAM）	ストレージ：16GB、RAM：2GB
連続待受時間※	約930時間
連続テザリング時間	約1070分
テザリング最大接続数	13台（Wi-Fi®テザリング8台、Bluetooth®テザリング4台、USBテザリング1台）

※ 連続待受時間は、静止待受け状態での測定値です。

memo

- 連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。

■ 充電時間

ACアダプタ	約230分（共通ACアダプタ05（別売）使用時）
DCアダプタ	約960分（共通DCアダプタ03（別売）使用時）

■ 無線LAN（Wi-Fi®）

通信方式	IEEE802.11a/b/g/n/ac準拠
使用周波数帯	2.4GHz帯／ 5GHz帯

■ Bluetooth®

通信方式	Bluetooth® 標準規格Ver.4.2 BLE
出力	Bluetooth® 標準規格Power Class1
通信距離※1	見通しの良い状態で10m以内
対応プロファイル・機能※2	GATT（Generic Attribute Profile）、Android Bluetooth Low Energy Improvements、A2DP（Advanced Audio Distribution Profile）、AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile）、HDP（Health Device Profile）、HID（Human Interface Device Profile）、HSP（Headset Profile）、OPP（Object Push Profile）、PAN（Personal Area Networking Profile）、PAN NAP、PAN U、SPP（Serial Port Profile）、apt-X、Bluetooth SSP、DI（Device ID）、GAVDP（Generic Audio/Video Distribution）、HOGP（HID over GATT Profile）※3、ScPP（Scan Parameters Profile）
使用周波数帯	2.4GHz帯

※1 通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※2 Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※3 Bluetooth®標準規格Ver.4.0に対応したプロファイルとなります。

■ アウトカメラ

撮影素子	CMOS
有効画素数	約500万画素

■ インカメラ

撮影素子	CMOS
有効画像数	約500万画素

■ 本体内の容量

保存可能容量	約9.00GB

■ テレビ

連続視聴時間	フルセグ	約6時間20分
	ワンセグ	約6時間40分

※ 使用条件により連続視聴可能時間は変わります。

■ 表示言語

ドイツ語／スペイン語／フランス語／ポルトガル語／ロシア語／英語（米国）／アラビア語（エジプト）／中国語（簡体）／韓国語／日本語

■ 入力言語（文字入力）

日本語／英語／韓国語

データ通信端末の比吸収率（SAR）について

この機種【Qua tab PZ】のデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
このデータ通信端末は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、データ通信端末に対するSARの許容値は2.0W/kgです。このデータ通信端末の身体に装着した場合のSARの最大値は0.412W/kg※2です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
データ通信端末は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、データ通信端末の出力は小さくなります。
通信中は、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属（部分）が含まれないようにしてください。このことにより、本データ通信端末が国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合していることを確認しています。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ:
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○一般社団法人電波産業会のホームページ:
http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html
○auのホームページ:
https://www.au.com/
○LG Electronics Inc.ホームページ:
本製品の「仕様」のページをご確認ください。
http://www.lg.com/jp/mobile-phone
（URLは予告なく変更される場合があります。）

※1　技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2　この値は同時に使用可能な無線機能を含みます。

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Tablets should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the tablet in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15 cm be maintained between a tablet and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the tablet on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless tablets may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

NOTE :　Excessive sound pressure from earphones and headphones can cause hearing loss.

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your tablet may interfere with the operation of your medical device.

CAUTION
RISK OF EXPLOSION IF BATTERY IS REPLACED BY AN INCORRECT TYPE.
DISPOSE OF USED BATTERIES ACCORDING TO THE INSTRUCTIONS.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc.が所有する登録商標であり、LG Electronics Inc.は、これら商標を使用する許可を受けています。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Direct®はWi-Fi Alliance®の登録商標です。
- Google、Googleロゴ、Android、Androidロゴ、Google Play、Google Playロゴ、Playムービー、Gmail、Googleマップ、Googleマップナビ、Google+、Googleウォレット、GoogleハングアウトはGoogle Inc.の商標または登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn© OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2016 All Rights Reserved.
- AOSS™は株式会社バッファローの商標です。
- TwitterおよびTwitterロゴはTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を以下のように略して表記しています。
  - Windows 10は、Microsoft® Windows® 10（Pro、Home、Enterprise、Education）の略です。
  - Windows 8.1は、Microsoft® Windows® 8.1（Pro、Enterprise）の略です。
  - Windows 8は、Microsoft® Windows® 8、Microsoft® Windows® 8 Pro、Microsoft® Windows® 8 Enterpriseの略です。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■OpenSSL License

【OpenSSL License】
Copyright © 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.
This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT "AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.
【Original SSLeay License】
Copyright © 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.
This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)
THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

■オープンソースライセンス

本製品に搭載されているGPL、LGPL、MPL、およびその他のオープンソースのライセンスのもとで開発されたソースコードを取得するには、http://opensource.lge.com をご参照ください。
ソースコードをはじめ、該当するすべてのライセンスの内容や著作権の表示、保障責任がないという表示をダウンロードできます。
本製品をお買い求めてから3年以内に、本製品に搭載されているソフトウェアのオープンソースコードをEメール（opensource@lge.com）にてお求めになる場合、媒体の費用や送料など、必要な最小限の費用をお支払いいただいてから、CD-ROMにてご提供いたします。

■その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。
本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4 Video）を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）AVC規格準拠のビデオ（以下「AVCビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）AVCビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために（i）VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

索引

英数字

ACアダプタ …… 18
au IDを設定する …… 20
au Nano IC Card 04 LE …… 17
　取り付ける …… 17
　取り外す …… 18
au Wi-Fi接続ツール …… 63
auの設定 …… 80
Bluetooth® …… 13, 76
　機器を登録する …… 77
　機能を有効にする …… 76
　データを送受信する …… 77
Chrome …… 48
　ブックマークを利用する …… 49
　履歴を利用する …… 49
Eメール …… 32
　アドレスの変更やその他の設定をする …… 42
　会話モード …… 33
　会話モードで確認する …… 39
　検索する …… 37
　受信する …… 36
　新着メールを問い合わせて受信する …… 37
　設定する …… 40
　送信する …… 34
　送信予約をする …… 35
　バックアップ／復元する …… 42
　表示モードを切り替える …… 32
　フォルダモード …… 32
　フォルダモードで確認する …… 37
　迷惑メールフィルターを設定する …… 43
Facebook …… 61
Gmail …… 46
　アカウントを切り替える …… 46
　起動する …… 46
　検索する …… 46
　更新する …… 46
　受信する …… 46
　新着Gmail通知を設定する …… 46
　送信する …… 46
Google Play …… 60
　無料のアプリケーションをインストールする …… 60
　有料のアプリケーションをインストールする …… 60
Googleアカウント …… 20
Google音声検索 …… 25
Important Safety Information …… 92
Info Clock画面 …… 19
microSDメモリカード …… 70
　取り付ける …… 70
　取り外す …… 70
OpenSSL License …… 93
PIN …… 27
PINコード …… 14
PINロック解除コード …… 14
Playストア …… 60
Qボタン …… 85
Qメモ+ …… 67
SIMロック解除 …… 90
SmartShare …… 71
SMS …… 44
　検索する …… 45
　削除する …… 45
　受信する …… 44
　設定する …… 45
　送信する …… 44
Wi-Fi® …… 74
　アクセスポイントを登録する …… 74
　機能を有効にする …… 74
　接続を一時停止するタイミングを設定する …… 74
　ネットワーク通知を設定する …… 74
　ネットワークに接続する …… 74

あ

アイコン …… 26
アカウント
　削除する …… 82
　自動で同期する …… 82
　手動で同期する …… 82
　追加する …… 82
アカウントと同期 …… 82
アクセスポイント …… 74
　自動で登録する …… 74
　手動で登録する …… 74
アフターサービス …… 89
アプリ …… 82
アプリケーション …… 23
　一覧 …… 23
　管理する …… 61
　起動中の一覧 …… 25
　クイック起動エリア …… 25
暗証番号 …… 14
安全上のご注意 …… 6
位置情報 …… 82
医療機器 …… 9
ウィジェット …… 23
絵文字 …… 29
主な仕様 …… 91
音楽 …… 59
　曲を再生する …… 59
　プレイリストを利用する …… 60
　ミュージックライブラリ画面 …… 59
音声出力 …… 83

か

外部機器 …… 71
顔文字 …… 29
拡張子 …… 91
各部の名称と機能 …… 16
壁紙 …… 23
カメラ …… 56
　画面の見かた …… 57
　ご利用になる前に …… 56
　静止画を撮影する …… 57
　設定する …… 57
　動画を録画する …… 57
　取り扱い上のご注意 …… 10
画面の表示方向 …… 27
　縦横表示の自動回転を設定する …… 81
画面ロック …… 14
　解除する …… 27
　設定する …… 83
カレンダー …… 65
　予定を確認する …… 66
　予定を登録する …… 65
　予定を編集する …… 66
記号 …… 29
機内モード …… 81
ギャラリー …… 58
クイック検索ボックス …… 25
　Google音声検索 …… 25
　設定する …… 25
言語とキーボード …… 83
故障受付 …… 62
故障とお考えになる前に …… 89
ご利用いただくにあたって …… 1

さ

サウンドプロフィール …… 81
充電 …… 18
　指定のACアダプタ（別売）を使って充電する …… 18
　パソコンを使って充電する …… 19
周辺機器 …… 90
肖像権 …… 10
商標 …… 93
初期化 …… 84
初期設定 …… 20
スイッチ …… 27
ステータスアイコン …… 26
ステータスバー …… 22
ストレージ …… 71
　メモリの使用量を確認する …… 71
スライド …… 22
スリープモード …… 19
スワイプ …… 22
静止画を再生する …… 58
セキュリティ …… 83
設定 …… 80
操作説明 …… ii
その他の設定 …… 80
ソフトウェアキーボード …… 28
　10キー …… 28
　50音キー …… 28
　QWERTY …… 28
　キーボードを切り替える …… 28
　設定する …… 30
　入力モードを切り替える …… 29
ソフトウェア更新 …… 88

自動確認する …… 88
ダウンロードして更新する …… 88

た

ダウンロード …… 61
タッチパネル …… 22
タップ …… 22
ダブルタップ …… 22
端末情報 …… 85
チェックボックス …… 27
知的財産権 …… 93
著作権 …… 10
通知アイコン …… 26
通知パネル …… 26
データの初期化 …… 84
テザリング …… 75
Bluetooth®テザリング機能の設定をする …… 75
USBテザリング機能を利用する …… 75
Wi-Fi®テザリング機能を利用する …… 75
テレビ …… 54
TVアンテナケーブル …… 54
TVリンクを利用する …… 55
ご利用になる前に …… 54
視聴中の番組を録画する …… 56
初期設定をする …… 55
設定をする …… 55
データ放送を見る …… 55
電波について …… 54
番組表を利用する …… 56
見る …… 55
録画した番組を再生する …… 56
電源を入れる …… 19
電源を切る …… 19
電卓 …… 66
動画を再生する …… 58
同梱品 …… ii
時計 …… 66
アラーム …… 66
ストップウォッチ …… 66
世界時計 …… 66
タイマー …… 66
ドラッグ …… 22

は

パソコンと接続する …… 70
バックアップとリセット …… 84
バックライト …… 81
番組表 …… 56
比吸収率（SAR） …… 92
日付と時刻 …… 84
ピンチ …… 22
ピンチアウト …… 22
ピンチイン …… 22
フォルダ …… 23
プライバシー …… 14
フリック …… 22
プレイリスト …… 60
ボイスレコーダー …… 64
防水／防塵性能 …… 11
ホーム画面 …… 22
アプリ／ウィジェット／フォルダを移動する …… 23
アプリ／ウィジェット／フォルダを削除する …… 23
フォルダを追加する …… 23
保証 …… 89
本書の表記方法について …… ii

ま

マルチウィンドウ …… 25
ミュージックプレイヤー …… 59
無線LAN（Wi-Fi®） …… 13, 74, 76
文字種 …… 29
文字入力 …… 28

や

ユーザー辞書 …… 30
ユーザー補助 …… 84
輸出管理規制 …… 93

ら

ラジオボタン …… 27
連絡先 …… 52
インポート／バックアップする …… 54
グループを設定する …… 52
住所を利用する …… 53
電話番号を利用する …… 53
登録する …… 52
登録内容を利用する …… 53
編集する …… 54
メールアドレスを利用する …… 53
ロングタッチ …… 22

MEMO

au のお客さまサポート

料金のご確認から各種お手続き、操作・設定などのご確認ができます。
スマートフォンをご利用ならアプリが便利です。

au お客さまサポート	パソコン・スマートフォン	3G ケータイ
WEB 版	https://www.au.com/support/	EZ ボタン>トップメニューまたは au ポータルトップ>au お客さまサポート
アプリ版	au Market もしくは App Store から 「au お客さまサポート」で検索	―

お客さまセンター（年中無休 / 通話料無料）	au 携帯電話（スマホ / ケータイ）	au 携帯電話以外 / 一般電話	左記番号がつながらない場合
総合案内（受付 9:00～20:00）	局番なし 157	0077-7-111	0120-977-033
盗難・紛失（24 時間受付）	局番なし 113	0077-7-113	[沖縄の方は] 0120-977-699

Pressing “zero” will connect you to an operator, after calling “157” on your au cellphone.
※ ご契約内容の変更や照会の場合には、ご利用の「au 携帯電話番号」と「暗証番号」が必要です。
※ 音声応答メニューのご利用料金照会、回線停止、再開手続きは 24 時間ご利用いただけます（メンテナンス時を除く）。

故障紛失サポートセンター（年中無休 / 通話料無料）	au 携帯電話（スマートフォン / ケータイ）/ 一般電話
盗難・紛失・故障（受付 9:00～20:00）	0120-925-919

※ 上記の電話番号がつながらない場合があります。

やめましょう、歩きスマホ。

有害サイトから子供を守る！

キケン！水ぬれ充電

濡れた状態での充電は、
異常な発熱・焼損などの原因となり
大変危険です。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHSのリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、 貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

MFL70021601（1.0）2017年5月第1版　発売元：KDDI株式会社・沖縄セルラー電話株式会社　輸入元：LG Electronics Japan株式会社　製造元：LG Electronics Inc.